P3PC-1152-03

カラーイメージスキャナ

ScanSnap™

fi-5110EOX2
オペレーターガイド

はじめに

このたびは、カラーイメージスキャナ ScanSnap fi-5110EOX2 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ScanSnap は、両面原稿をカラーで読み取ることのできるスキャナ装置です。
ScanSnap には、次のような特長があります。

■ スキャナのボタンを押すだけで、紙を PDF 化できます！

机の上にたまっている書類を、PDF 化してパソコンで管理・保管できます。同梱の Adobe® Acrobat® を使えば、表示・編集も自由自在です。
PDF ファイルは、印刷したり、電子メールに添付して配布したりするのに便利です。
また、ScanSnap は、カラー原稿／白黒原稿を自動識別して読み取ることができるので、カラー／白黒混在の原稿を読み取る場合にファイルサイズを小さくすることができます。（白紙ページの削除もでき、さらにファイルサイズを小さくすることができます。）

■ 読み取りが快適です！

A4 サイズの両面カラー原稿を約 15 枚／分のスピードで読み取ります。（読み取りモードはノーマル、かつカラーモードは自動で、圧縮率が 3 の場合）（注１）

■ 机上で場所をとりません！

A4 より小さいサイズなので、常に机の上に置いておくことができます。

■ 名刺の整理が簡単！

添付の「名刺ファイリング OCR」を使えば、名刺を簡単にファイルでき、OCR 機能により検索することもできます。

注１）・白黒データとして読み込む場合、原稿によっては読み取りスピードが遅くなる場合があります。（カラーで読み込んだ画像を白黒に変換しているためです。）
例）カラーのパンフレットを白黒モードで読み込んだ場合。
・原稿傾き補正、原稿向き補正が有効になっていると、読み取りスピードが遅くなる場合があります。
注 2）<u>カラーイメージスキャナ ScanSnap fi-5110EOX2 は、TWAIN・ISIS 規格に準拠していません。</u>

本書は、スキャナの取り扱い方、および基本的な使い方について説明しています。ご使用の際には、本書をお読みになり、スキャナを正しくご使用くださるよう、お願いいたします。

電波自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ ）は参加各国の間で統一されています。

高周波ガイドラインについて

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。
詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。
http://eco.fujitsu.com/ jp

複製についてのご注意

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体の発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となります。処罰の対象となりますので、おやめください。

紙幣などの偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタで不正に印刷すると、その印刷物の使用の如何にかかわらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条など

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

製造・販売元

株式会社 PFU
〒 212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）
TEL: 044-540-4538

2004 年	8 月	初版
2009 年	10 月	02 版

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

■ 本書で使用している警告表示について

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。以下に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

記 号	説 明
⚠ 警告	この記号は、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。
⚠ 注意	この記号は、正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自体またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

■ 安全上のご注意

本書には、ScanSnap を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。ScanSnap をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、理解された上で ScanSnap をお使いください。
また、本書は、ScanSnap をご使用中に、いつでも参照できるよう大切に保管してください。
本装置に関する重要な警告事項は以下のとおりです。本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

電源についてのご注意

⚠警告

- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 故障の処置をおこなう場合は、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。AC アダプターをコンセントから抜かずに故障の処置をおこなうと、感電の原因となることがあります。
- AC アダプターは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。
- 必ずスキャナに付属の電源コード（AC アダプター）をお使いください。延長コードは使わないでください。異常な発熱や火災の原因となります。
- 電源コードや AC アダプターが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。修理には、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（166 ページ）にご連絡ください。
- AC アダプターやコンセントにホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

- 次のようなときには直ちに使用を中止し、AC アダプターをコンセントから抜いてください。その後、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにご連絡ください。
  ー スキャナから発煙したり、スキャナの外側が異常に熱くなった場合
  ー 異常な音がする場合
  ー スキャナの内部に水が入った場合
  そのまま使用すると、発火の原因となります。
- AC アダプターは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
  火災や故障の原因となることがあります。
- 長時間スキャナを使用しないときは、安全のため必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
  火災や感電の原因となることがあります。
- AC アダプターをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- １ヵ月に一度は、次のような点検をしてください。
  ー AC アダプターが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
  ー AC アダプターに異常な発熱、サビおよび曲がりなどがありませんか。
  ー AC アダプターやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
  ー 電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
  異常がある場合は、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（166 ページ）にご連絡ください。

⚠注意

- 近くで雷が起きたときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。
  そのままにしておくと、機器を破壊し、お客様の財産に被害をおよぼす原因となります。
- 複写機やシュレッダのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから電源をとらないでください。

設置および移動時のご注意

⚠警告

- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には、スキャナを設置しないでください。火災や感電の原因となります。
- ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には、スキャナを設置しないでください。火災の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- スキャナを移動する場合は、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
  電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本スキャナが落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

⚠注意

- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
  落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。
- 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。高温によってカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、スキャナ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。
- 強い磁気やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。
  静電気が発生すると、誤作動の原因になります。
  床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

スキャナ使用上のご注意

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグに傷みがある場合、または、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。
- 指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。
  表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線は避けてください。
- 電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店またはＰＦＵイメージング サービス＆サポートセンターにご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすい異物の差し込み、落とし込みはしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。
  本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
- 異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはＰＦＵイメージング サービス＆サポートセンターにご連絡ください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。
- 本装置は国内専用です。海外で使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

⚠注意

- スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。
  振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。
- 清掃などの目的でエアスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常、画像異常の原因となる場合があります。
- 長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。
- 通気口をふさぎますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。
- 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意しておこなってください。
- 歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。
- 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。
  そのまま使用すると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、暖かい部屋に 1 ～ 2 時間放置して、内部が乾いてから使用してください。
- 紙や A3 キャリアシートの取り扱いの際は､紙や A3 キャリアシートで手を切る等のけがをしないように注意してください。
- 清掃時は、スキャナ内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。

■ 事業所系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りをおこないますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社　首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へお問い合わせをお願いいたします。
- 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルをおこなっています。

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。
  本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。
  本製品を焼いたり、砕いたり、化学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

■ 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用してください。
本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。
また、本製品の障害の保証範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。
本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

■ 警告ラベルについて

本製品には以下のような警告ラベルが貼り付けられています。

このラベルが貼り付けてある個所は高温になる場合があります。火傷をする恐れがありますので、十分注意してください。

警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合は PFU イメージング サービス＆サポートセンター（166 ページ）までご連絡ください。

■ 本書の読み方

本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

第 1 章　お使いになる前に

スキャナの各部の名称について説明しています。

第 2 章　スキャナの接続方法

添付ソフトウェアをインストールして、パソコンにスキャナを接続するまでについて説明しています。

第 3 章　ScanSnap を使ってみましょう

スキャナの操作方法について説明しています。

第 4 章　アンインストールするときは

添付プログラムのアンインストール方法について説明しています。

第 5 章　困ったときには

原稿づまりの処理方法、およびトラブルの対処方法について説明しています。

第 6 章　清掃方法

スキャナの清掃方法について説明しています。

第 7 章　消耗品の交換

パッドユニット、ピックローラなどの消耗品の交換方法について説明しています。

なお、付録では、設置諸元について記載しています。

スキャナの操作を理解いただくためには、第 1 章から第 3 章までを順にお読みください。
添付プログラムのアンインストール方法が知りたいときは、第 4 章をお読みください。
トラブルが起きたときの対処方法が知りたいときは、第 5 章をお読みください。
スキャナの清掃方法が知りたいときは、第 6 章をお読みください。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。

記 号	説 明
まって！	特に注意が必要な事項が書かれています。 必ずお読みください。
ヒント	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。
操 作	スキャナでの操作の手順について書かれています。
操 作	パソコンでの操作の手順について書かれています。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 98　: Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows Me　: Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000　: Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP　: Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記します。

Adobe Acrobat 6.0：Adobe® Acrobat® 6.0 Standard 日本語版
特にバージョンを区別しない場合は、Adobe Acrobat と表記します。

目　次

第1章

お使いになる前に

1

この章では、ScanSnap をお使いになる前に必要な準備について説明しています。

1.1 本体と付属品を確認してください

ScanSnap を開梱したら、まず、添付の「本体と付属品の確認（リスト）」で、スキャナ本体と、付属品がすべて揃っていることを確認してください。
万一、足りないものや不良品がありましたら、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（166 ページ）までご連絡ください。なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。

1.2　各部の名称

スキャナの各部の名称について説明します。

■ 前面

給紙カバー
スキャナを使用するときに開きます。
⇒開くと電源が入ります。

ADF カバー
（*ADF：Automatic Document Feeder)

スタッカー
手前の 2 箇所の突起部分が、スキャナ本体底面のくぼみに合うように、スキャナをセットします。

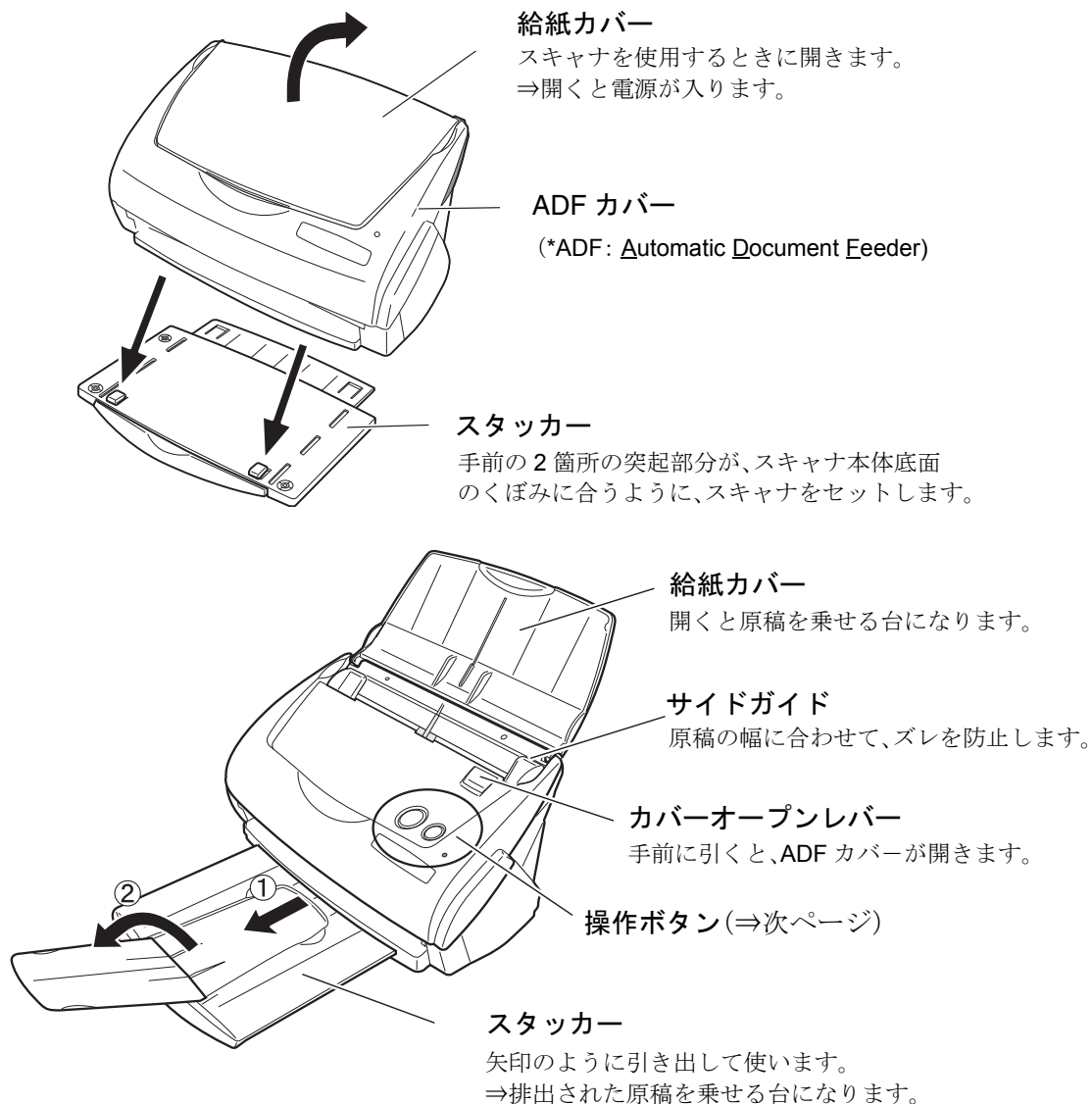
給紙カバー
開くと原稿を乗せる台になります。

サイドガイド
原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。

カバーオープンレバー
手前に引くと、ADF カバーが開きます。

操作ボタン（⇒次ページ）

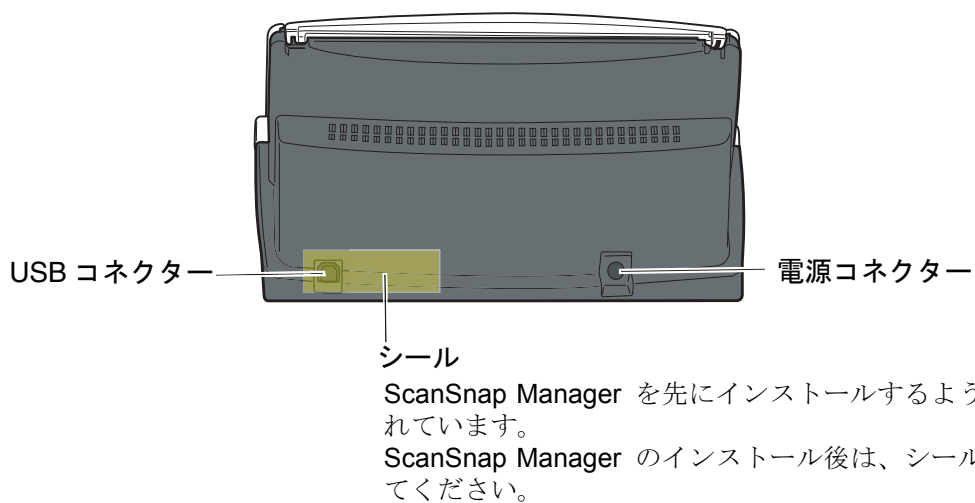
①
②

スタッカー
矢印のように引き出して使います。
⇒排出された原稿を乗せる台になります。

スタッカーを取り付けずに、スキャナ本体だけで使用することもできます。

■ 操作ボタン

SCAN
POWER
ScanSnap
[SCAN]ボタン
読み取りを開始します。
[POWER]ボタン
電源を ON/OFF します。
電源ランプ
スキャナの状態を示します。
緑点灯 : 正常
緑点滅 : 読み取り中
オレンジ点灯 : エラー
消灯 : 電源 OFF

■ 背面

USB コネクター
電源コネクター
シール
ScanSnap Manager を先にインストールするように記載されています。
ScanSnap Manager のインストール後は、シールをはがしてください。

第2章

スキャナの接続方法

この章では、スキャナをパソコン本体に接続する方法について説明します。
スキャナの接続は、まず添付プログラム（Adobe Acrobat、ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR、PDF Thumbnail View）をパソコンにインストールしてからおこないます。

- 必ず、ScanSnap Manager をインストールしてから、スキャナをパソコンに接続してください。ScanSnap Manager をインストールする前に、スキャナを接続すると、ScanSnap が正常に動作しません。
  ※先にスキャナ を接続してしまった場合、「新しいハードウェアの追加ウィザード」（OS によって多少表現が異なります）が表示されます。この場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして、ウィザード画面を閉じ、まず ScanSnap Manager をインストールしてください。
- 一台のパソコンに、ScanSnap fi-4110EOX シリーズまたは ScanSnap fi-5110EOX と同時に接続したり、本スキャナを 2 台以上接続したりすることはできません。
- お使いのパソコンに、ScanSnap fi-4110EOX シリーズまたは ScanSnap fi-5110EOX のドライバが既にインストールされている場合は、必ず、アンインストール後、再起動してから、新しく ScanSnap Manager をインストールしてください。
- お使いのパソコンに ScanSnap fi-4010CU のドライバがインストールされている場合は、アンインストールは不要です。本スキャナと同時に接続しても、これまでどおりお使いいただけます。

ScanSnap Manager には、ScanSnap fi-4110EOX3 および ScanSnap fi-5110EOX 用のドライバも含まれています。すでに、いずれかをお持ちの場合は、ScanSnap fi-5110EOX2（本製品）、ScanSnap fi-4110EOX3、または ScanSnap fi-5110EOX のうちの一台をパソコンに接続してご使用いただくことができます。

設置するために必要なスペースなどについては「付録 A　設置諸元」（163 ページ）を参照してください。

2.1 インストールします

インストールとは、ScanSnap を使用するために、ご使用のパソコンのハードディスクにScanSnap の添付プログラムファイルをコピーし、インストール先のパソコンで ScanSnap を使用する環境を作ることです。

■ インストールする前に

インストールする前に次の準備をしてください。

1. システム条件を確認します。

ScanSnap は、以下のシステム条件で動作します。

オペレーティングシステム

- Windows 98
- Windows Me
- Windows 2000
- Windows XP（Service Pack 1 以降）　のいずれか

	Windows98	Windows 98 Second Edition	Windows Me	Windows 2000	Windows XP
ScanSnap Manager	○	○	○	○	○
ScanSnap Organizer	○	○	○	○	○
名刺ファイリング OCR	○	○	○	○	○
Adobe Acrobat 6.0	—	○	—	○ *1	○
PDF Thumbnail View	—	—	—	○	○

*1：Service Pack 2 以降適応済みのこと

パソコン本体

- Intel® Pentium® Ⅲプロセッサ 600MHz 以上
  （Intel® Pentium® 4 プロセッサ 1.8GHz 以上を推奨）
- CD-ROM ドライブ（インストール時に必要です。）
- USB ポート (USB 2.0 / 1.1)

メモリ容量

128M バイト以上（256M バイト以上を推奨）

まって！

- キーボードやモニタの USB ポートを使用すると、ScanSnap が動作しない場合があります。
- 市販のハブをご使用になる場合は、AC アダプターを使用したタイプをご使用ください。
- USB 2.0 で接続する場合、USB ポートおよび、ハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。USB 2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合は、そちらを使用してください。
  なお、USB をご使用の場合は、後述の USB2.0 対応表を参照の上ご使用願います。
- 推奨に満たない CPU、メモリ容量の場合には、読み取り速度は低下します。

ディスク容量

- ScanSnap Manager　50M バイト
- ScanSnap Organizer　70M バイト
- 名刺ファイリング OCR　100M バイト
- Adobe Acrobat 6.0　250M バイト
- PDF Thumbnail View　5M バイト

USB2.0 対応

	Windows98	Windows 98 Second Edition	Windows Me	Windows 2000	Windows XP
本体標準装備	—	—	—	○	○
拡張カード	—	—	○	○	○

※ Microsoft® が提供している USB ドライバが必要です。

2. スキャナがパソコンに接続されていないことを確認します。

3. パソコンを起動します。

Windows 2000 または Windows XP をご使用の場合は、“Administrator”の権限（Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版の場合は、コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

4. 動作しているアプリケーションをすべて終了します。

■ Adobe Acrobat をインストールします

添付されている「Adobe Acrobat 6.0 Standard CD-ROM」から、以下の手順で Adobe Acrobat をインストールします。

「Adobe Acrobat 6.0 Standard」は、以下のオペレーティングシステム（OS）でご使用いただけます。

- Windows 98 Second Edition
- Windows 2000（Service Pack 2 以降）
- Windows XP Professional または、Home Edition

さらに、以下の条件が必要です。

- Internet Explorer 5.01 以降
- 800 × 600 以上の画面解像度

なお、Windows 98 / Widows Me には対応しておりませんので、注意してください。

これらの OS をご使用の場合は、ヒント内の手順にしたがって、Adobe® Acrobat® Reader™ をインストールしてください。

※詳細は Adobe Web サイト http://www.adobe.co.jp/ へアクセスし、サポート FAQ 情報を確認ください。（2004 年 7 月 27 日現在）

Adobe Acrobat は「ScanSnap fi-5110EOX2 オペレーターガイド」、「ScanSnap Organizer ユーザーズガイド」および、「名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド」を表示するために必要です。
また、ScanSnap と連携して、読み取った画像を表示させることができます。

※お使いのパソコンに、既にインストールされている場合は、あらためてインストールする必要はありません。
⇒「添付ソフトウェアをインストールします」（11 ページ）にお進みください。

<Windows 98 / Windows Me をご使用の場合 >

Adobe Acrobat 6.0 は、Windows 98 / Windows Me には対応しておりません。オペレーターガイドを表示したり、読み取った画像（PDF ファイル）を表示するためには、以下の手順で、添付の「Adobe® Acrobat® Reader™」をインストールしてください。

1. 添付の「Setup CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
2. ［スタート］ボタンを右クリックして、「エクスプローラ」を選択します。
3. CD-ROM ドライブ下の［AcroRead］フォルダ内にある「ar505jpn.exe」のアイコンをダブルクリックします。
4. セットアップ画面が表示されますので、画面の指示にしたがってインストールします。

※ただし、Adobe® Acrobat® Reader™ には、読み取った画像（PDF ファイル）を加工・編集する機能はありません。

1. **Adobe Acrobat 6.0 Standard CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

⇒CD-ROMが自動認識され、「Adobe Acrobat 6.0 AutoPlay」の画面が表示されます。

Adobe Acrobat 6.0 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしても「Adobe Acrobat 6.0 AutoPlay」の画面が表示されない場合は、エクスプローラで、CD-ROMドライブの、「AutoPlay.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。

2. **以下の画面が表示されますので、[インストール]ボタンを選択して、下に表示される[Acrobat 6.0 Standardのインストール]ボタンをクリックします。**

3. **以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。**

⇒インストールが開始されて、セットアップ画面が表示されます。

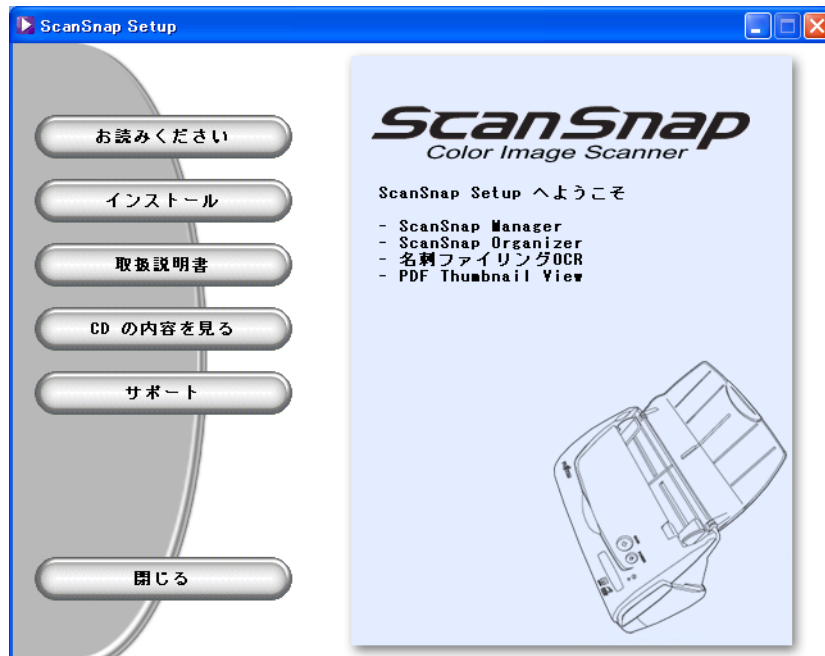
4. セットアップ画面が表示されますので、画面の指示にしたがってインストールします。

Adobe Acrobat 6.0 のインストールに関する詳細については、操作 2. の画面の［インストールについて］ボタンをクリックして表示される説明をお読みください。
Adobe Acrobat 6.0 の使い方については、「Acrobat 6.0 ヘルプ」をご参照ください。

■ 添付ソフトウェアをインストールします

装置に添付されている「Setup CD-ROM」から、ScanSnap 用の添付プログラム（ScanSnap Manager, ScanSnap Organizer, 名刺ファイリング OCR, PDF Thumbnail View) を以下の手順でインストールします。

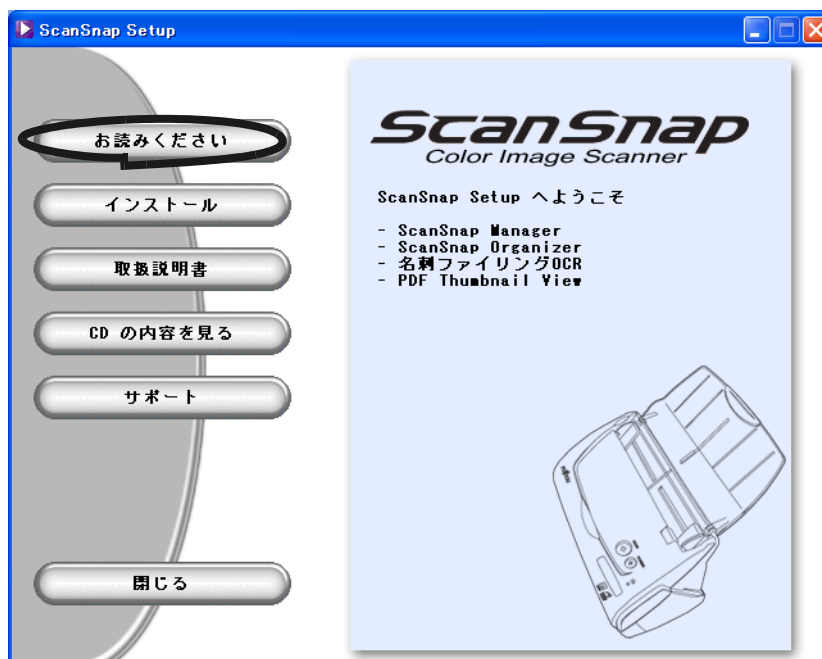
1. 製品の Setup CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

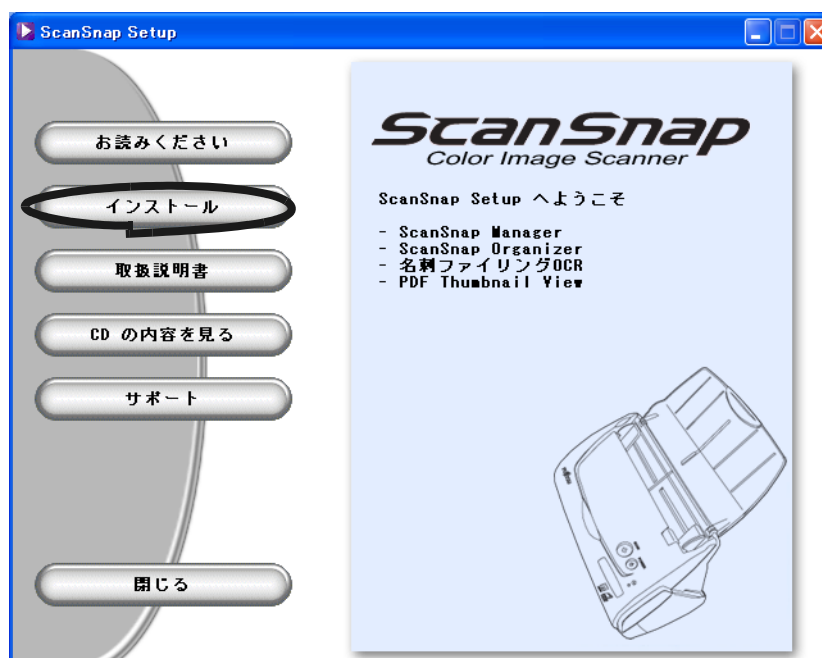
⇒「ScanSnap インストーラ」が起動し、「ScanSnap Setup」の画面が表示されます。

Setup CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても「ScanSnap Setup」の画面が表示されない場合は、エクスプローラで Setup CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブの、「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックして「ScanSnap Setup」を起動してください。

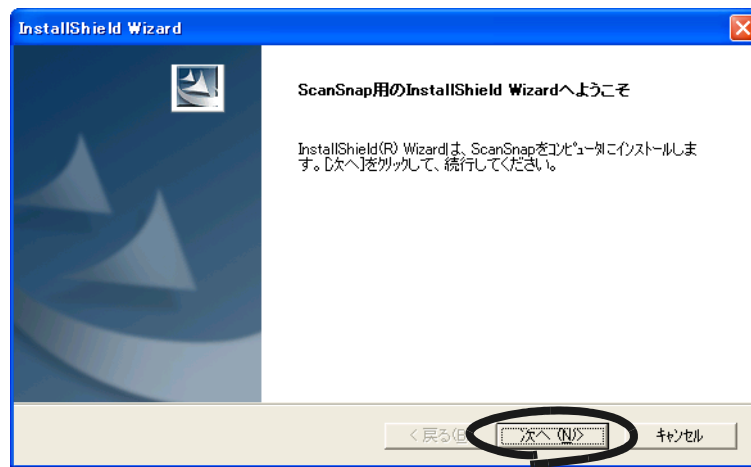
2

スキャナの接続方法

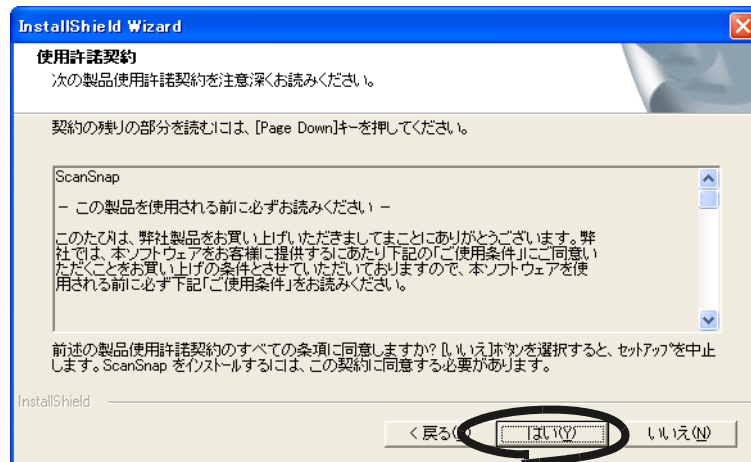
2. 「ScanSnap Setup」の画面で、[お読みください] ボタンをクリックします。

インストールおよびアンインストールするときの注意事項、Setup CD-ROM の構成などについての説明が表示されます。

⇒ 読み終わったら、説明を閉じてください。

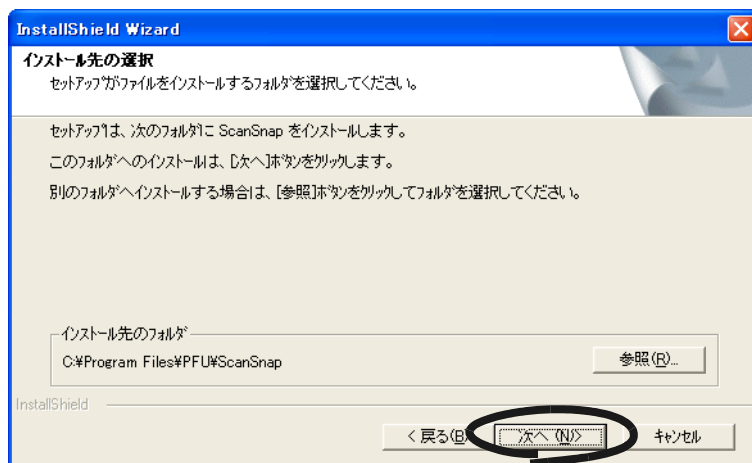
3. 「ScanSnap Setup」の画面で、[インストール] ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap 用の InstallShield Wizard へようこそ」の画面が表示されます。

4. 「ScanSnap 用の InstallShield Wizard へようこそ」の画面で、［次へ］ボタンをクリックします。

⇒「使用許諾契約」の画面が表示されます。

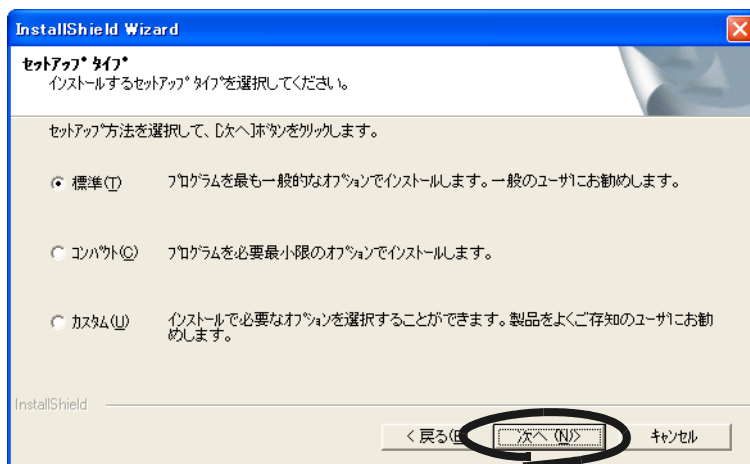
5. 「使用許諾契約」の内容を確認し、契約に同意する場合は［はい］ボタンをクリックします。

［いいえ］ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

⇒［はい］ボタンをクリックすると、「インストール先の選択」の画面が表示されます。

6. 「インストール先の選択」の画面でインストール先を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

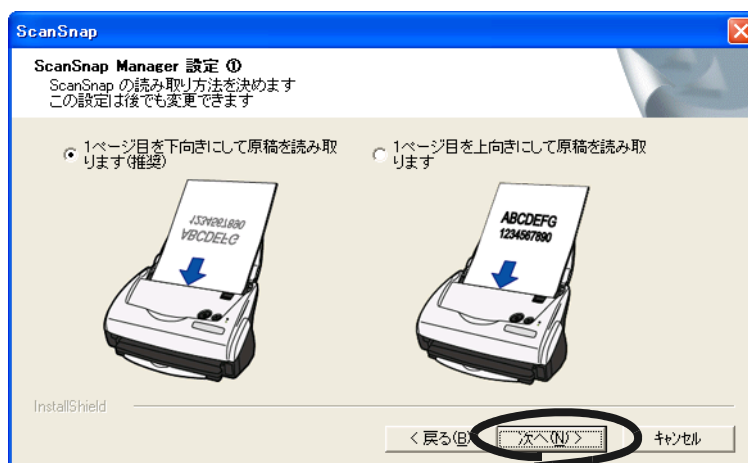
表示されているフォルダにインストールする場合は［次へ］ボタンをクリックします。
通常は、インストール先のフォルダを変更する必要はありません。インストール先は、インストール先フォルダのドライブのディスク容量が少ない場合に変更してください。
インストールするフォルダを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックします。
「ディレクトリの選択」のダイアログボックスが表示されるので、ここでインストールするフォルダを選択します。

⇒「セットアップ タイプ」の画面が表示されます。

7. 「セットアップ タイプ」の画面で、「標準」（推奨）、「コンパクト」、「カスタム」のどれか一つを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

通常は、「標準」を選択してください。

⇒「ScanSnap Manager 設定①」の画面が表示されます。

選択する項目によって、以下のプログラムがインストールされます。
- **標準**
  ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR、PDF Thumbnail View および、各マニュアルがインストールされます。
- **コンパクト**
  ScanSnap Manager とそのマニュアルがインストールされます。
- **カスタム**
  インストールするソフトウェアとマニュアルを選択することができます。

8. 「ScanSnap Manager 設定①」の画面で、原稿のセット方法を指定して、[次へ] ボタンをクリックします。

FAX などのように、原稿を裏向けて、上端を下向きにしてスキャナにセットしたい場合は「左」を選択してください。
原稿を手にして、そのままの状態でスキャナにセットしたい場合は、「右」を選択してください。

⇒「ScanSnap Manager 設定②」の画面が表示されます。

本設定は、インストール後に設定を変更することができます。
詳しくは、「3.4 読み取り設定を変更するには」の「1 ページ目を上向きにして原稿をセットします」(59 ページ)を参照してください。

9. 「ScanSnap Manager　設定②」の画面で、読み取り後に「読み取り結果の通知」をおこなう場合は、チェックボックスにチェックをつけて、［次へ］ボタンをクリックします。

チェックを入れると、スキャナで原稿を読み取った後に、「白紙ページを自動的に削除します」および「原稿の向きを自動的に補正します」の機能が実行されたかどうかを通知する画面が表示されます。

⇒「ファイルコピーの開始」の画面が表示されます。

本設定は、インストール後に設定を変更することができます。
詳しくは、「3.4 読み取り設定を変更するには」（48 ページ）」を参照してください。

10.「ファイルコピーの開始」の画面で、インストールする内容を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

⇒インストールが開始されます。インストールが終了すると、「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示されます。

11.「InstallShield Wizard の完了」の画面で、[完了] ボタンをクリックします。

⇒「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、コンピュータの再起動がおこなわれます。

⇒「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、「ScanSnap インストーラ」のダイアログボックスが表示されます。[終了] ボタンをクリックして、「ScanSnap インストーラ」のダイアログボックスを閉じてください。
(※インストールを完了させるためには、コンピュータの再起動が必要です。)

「ScanSnap fi-5110EOX2 オペレーターガイド」、「ScanSnap Organizer ユーザーズガイド」および、「名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド」を表示するためには Adobe Acrobat または、Adobe® Reader®（Acrobat® Reader™）が必要です。ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、装置に添付されている「Adobe Acrobat 6.0 Standard CD-ROM」から Adobe Acrobat 6.0 をインストールしてください。

2.2 スキャナとパソコンを接続します

次の順序でスキャナとパソコンを接続します。

1. 電源ケーブルを使って、スキャナを電源コンセントに接続
2. USB ケーブルを使って、スキャナとパソコンを接続

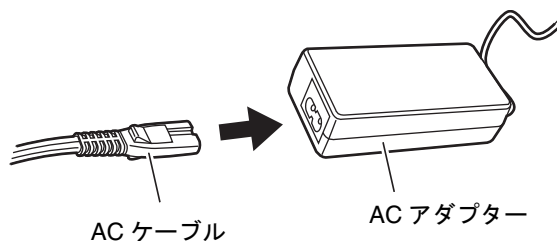
- 必ず、電源ケーブルを接続してから、USB ケーブルを接続してください。
- 必ず、ScanSnap Manager をインストールしてから、スキャナをパソコンに接続してください。（インストール方法については、「2.1 インストールします」（6 ページ）を参照してください。）

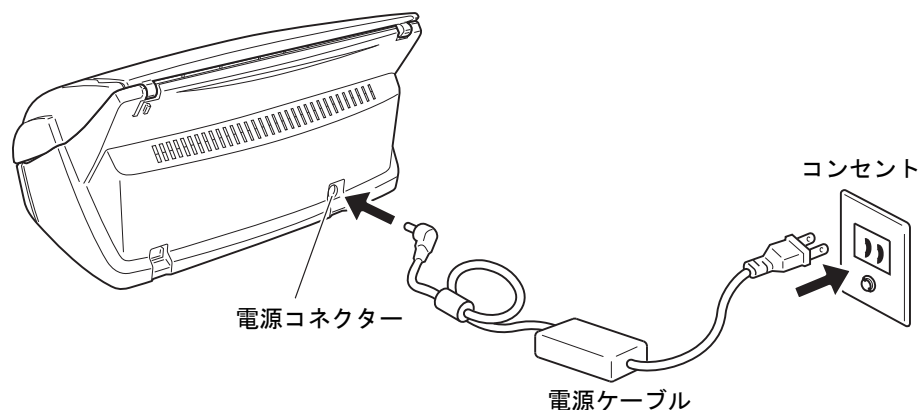
それぞれの手順について説明します。

■ 電源ケーブルを接続します

以下の手順で、電源ケーブルを接続します。

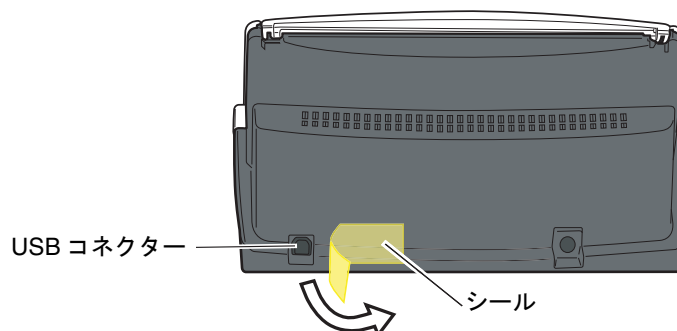
1. AC ケーブルを、AC アダプターに接続します。

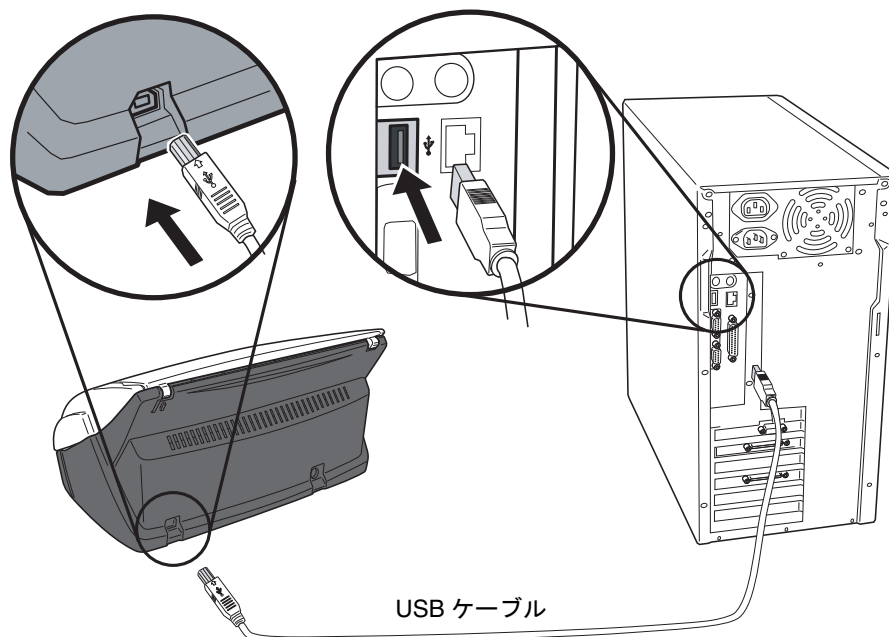
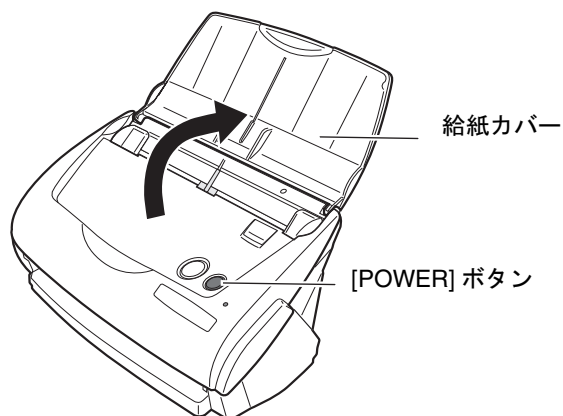
（以降、電源ケーブルと呼びます。）

AC ケーブルおよび AC アダプターは、必ず、添付のものをご使用ください。

2. 電源ケーブルを、スキャナの電源コネクターおよび、コンセントに、それぞれ接続します。

■ USB ケーブルを接続します

以下の手順で、USB ケーブルを接続します。

- 付属品の USB ケーブルをご使用ください。市販の USB ケーブルでの動作保証はしていません。
- USB ハブに接続する場合は、必ず、コンピュータに一番近い USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作しない場合があります。
- USB 2.0 で接続する場合、USB ポートおよび、ハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。USB 2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合は、そちらを使用してください。

1. スキャナの USB コネクターを覆っているシールをはがします。

2. USB ケーブルを、スキャナとパソコンに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。

3. スキャナの給紙カバーを開きます。

⇒ スキャナの電源が入り、パソコンに自動的に検出されます。

スキャナの電源が入らない場合は、［POWER］ボタンを押してください。

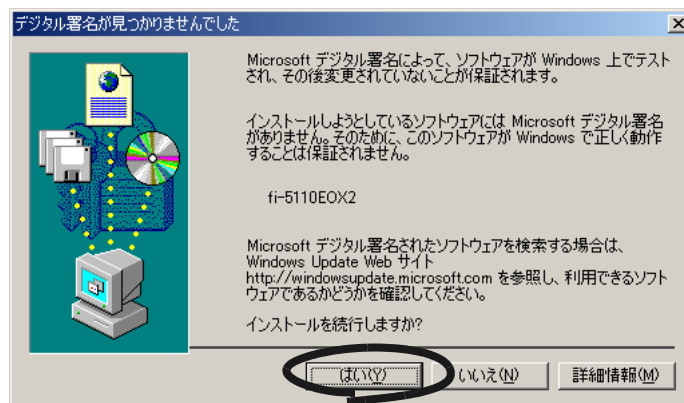
Windows 98 の場合

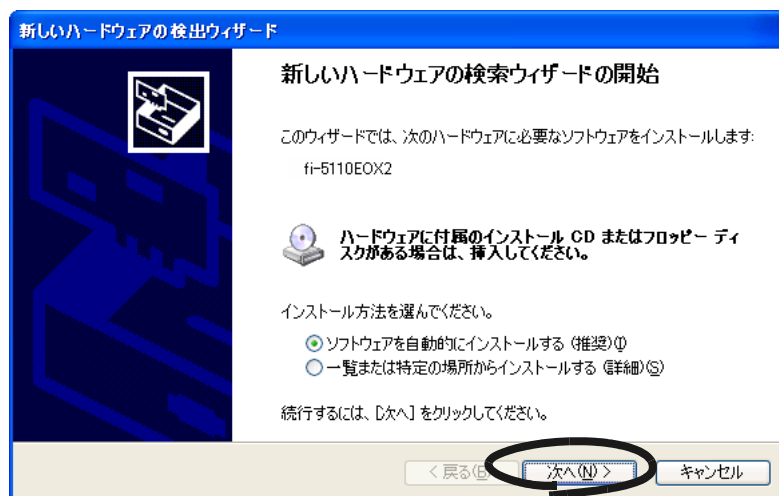
「ディスクの挿入」のメッセージが表示される場合は、Windows 98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[OK] ボタンをクリックします。

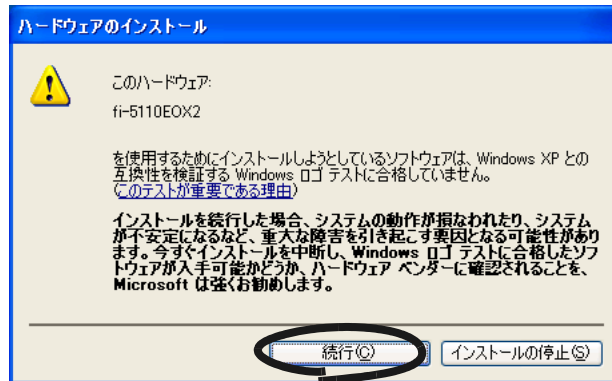
Windows Me の場合

新しいハードウェアの追加が自動的におこなわれ、処理が継続されます。

Windows 2000 の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」のメッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されるので、[次へ] ボタンをクリックします。

画面には、「ハードウェアに付属のインストール CD または、フロッピーディスクがある場合は、挿入してください。」と表示されますが、ここでは、CD を挿入する必要はありません。

「ハードウェアのインストール」の画面が表示されるので、[続行] ボタンをクリックします。

ウィザードの完了を通知する「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

⇒ ScanSnap が、新しいハードウェアとしてパソコンに追加されます。

タスク バーの中の「ScanSnap Manager」アイコンが になるまでに時間がかかる場合があります。

数十秒待っても、 状態のままの場合は、[POWER] ボタンで、電源を一度切断してから、再度投入してください。
※電源を切断／投入する場合は、5 秒以上間隔をあけておこなってください。

[POWER] ボタンで電源を切断／投入する場合は、[POWER] ボタンを 1 秒以上押してください。
※誤動作防止のため、1 秒以上押さないと反応しないようになっています。

本スキャナは、

- 給紙カバーを開けると電源が入り、閉めると電源が切断されます。
- パソコンの電源に連動して ON/OFF されます。
- 給紙カバーを開いた状態で、［POWER］ボタンを押すと電源が切断され、もう一度押すと電源が入ります。

また、給紙カバーの開 / 閉が最優先されるため、給紙カバーが閉じた状態でパソコンを起動しても本スキャナの電源は入りません。

通常は、パソコンに接続したままで、必要なときに給紙カバーを開け、使い終わったら給紙カバーを閉めるというようにご使用いただけば、電源の ON/OFF を意識することなくご使用いただけます。

第 3 章

ScanSnap を使ってみましょう

この章では、ScanSnap の基本的な操作について説明します。

3.1 操作の流れ

ScanSnap で原稿を読み取り、PDF 形式で保存するまでの操作の流れについて説明します。

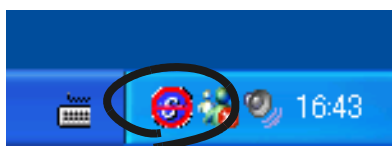
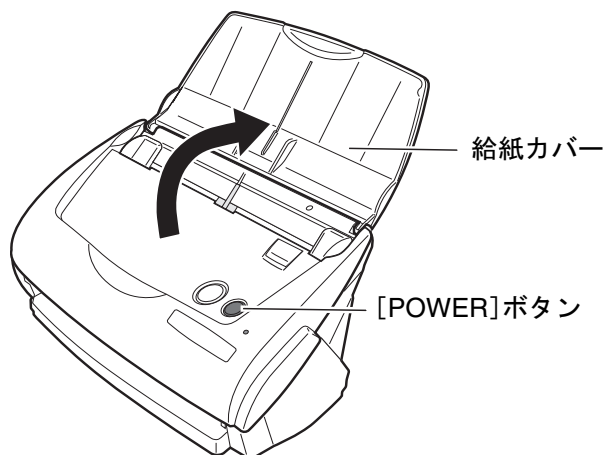
■ 準備します

1. **スキャナに電源ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

2. **スキャナがパソコンに正しく接続されていることを確認します。**

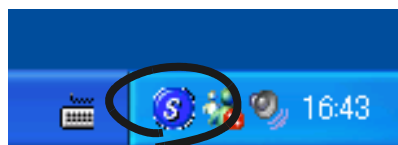
パソコンを起動してから、接続しても問題ありません。
また、既に接続されている場合は、あらためて接続しなおす必要はありません。

3. **パソコンの電源を入れます。**

⇒ Windows が起動すると、タスク バーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。

4. **給紙カバーを開きます。**

⇒スキャナの電源が入り、「ScanSnap Manager」のアイコンが から に変化します。

給紙カバーを開いた状態で電源が切れている場合は、[POWER] ボタンを押して電源をいれてください。

■ 読み取ります

1. タスク バーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。

「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていない場合は、スタートメニューから、[プログラム] ー [ScanSnap Manager] ー [ScanSnap Manager] を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。
通常は、インストール時に [スタートアップ] に登録されるので、Windows 起動時にタスク バーにアイコンが表示されます。
[スタートアップ] に「ScanSnap Manager」が登録されていない場合は、スタートメニューから、[プログラム] ー [ScanSnap Manager] ー [スタートアップに登録] を選択すると、登録されます。

2. スキャナに原稿をセットします。

「3.2　読み取りできる原稿」(32 ページ) および「3.3　原稿のセット方法」(35 ページ) を参照してください。

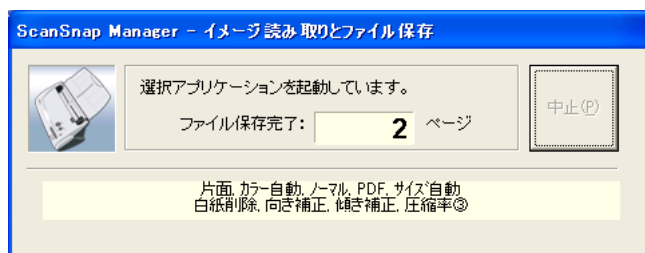
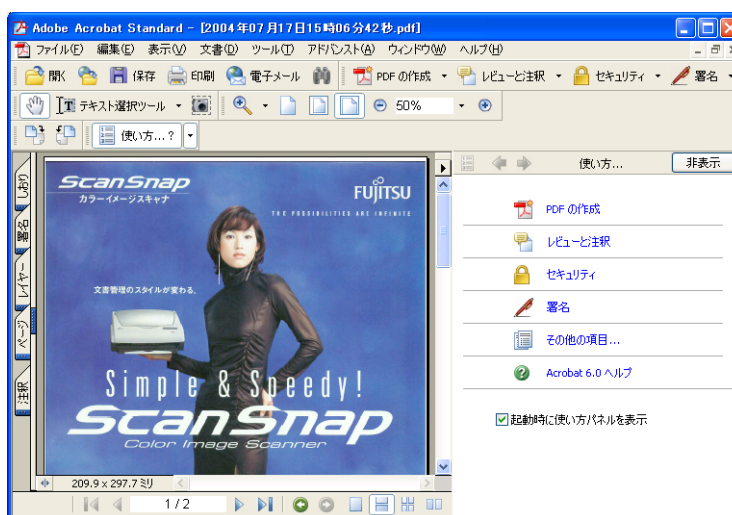
3. ([SCAN] ボタン) を押します。

⇒原稿の読み取りが開始されます。

- 初期設定では、［SCAN］ボタンは、「両面読み取り」に設定されています。また、ScanSnap Manager を使って、［SCAN］ボタンの設定を「片面読み取り」に切り替えることができます。
- タスク バー上の「ScanSnap Manager」のアイコン S から、読み取りを開始することもできます。

※　詳しくは、「3.4　読み取り設定を変更するには」（48 ページ）を参照して下さい。

- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバーを閉じたり、［POWER］ボタンを押したりしないでください。

⇒ 読み取り中は、スキャナの⏻ランプが緑色に点滅します。
また、パソコンには、読み取り中の画面が表示されます。

⇒ 付属のアプリケーション（Adobe Acrobat など）が起動され、読み取ったイメージが表示されます。

読み取り条件、ファイル名、保存先などの設定方法については、「3.4　読み取り設定を変更するには」(48 ページ) を参照してください。
また、名刺の読み取り方については、「3.8　名刺の読み取り方法」(103 ページ) を参照してください。

初期設定では、「両面読み取り」、「読み取りモードの選択 : ノーマル」、「カラーモードの選択 : 自動」で読み取られます。

- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、「読み取りと保存に関する設定」のダイアログボックスの ［読み取りモード］タブで［オプション］－「文字をくっきりします (カラーイメージのみ有効) 」をチェックして読み取ってください。詳細は、「3.4　読み取り設定を変更するには」(48 ページ) を参照してください。
- 読み取った後に起動されるアプリケーションは、「読み取りと保存に関する設定」のダイアログボックスの［アプリ選択］タブの設定によって異なります。詳しくは、「3.4　読み取り設定を変更するには」(48 ページ) を参照してください。
- 読み取った原稿を JPEG 形式で保存することもできます。この場合、原稿を読み取るときの設定を変更してから読み取ります。原稿を読み取るときの設定の変更については、「3.4　読み取り設定を変更するには」(48 ページ) を参照してください。読み取り設定では、次の設定を変更できます。
  - －ScanSnap と連携するアプリケーション
  - －読み取ったイメージを保存するフォルダ
  - －読み取ったイメージを保存するファイル名
  - －読み取りモード（速く読み取るか、きれいに読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動で取り除くか、傾き／向きを補正するか、原稿をセットする向きを変えるか、読み取りを継続するか）
  - －読み取ったイメージのファイル形式（*.pdf / *.jpg)
  - －読み取る原稿のサイズ
  - －読み取ったイメージのファイルサイズ（圧縮率／高圧縮）

  読み取ったイメージの倍率は、若干変わることがあります。
- 読み取った画像（PDF ファイル）は、Adobe Acrobat 6.0 を使って以下のような処理をおこなうことができます。
  - **－スキャンしたページから検索可能テキストへの変換**
    <u>メニュー操作</u>：［文書］－［Paper Capture］－［キャプチャ開始］
    ※カラー画像の場合には、[読み取りモードの選択 :] を「ファイン」または「スーパーファイン」にして読み取った画像を使用してください（56 ページ参照)。
  - **－ＰＤＦ 文書の縮小**
    <u>メニュー操作</u>：［ファイル］－［ファイルサイズを縮小］

  ※上記の機能や使い方については、「Acrobat 6.0 ヘルプ」を参照してください。

■ 電源の ON/OFF について

スキャナの電源は、パソコンの ON/OFF に連動します。
また、給紙カバーの開／閉に応じて、自動的に ON/OFF します。
そのため、通常は、パソコンに接続したままにしておけば、電源の ON/OFF を意識することなくご使用いただけます。

パソコンの電源を切る、または給紙カバーを閉じると ...
スキャナの電源ランプが消灯します（電源 OFF）。

パソコンの電源を入れる、または給紙カバーを開けると ...
スキャナの電源ランプが点灯します（電源 ON）。

給紙カバーを開けたまま、パソコン起動中に電源を消したい場合は、［POWER］ボタンを押してください。

［POWER］ボタンで電源を切断／投入する場合は、［POWER］ボタンを 1 秒以上押してください。
※誤動作防止のため、1 秒以上押さないと反応しないようになっています。

まって！

- ご使用のパソコンによっては、パソコン起動時に、スキャナの初期化動作が数回おこなわれる場合があります。
- ご使用のパソコンによっては、パソコンの電源を切断してから、スキャナの電源ランプが消灯するまでに、２～３分かかる場合があります。

※これらは、パソコンの仕様であり、スキャナが故障しているわけではありません。

■ 終了します

●「ScanSnap Manager」を終了するには

タスク バーの「ScanSnap Manager」のアイコン S を右クリックして、表示されるメニューで「終了」を選択します。

「ScanSnap Manager」を終了すると、ScanSnap は使用できなくなります。
「ScanSnap Manager」を起動する場合は、スタートメニューから、
［プログラム］－［ScanSnap Manager］－［ScanSnap Manager］を選択し、
ScanSnap Manager を起動してください。
※通常は、終了する必要はありません。）

● スキャナ を取りはずすには

1. スキャナのカバーを閉じて、電源を切ります。
   ⇒ タスク バーの「ScanSnap Manager」アイコンが 状態に変わります。
   スキャナの電源ランプが消灯します。
2. USB ケーブルをパソコンからはずします。
3. スキャナの電源ケーブルをコンセントからはずします。

スキャナの電源は、パソコンの ON/OFF や、給紙カバーの開閉に連動します。
そのため、通常パソコンに接続したままにしておけば、電源の ON/OFF を意識することなくご使用いただけます。

3.2 読み取りできる原稿

以下に、読み取りできる原稿を示します。

原稿を直接読み取る場合	
読取対象	一般的なオフィス用紙、はがき、名刺
坪量	52g/m^2 ～ 127g/m^2（45kg/ 連～ 110kg/ 連）
大きさ	A4（210mm × 297mm） A5（148mm × 210mm） A6（105mm × 148mm） B5（182mm × 257mm） B6（128mm × 182mm） はがき（100mm × 148mm） 名刺（90mm × 55mm，55mm × 90mm） レター（8.5 インチ× 11 インチ，216mm × 279.4mm） リーガル（8.5 インチ× 14 インチ，216mm × 355.6mm） カスタムサイズ 幅　：50.8 ～ 216 mm（2 ～ 8.5 インチ）、 長さ：50.8 ～ 360 mm（2 ～ 14.17 インチ）

A3 キャリアシートを使用した場合	
読取対象	一般的なオフィス用紙、はがき、名刺、写真、資料などの切り抜き
坪量	～ 127g/m^2（～ 110kg/ 連） ～ 63.5g/m^2（～ 55kg/ 連）　※ 2 つ折りにして読み取る場合
大きさ	A3（297mm × 420mm） A4（210mm × 297mm） A5（148mm × 210mm） A6（105mm × 148mm） B4（257mm × 364mm） B5（182mm × 257mm） B6（128mm × 182mm） はがき（100mm × 148mm） 名刺（90mm × 55mm，55mm × 90mm） レター（8.5 インチ× 11 インチ，216mm × 279.4mm） ダブルレター（11 インチ× 17 インチ，279.4mm × 431.8mm） 写真 E 版（83mm × 117mm） 写真 L 版（89mm × 127mm） 写真 LL 版（127mm × 178mm） カスタムサイズ 幅　：50.8 ～ 216 mm（2 ～ 8.5 インチ）、 長さ：50.8 ～ 297mm（2 ～ 14.17 インチ） ※ A3, B4, ダブルレターは、2 つ折りにして読み取ります。

次のような原稿は、使用しないでください。

- クリップ、ステープラーの針などがついているもの（はずしてからご使用ください。）
- インクの乾いていないもの（十分乾かしてからご使用ください。）
- 幅 216mm, 長さ 360mm より大きいもの
- 2 つ折りにした状態で、幅 216mm, 長さ 297mm より大きいもの
- 布地、金属シート、OHP シートなどの紙以外のもの
- 裏カーボン紙、感熱紙

また、次のような原稿は、直接スキャナにセットして読み取ると、原稿を傷つけたり、正常に読み取れないことがあります。A3 キャリアシートにはさんで読み取ることをお奨めします。

- 幅 50.8mm, 長さ 50.8mm より小さいもの
- 52g/m^2（45kg/ 連）より薄いもの
- 紙厚の不均一なもの（封筒や切り貼りされた用紙）
- シワやカールの大きなもの
- 折れ破れのあるもの
- トレーシング紙
- コーティングが施されているもの
- 写真（印画紙）
- 周辺にミシン目加工されたもの
- 四角形以外の異形用紙
- 幅の統一されていないもの
- ノーカーボン紙

- 鉛筆書きの原稿は、ローラ汚れ、原稿送り不良の原因となります。読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。
（清掃方法については、「スキャナ内部の清掃」（143 ページ）を参照してください）
- ノーカーボン紙は、パッドユニットやローラ類（ピックローラ等）を傷めるような化学物質を含んでいる可能性があります。読み取る場合は以下のことに注意してください。
  －できる限り頻繁にパッドユニットやローラ類の清掃をおこなってください。
  －一般的なオフィス用紙を使用した場合にくらべて、装置寿命が短くなる場合があります。

また、A3 キャリアシートを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- 必ず、専用の A3 キャリアシートを使用してください。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、汚したり、切り取ったりしないでください。スキャナが、A3 キャリアシートを正しく認識できません。
- A3 キャリアシートは、1 枚ずつスキャナにセットしてください。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、スキャナにセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートを破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。印刷が A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下で A3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。スキャナが破損または、故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、なるべく水平な場所で、重量のかからない状態で、保管してください。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。指を切るおそれがあります。

3.3 原稿のセット方法

原稿を ScanSnap にセットする方法について説明します。

■ 一般的な原稿のセット方法

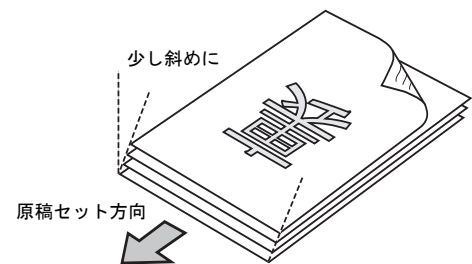
1. 原稿をそろえます。

次のように原稿をそろえます。

1）セットする原稿の両端をそろえます。
原稿の両端をそろえると、原稿が正確に読み取れます。

2）原稿枚数を確認します。
セットする原稿枚数の目安は、次のとおりです。

- A4 サイズ以下の場合、原稿の厚みが 5mm 以下になる枚数（64g ／ m^2（55kg ／連）用紙で 50 枚）

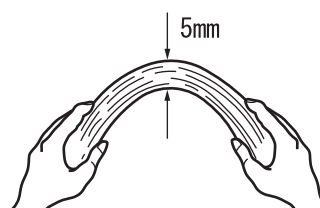
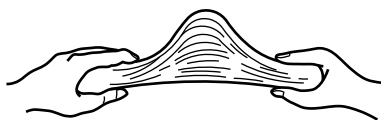
原稿を ScanSnap にセットする前に、原稿の先端をすこし斜めにずらしておくと、さらに正確に読み取れます。

ScanSnap Manager の「読み取りと保存に関する設定」で、[読み取りモード］タブー［オプション］の「1 ページ目を上向きにして原稿をセットします」にチェックが入っている場合は、
原稿表面を上向き、後端を原稿セット方向にしてください。

複数枚の原稿をセットする場合は、次の手順で原稿をさばきます。

1）原稿を 5mm 以下の厚みで取り出します。

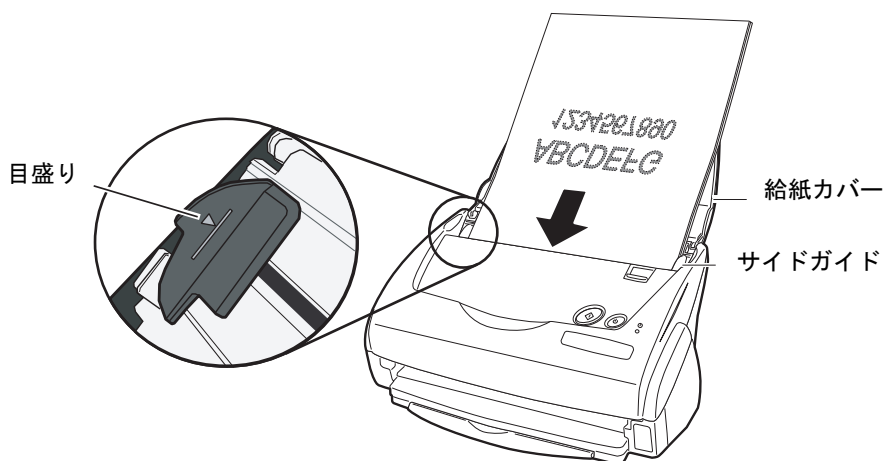
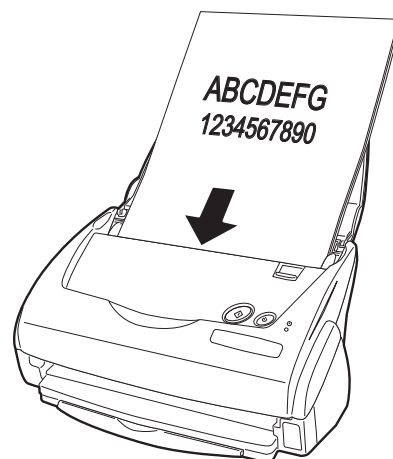
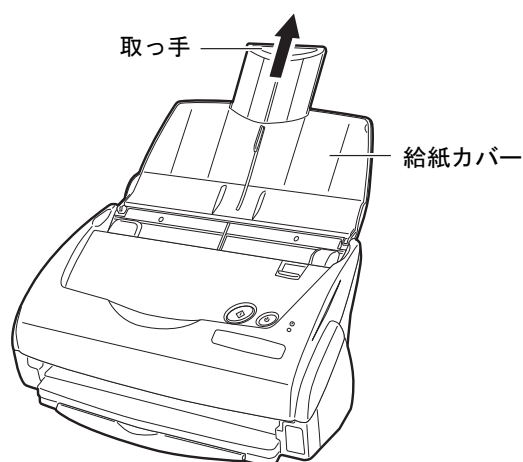
2）両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。

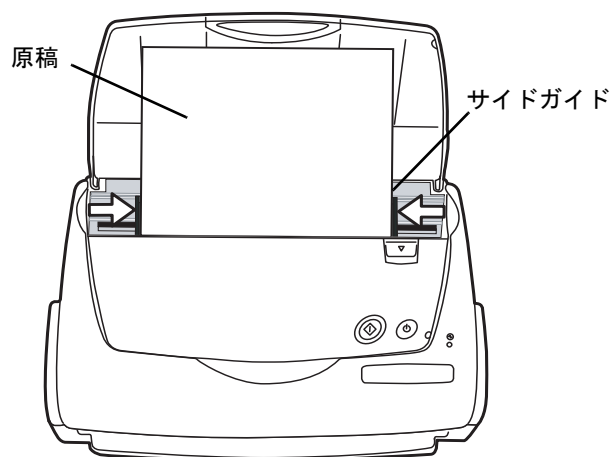
3

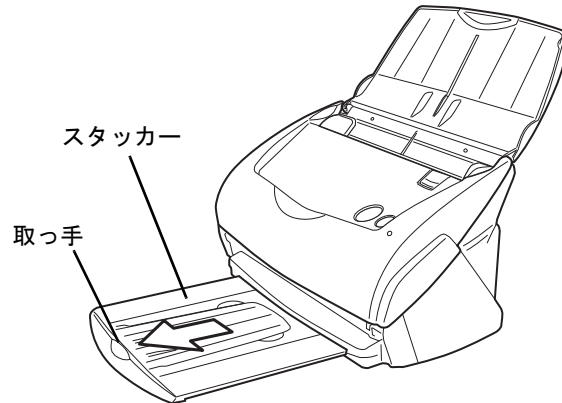
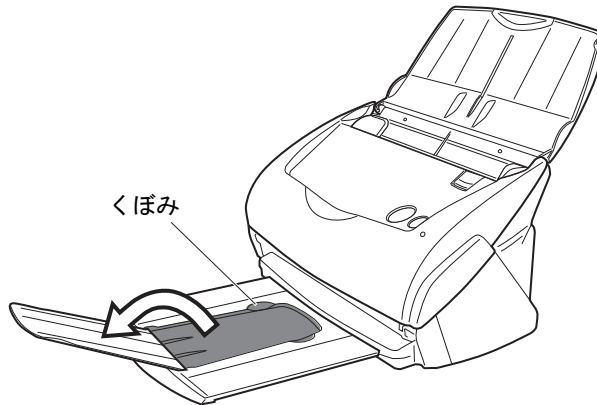
ScanSnap を使ってみましょう

3）原稿の両端にできた傾斜が元に戻らないように、両手で原稿を強くつかみ、湾曲を元に戻します。

4）操作 1）～操作 3）の動作を 2 ～ 3 回繰り返します。

5）原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

2. 給紙カバーの上に原稿をセットします。

原稿の表面（複数枚ある場合は、1 ページ目）を給紙カバー側にし、先端を下向きにしてセットします。
原稿の厚みが、サイドガイド内側に刻まれた目盛りを越えないように、原稿の枚数を調節してください。

ScanSnap Manager の「読み取りと保存に関する設定」で、［読み取りモード］タブー［オプション］の「1 ページ目を上向きにして原稿をセットします」にチェックが入っている場合は、原稿の表面を手前側、先端を上向きにしてセットしてください。

長さのある原稿をセットする場合は、給紙カバーの取っ手を引き上げてから、原稿をセットします。

3. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み取られることがあります。

スタッカーを使うと、読み取りが終了した原稿がばらばらになりません。
スタッカーは、次のように使用します。

1. スタッカーの取っ手を持ち、手前に引き出します。

2. くぼみに指をかけ、手前に起こします。

■ A3 キャリアシートを使用した原稿のセット方法

A3 キャリアシートは、ScanSnap fi-5110EOX2 専用の原稿搬送用シートです。
そのままではスキャナで読み取ることができなかった、A3 ／ B4 サイズのような、A4 サイズより大きい原稿を、二つ折りにして A3 キャリアシートにはさみ、両面読み取りすることにより、最大 A3 サイズ（片面）まで読み取ることができます。
また、写真のような傷つきやすい原稿や、資料の切り抜きのような不定形原稿など、直接スキャナにセットして読み取ることが困難な原稿も読み取ることができます。

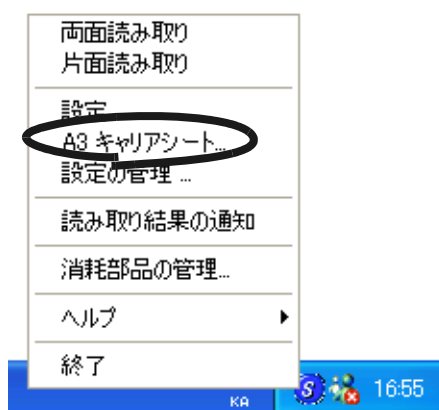
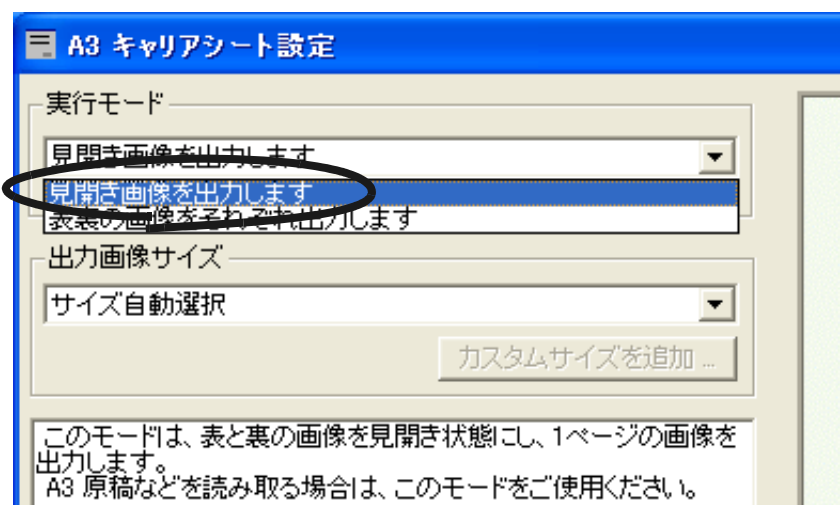
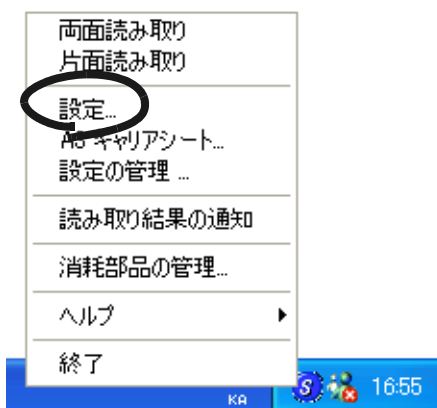
以下に、A3 キャリアシートに原稿をセットする方法について説明します。
A3 キャリアシートの設定には、読み取る原稿のタイプに合わせて、以下の 2 つの「実行モード」があります。

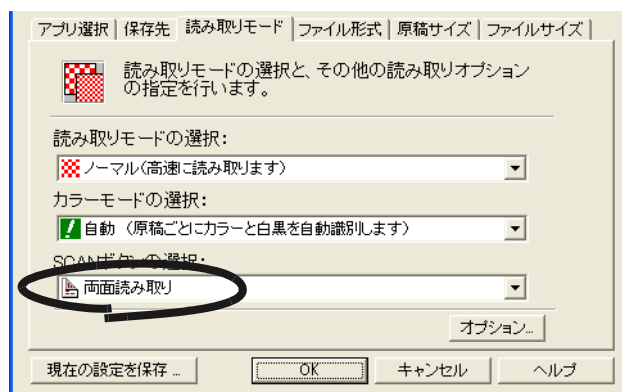
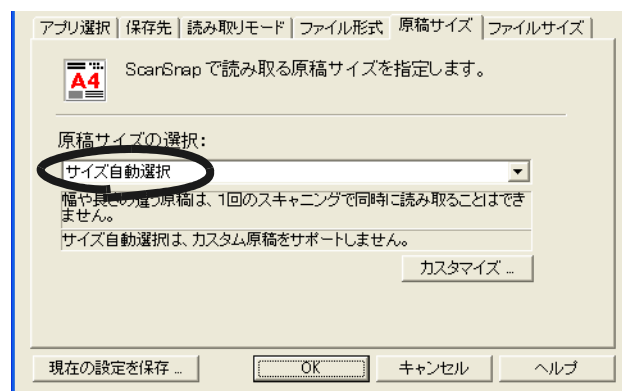
見開き画像を出力します：	A3/B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を、2 つ折りにして両面読み取りをおこない、見開き状態に並べて、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。
表裏の画像をそれぞれ出力します：	傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなどの不定形な原稿のような、直接スキャナにセットして読み取ることが難しい原稿を読み取るためのモードです。 読み取った画像を、指定したサイズで出力します。

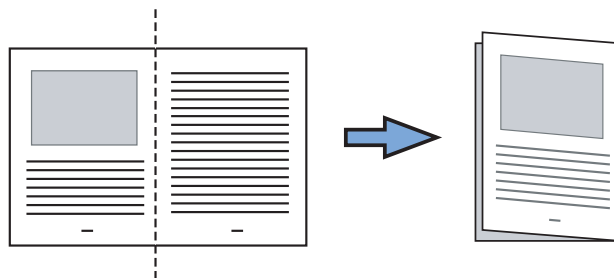
- A3 キャリアシートを使用する際は、「ScanSnap Manager」の［原稿サイズ］の設定を、「**サイズ自動選択**」にしてください。
  また、「見開き画像を出力します」で読み取る場合は、「ScanSnap Manager」の［読み取りモード］の設定を、「**両面読み取り**」にしてください。「片面読み取り」をおこなうと、「表裏の画像をそれぞれ出力します」で片面読み取りをおこなった場合と同じ出力結果になります。
  「A3 キャリアシート」の設定方法については、「3.6　A3 キャリアシートの設定方法」（73 ページ）を参照してください。
- A3 キャリアシートを使って読み取りをおこなう場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1 枚ずつセットして読み取ってください。

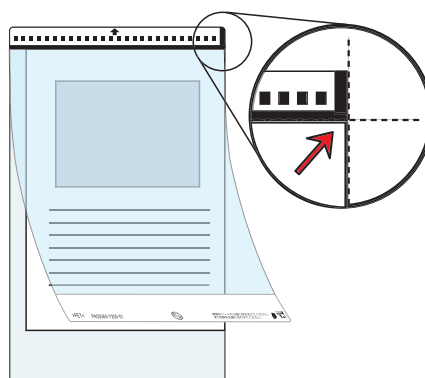
「見開き画像を出力します」の場合

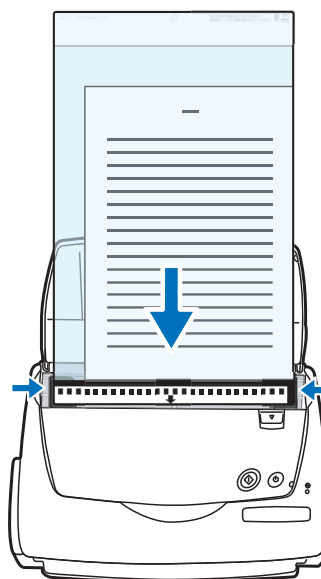
A3/B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を読み取るためのモードです。
原稿を 2 つ折りにして両面読み取りをおこない、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。
（A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、見開き状態にして 1 つの画像に出力することもできます。）

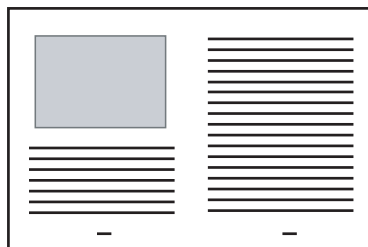
1. タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」 を右クリックして、［A3 キャリアシート ...］を選択します。

2. 「A3 キャリアシート設定」の画面で、［実行モード］を「見開き画像を出力します」にして［OK］ボタンをクリックします。

3. **タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」 を右クリックして、［設定 ...］を選択します。**

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

4. **［読み取りモード］タブの「SCAN ボタンの設定」で、「両面読み取り」を選択します。**

5. **［原稿サイズ］タブの「原稿サイズの選択：」で、「サイズ自動選択」を選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

6. 原稿を、読み取り面が外側にくるようにして、中央から２つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。折り曲げ部分の " こし " が強いと、傾きの原因となります。

7. A3 キャリアシートを開いて、原稿をセットします。

原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のできないようにしっかりと合わせます。

8. A3 キャリアシートをスキャナにセットします。

- 白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットしてください。
- A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。
- A3 キャリアシートを使って読み取りをおこなう場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1 枚ずつセットして読み取ってください。

9. ［SCAN］ボタン を押します。

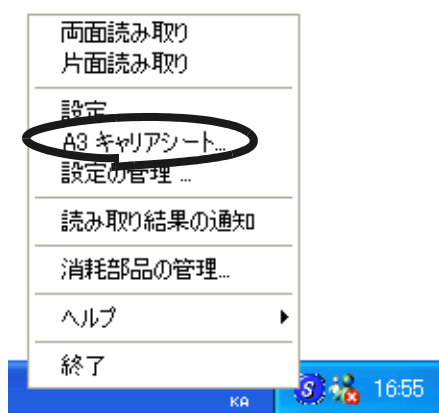
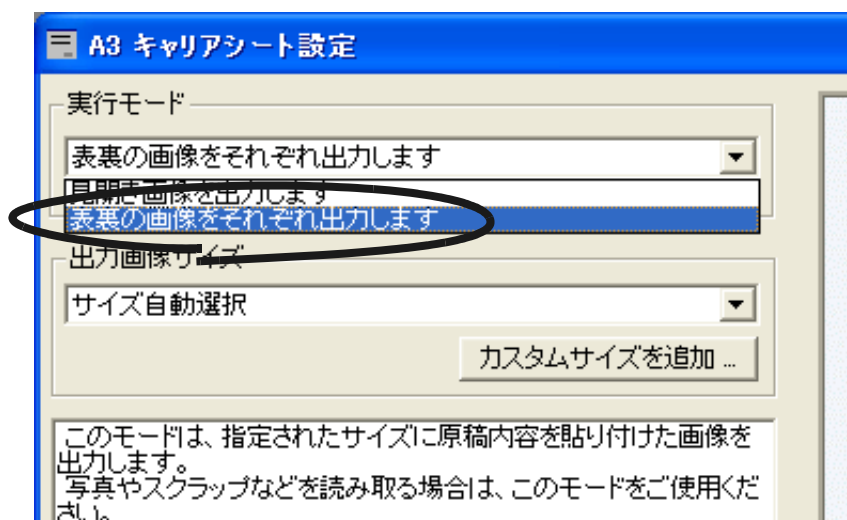
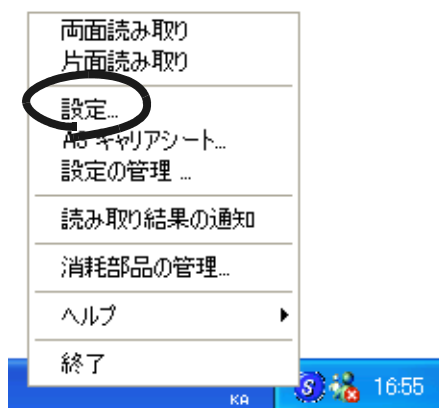
⇒ 両面読み取りをおこなうと、表 / 裏の画像データが見開き状態で並べて出力されます。

出力された画像の継ぎ目部分に隙間やズレ、線が入ったりする場合があります。
また、厚い原稿を読み取った場合に継ぎ目部分を境にして画像がハの字に傾く傾向があります。
これらの現象は、原稿の折り曲げ方や、セットの仕方によってばらつきます。
その場合は、以下を確認してください。　改善される場合があります。

- 原稿が、しっかりと折り曲げられているか。
- 原稿の端が A3 キャリアシートの端にきっちりと合っているか。
- A3 キャリアシートを裏 / 表逆にセットしてみたらどうか。

「A3 キャリアシート設定」画面で、［出力画像サイズ］に「サイズ自動選択」が選択されていると、出力される画像サイズが原稿より小さくなる場合があります。
（A3/B4/ ダブルレターサイズの中から、原稿上の印刷が収まる最小のサイズで出力されます。）
例：A3 サイズの原稿の中央に A4 サイズで印刷されている場合
　⇒ B4 サイズで出力されます。
原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、［出力画像サイズ］で原稿サイズを設定してください。

「表裏の画像をそれぞれ出力します」の場合

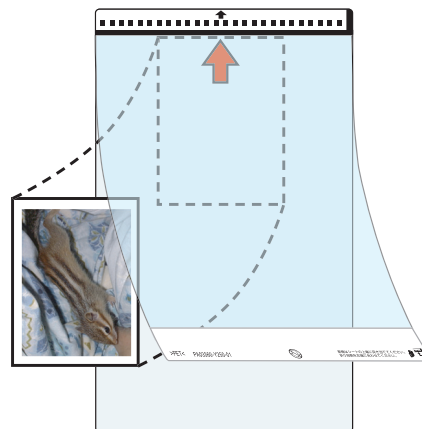
傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなど、ScanSnap でそのまま読み取ることが難しい原稿を、A3 キャリアシートにはさんで読み取るためのモードです。

1. タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」 を右クリックして、［A3 キャリアシート ...］を選択します。

2. 「A3 キャリアシート設定」の画面で、［実行モード］を「表裏の画像をそれぞれ出力します」にして［OK］ボタンをクリックします。

3. タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」 を右クリックして、[設定 ...] を選択します。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

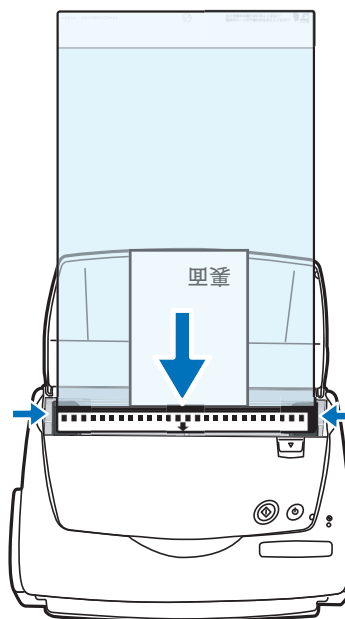
4. [原稿サイズ] タブの「原稿サイズの選択 : 」で、「サイズ自動選択」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

3 ScanSnap を使ってみましょう

5. A3 キャリアシートを開いて、原稿をセットします。

原稿の先端を、A3 キャリアシート上部に突き当てるようにセットしてください。
原稿が A3 キャリアシートからはみ出さないように、幅方向に対して中央にセットしてください。

6. A3 キャリアシートをスキャナにセットします。

- 白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットしてください。
- 原稿の裏面が手前側にくるようにセットしてください。
- A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。
- A3 キャリアシートを使って読み取りをおこなう場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1 枚ずつセットして読み取ってください。

まって！

ScanSnap Manager の「読み取りと保存に関する設定」で、［読み取りモード］タブー［オプション］の「1 ページ目を上向きにして原稿をセットします」にチェックが入っている場合は、原稿の表面が手前、上端が上になるようにセットしてください。

7.　［SCAN］ボタン を押します。

⇒ 読み取りが開始され、画像データが指定されたサイズで出力されます。

- 読み取った原稿は、指定した画像サイズの中央に配置されて出力されます。「A3 キャリアシート設定」の画面で、［出力画像サイズ］に「サイズ自動選択」が選択されていると、選択可能な定型サイズ（74 ページ参照）の中から最適なサイズが選択されます。
- 「A3 キャリアシート設定」の画面で、［出力画像サイズ］に「サイズ自動選択」が選択されていると、出力される画像サイズが原稿より小さくなる場合があります。

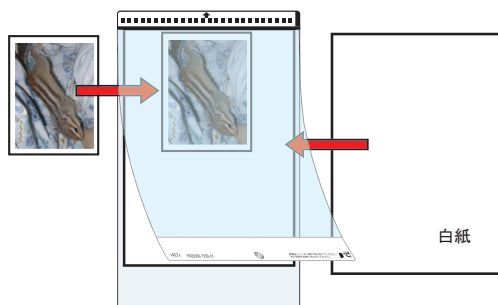
  例：A4 サイズの原稿の中央に A5 サイズで印刷されている場合
  　⇒ A ５サイズで出力されます。

  原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、［出力画像サイズ］で原稿サイズを設定してください。

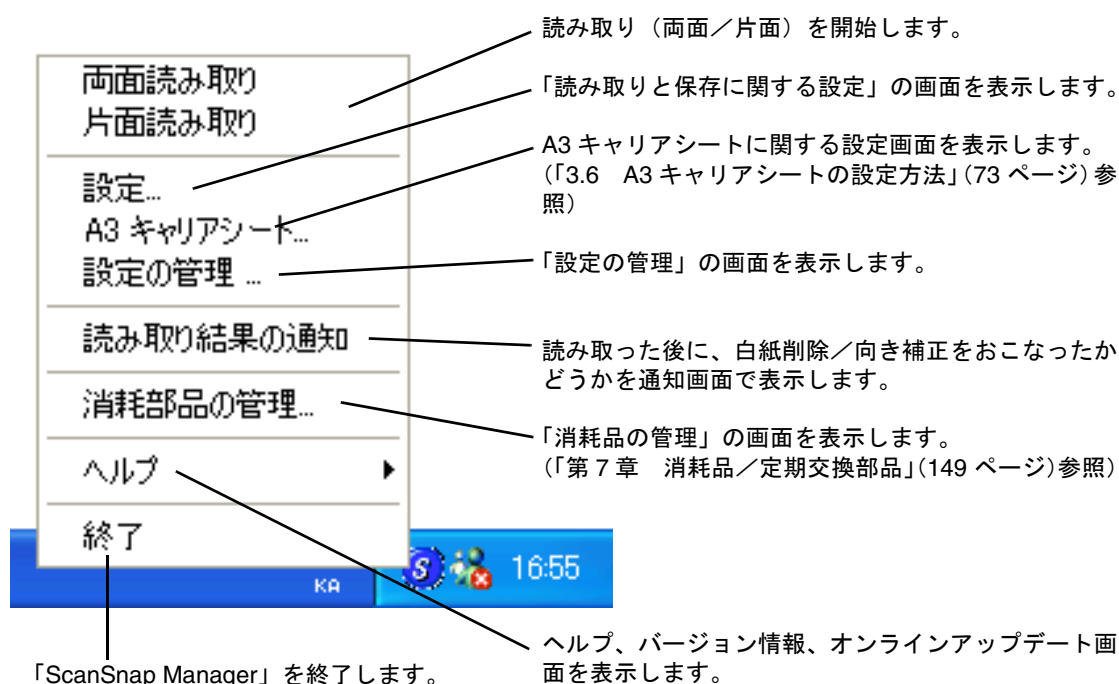
以下のような現象が出る場合は、原稿の後ろに白紙をセットしてください。

- 読み取った原稿が、適切なサイズで出力されない（「サイズ自動選択」時）
- 原稿の端に影ができる
- 特殊な形に切り抜いた原稿の周りに黒線ができる

3

ScanSnap を使ってみましょう

3.4 読み取り設定を変更するには

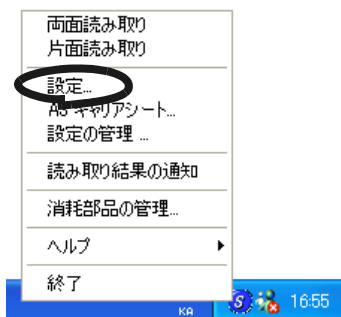
ScanSnap の動作は、すべて ScanSnap Manager で管理されています。

ScanSnap Manager は、通常、Windows 画面の右下にあるタスク バーにアイコン として登録されています。
このアイコンを右クックすると、以下のメニューが表示され、
読み取りを開始したり、原稿を読み取るときの設定を変更したり、消耗品の管理をしたりすることができます。

ここでは、原稿を読み取るときの「読み取りと保存に関する設定」について説明します。

次の設定を変更できます。

- ScanSnap で読み取った後に起動するアプリケーション　⇒ **［アプリ選択］**
- 読み取ったイメージの保存先　⇒ **［保存先］**
- 読み取りモード ⇒ **［読み取りモード］**
  （速く読み取るか、きれいに読み取るか、カラーで読み取るか、白黒で読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動的に取り除くか、原稿の傾き／向きを自動的に補正するか、原稿をどうセットするか、読み取り後継続するか など）
- 読み取ったイメージのファイル形式　⇒ **［ファイル形式］**
  （ファイル形式、PDF ファイルのページ数指定、PDF ファイルのパスワード設定 など）
- 読み取る原稿のサイズ　⇒ **［原稿サイズ］**
- 読み取ったイメージを保存する際のファイルサイズ　⇒ **［ファイルサイズ］**

以下に、設定を変更する方法について説明します。

1. タスク バーの「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定］を選択します。

⇒「読み取りと保存に関する設定」のダイアログボックスが表示されます。

アイコンをダブルクリックするか、または、キーボードで［Ctrl］＋［Shift］＋［Space］キーを同時に押すことによって、「読み取りと保存に関する設定」のダイアログボックスを表示することもできます。

2. 「読み取りと保存に関する設定」の画面で、読み取り設定を変更します。

以下に、それぞれのタブの設定項目について説明します。

［アプリ選択］タブ

アプリケーションの選択：

ScanSnap と連携して動作させるアプリケーションを指定します。指定したアプリケーションは、ScanSnap で原稿を読み取った後に起動されます。
［▼］をクリックして、アプリケーションを選択します。
次のアプリケーションが選択できます。

- アプリケーションを起動しません（ファイル保存のみ）
- ScanSnap Organizer
- Adobe® Acrobat®
- Adobe® Acrobat® Reader™ または、Adobe® Reader®
- 名刺ファイリング OCR

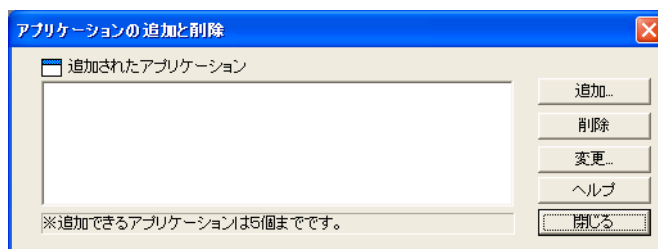
- 上記アプリケーションは、インストールすると自動的に選択可能となり、アンインストールすると自動的に選択項目に表示されなくなります。
- 「アプリケーションを起動しません」を選択すると、読み取った後ファイルを保存して、そのまま終了します。読み取り結果は、画面に表示されません。読み取るたびに読み取り結果を確認する必要がない場合は、この設定が適しています。
- 「アプリケーションの選択：」で、「名刺ファイリング OCR 」を選択すると、［保存先］タブ、［ファイル形式］タブ、［原稿サイズ］タブ、および［ファイルサイズ］タブは表示されません。
- 名刺ファイリング OCR を起動すると、［アプリ選択］タブの「アプリケーションの選択：」のアプリケーションが、自動的に「名刺ファイリング OCR」が指定された状態になります。名刺ファイリング OCR を終了すると、もとの指定に戻ります。

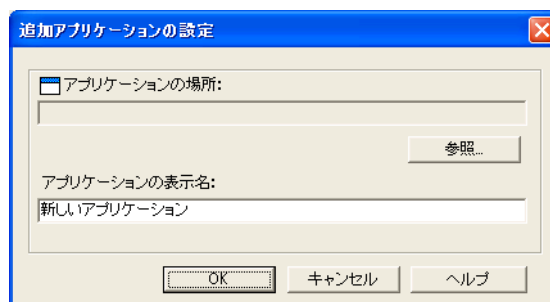
まって！

「Adobe® Acrobat® Reader™ または、Adobe® Reader®」と「Adobe® Acrobat®」が同時にインストールされている状態で、
「PDF Thumbnail View」が有効になっていると、
「アプリケーションの選択：」で「Adobe® Acrobat® Reader™ または、Adobe® Reader®」を選択しても、読み取り後に、「Adobe® Acrobat®」が起動します。
このような場合は、「PDF Thumbnail View」を無効にするか、「Adobe® Acrobat®」をそのまま使用してください。

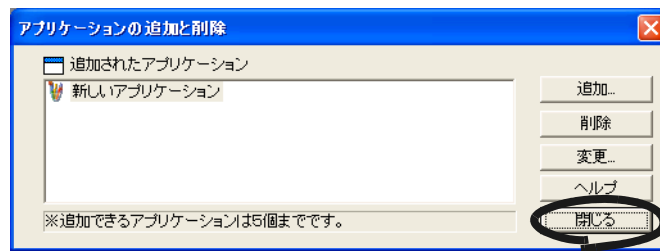
※「PDF Thumbnail View」の設定については、「3.9　PDF Thumbnail View の使い方」（111 ページ）を参照してください。

［追加と削除］ボタン

「アプリケーションの選択：」に、アプリケーションを登録したり、登録したアプリケーションを削除することができます。
［追加と削除］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。
（最大５つのアプリケーションを登録することができます。

<アプリケーションを追加する場合>

1. ［追加］ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。

- ［参照］ボタンをクリックして、登録したいアプリケーションのショートカットファイル（.lnk）あるいは、実行ファイル（.exe）を選択します。
  ⇒「アプリケーションの場所：」に、選択したアプリケーションの場所が表示されます。
- 「アプリケーションの表示名：」に、表示させたい名前を入力します。
  ⇒入力した表示名が「アプリケーションの選択：」のリストに追加されます。

3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示され、新しいアプリケーションが追加されます。
   [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

追加するアプリケーションには、以下のフォーマット形式のファイルを指定して実行できるアプリケーションを選択してください。
　JPEG （*.jpg），　PDF （*.pdf）
これらのファイル形式に対応していないと、読み取った画像を正しく表示することができません。
また、アプリケーションによっては、パスワード付き PDF ファイルを開くことができない場合があります。

以下のような方法で確認する事ができます。
<例：追加したいアプリケーションが JPEG 形式のファイルを指定して実行できるかどうかを確認する場合。>

1. 追加したいアプリケーションのショートカットを作成します。
2. 任意の JPEG 形式のファイル（*.jpg）をショートカット上までドラック & ドロップします。
   アプリケーションが起動してファイルが開けば、JPEG 形式のファイルを指定して実行できることになります。

<アプリケーションを削除する場合>

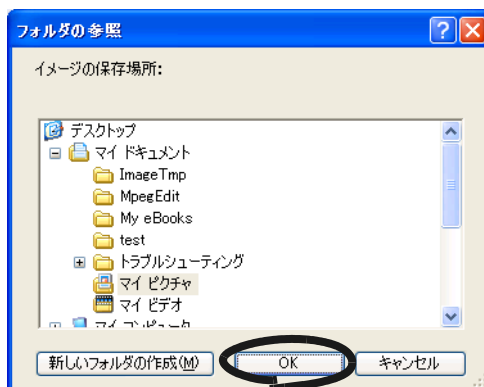
1.「アプリケーションの追加と削除」の画面で、削除したいアプリケーションを選択して、[削除] ボタンをクリックします。
2. 確認の画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. アプリケーションが削除されているのを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。

<設定を変更する場合>

1.「アプリケーションの追加と削除」の画面で、設定を変更したいアプリケーションを選択して、[変更] ボタンをクリックします。
2.「追加アプリケーションの設定」の画面が表示されますので、変更したい項目を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
4.「アプリケーションの追加と削除」の画面が表示され、設定が変更されます。[閉じる] ボタンをクリック、画面を閉じます。

［保存先］タブ

イメージの保存先：

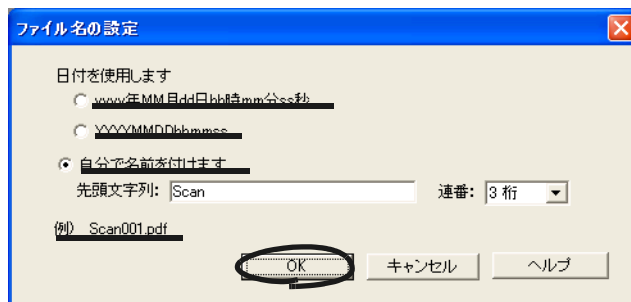
読み取ったイメージを保存するフォルダを指定します。
［参照］ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」の画面が表示されます。
保存するフォルダを選択し、［ OK ］ボタンをクリックします。

まって！

Windows 98 の場合、［新しいフォルダの作成］ボタンは表示されません。

「アプリケーションの選択：」で「ScanSnap Organizer」を選択すると、「イメージの保存先：」と［参照］ボタンがグレーアウトして、イメージの保存先が指定できなくなります。
この場合、読み取ったイメージは、ScanSnap Organizer で指定した「My ScanSnap フォルダ」（118 ページ）に保存されます。

［ファイル名の設定］ボタン

読み取った画像を保存するファイル名の設定をおこないます。

［ファイル名の設定］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示れます。

以下の 3 種類の指定が可能です。

①「日付を使用します (YYYY 年 MM 月 DD 日 hh 時 mm 分 ss 秒)」

ファイルを保存する時の、日時をファイル名にします。

例）2002 年 7 月 27 日 19 時 00 分 50 秒に PDF 形式で保存した場合

ファイル名： **2002 年 07 月 27 日 19 時 00 分 50 秒 . pdf**

②「日付を使用します (YYYYMMDDhhmmss)」

ファイルを保存する時の、日時をファイル名にします。

例）2002 年 7 月 27 日 19 時 00 分 50 秒に PDF 形式で保存した場合

ファイル名： **20020727190050. pdf**

③「自分で名前をつけます」

「先頭文字列：」に入力した文字列と「連番：」で指定した桁数の数字を組み合わせてファイル名を生成します。

(画面の下の部分に、ファイル名の例が表示されます。)

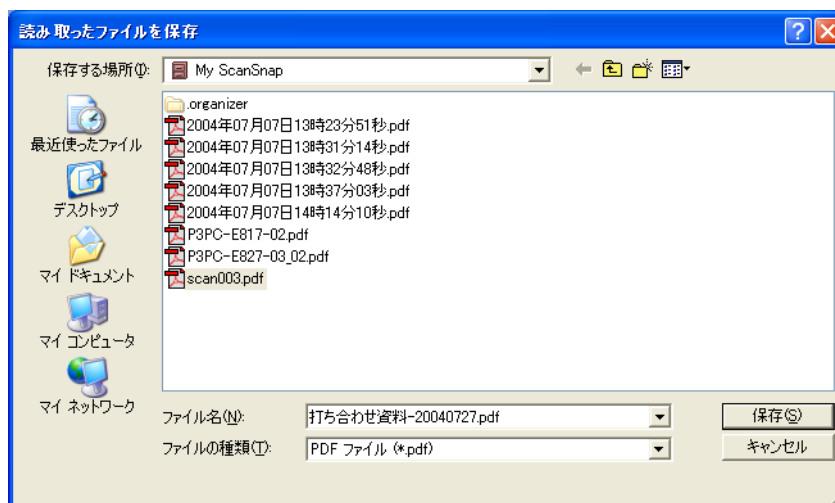
「連番：」について

- ［保存先］タブで設定したイメージ保存先フォルダに、「先頭文字列：」で指定した名前と同じファイルが存在しない場合、1（3 桁の場合 001）となり、以降新しくファイルを保存するたびに、１ずつ加算されていきます。
- 保存先フォルダ内に、「先頭文字列：」で指定した名前と同じファイルが存在する場合、重複しない最小の番号となります。
  例）フォルダ内に、Scan01.pdf, Scan03.pdf, Scan04.pdf というファイルが存在する場合、以降同じ「先頭文字列：」のファイル名で保存すると、Scan02.pdf, Scan05.pdf, Scan06.pdf, Scan07.pdf..... となります。
- 指定した桁数を超える場合(2 桁指定で 100 個目のファイルを保存するような場合)、桁数が 1 つ繰り上がります。

［OK］ボタンをクリックすると設定が反映されます。

(設定したファイル名の表示例が、［ファイル名の設定］ボタンの下に表示されます。)

読み取り後、ファイル名を変更する

チェックを付けると、読み取り終了後に、「読み取ったファイルを保存」の画面が表示されます。

この画面で、読み取った画像の保存先や、ファイル名を変更することができます。

- ファイル名には、あらかじめ、「ファイル名の設定」の画面で指定した名前が付けられています。変更する必要がない場合は、そのまま［保存］ボタンをクリックしてください。
- 一度の読み取りで、複数のファイルが生成される場合、ファイル名の後に連番が付加されます。（⇒ファイル名＋連番 . 拡張子）

例 1）「PDF ファイルオプション」（60 ページ）で、「設定ファイルごとに PDF ファイルを作ります」を選択して、指定したページ数を越えるページ数の原稿を読み取った場合：
⇒ Scan001.pdf, Scan002.pdf, Scan003.pdf...

例 2）JPEG 形式で保存する場合：
⇒ Scan001.jpg, Scan002.jpg, Scan003.jpg...

※例は、いずれも、ファイル名を「Scan」にしたときの結果です。
※連番の桁数は、「ファイル名の設定」の画面の設定にしたがいます。

［読み取りモード］タブ

読み取りモードの選択：

速く読み取るか、きれいに読み取るかを指定します。
次のいずれかのモードを選択します。

- **ノーマル（高速に読み取ります）**
  速く読み取りたいときに選択します。
- **ファイン（綺麗に読み取ります）**
  きれいな画像で読み取りたいときに選択します。
- **スーパーファイン（より綺麗に読み取ります）**
  よりきれいな画像で読み取りたいときに選択します。
- **エクセレント（更に綺麗に読み取ります）**
  スーパーファインより更にきれいな画像で読み取りたいときに選択します。

ノーマルはカラー 150dpi, 白黒 300dpi 相当、
ファインはカラー 200dpi, 白黒 400dpi 相当、
スーパーファインはカラー 300dpi, 白黒 600dpi 相当、
エクセレントはカラー 600dpi, 白黒 1200dpi 相当です。
一般的に、きれいに読み取るほど、読み取りにかかる時間が長くなり、ファイルサイズも大きくなります。

カラーモードの選択：

カラーで読み取るか、白黒で読み取るかを指定します。
次のいずれかのモードを選択します。

- **自動（原稿ごとにカラーと白黒を自動識別します）**
  読み取る原稿がカラーか白黒かを判別して自動的に切り替えます。
- **カラー**
  カラーで読み取りをおこないます。
  カラー原稿を読み取るときに最適です。

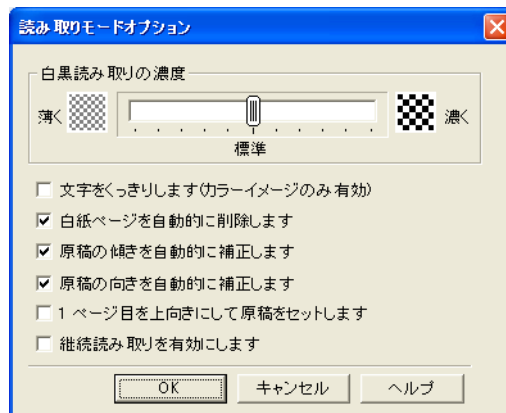
- **白黒**
  白黒で読み取りをおこないます。
  白黒で文字中心の原稿を読み取るときに最適です。
  ファイルサイズも「カラー」に比べて小さく抑えることができます。

通常は、「自動」に設定してお使いください。
読み取るたびに原稿に合わせてカラーモードを変更する必要がなくなります。
※但し、以下のような原稿は、白黒と判別される場合があります。
・全体的に薄い色がついた原稿
・一部分に少しだけカラーがある原稿
カラーとして読み取りたい場合は、カラーモードの選択でカラーを設定してください。

SCAN ボタンの選択

スキャナ上の［SCAN］ボタン を押したときに、両面読み取りにするか、片面読み取りにするかを選択します。

［オプション］ボタン

読み取りに関するその他の設定をおこないます。
［オプション］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

白黒読み取りの濃度

白黒読み取り時の濃度の設定をおこないます。
スライダコントロールのつまみを左に移動すると読み取り結果が薄く、右に移動すると読み取り結果が濃くなります。
※「カラーモードの選択：」で、「白黒」が選択されている場合、あるいは「自動」が選択されていて、白黒原稿と認識された場合に有効となります。

文字をくっきりします（カラーイメージのみ有効）

読み取る原稿の種類によって、次のようにチェックします。
- **活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、チェックを付けます。**
- **写真が入った原稿を読み取る場合は、チェックをはずします。**

※「カラーモードの選択：」で、「カラー」が選択されている場合、あるいは「自動」が選択されていてカラー原稿と認識された場合に有効となります。

白紙ページを自動的に削除します

原稿に含まれる白紙ページを検出し、自動的に削除して出力します。たとえば、両面原稿と片面原稿が混在した状態で、両面読み取りをおこなうと、片面原稿の裏面（白紙ページ）だけを取り除いて出力することができます。

※読み取った原稿がすべて白紙と認識された場合は、出力されません。

以下のような原稿は、白紙ページとして判別される場合があります。

- 白紙原稿内に、２、３文字以内の文字のみが書かれている場合。
- 白色でなくても、ページ全体が一様色 (無地) の場合。

※黒色も含みます。

原稿の傾きを自動的に補正します

原稿の傾きを検出し、原稿が傾いた状態で読み取られた場合に、その傾きを補正して出力します。
最大± 5°の傾きを補正することができます。

原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は画像が傾く場合があります。

- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。

原稿の向きを自動的に補正します

横向きに読み取られたり、上下逆さまに読み取られた原稿を、正しい向きに回転して出力します。

原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。

- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿

- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。

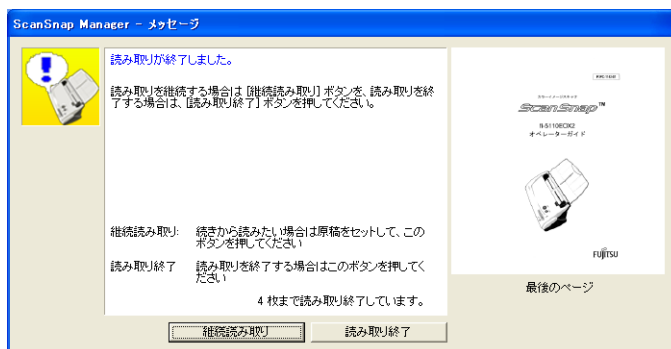
1 ページ目を上向きにして原稿をセットします

図のように、手にした原稿をそのままセットして読み取りたい場合にチェックを付けます。

最終ページから逆に読み取りを開始して、すべての原稿を読み取った後で、データを 1 ページ目から順番に並べ替えて、ファイルに出力します。

原稿を読み取った後にデータを並べ替える処理が入るため、通常よりも読み取り速度が遅くなります。

継続読み取りをします

読み取り終了後、読み取りを継続するかどうかのメッセージを表示します。

続けて読み取る場合は、スキャナに原稿をセットして、［継続読み取り］ボタンをクリックします。
終了する場合は、［読み取り終了］ボタンをクリックします。
読み取りを終了した時点で、これまで読み取った画像が 1 つのファイルにまとめて出力されます。

※最大 1000 ページまで継続して読み取ることができます。

※保証できる PDF ファイルのファイルサイズの上限は、1G バイトです。1G バイト以上の PDF ファイルは作成可能ですが、Adobe Acrobat にて表示させると、「このファイルは壊れていますが修復しています。」というメッセージが表示される場合があります。

［ファイル形式］タブ

ファイル形式の選択

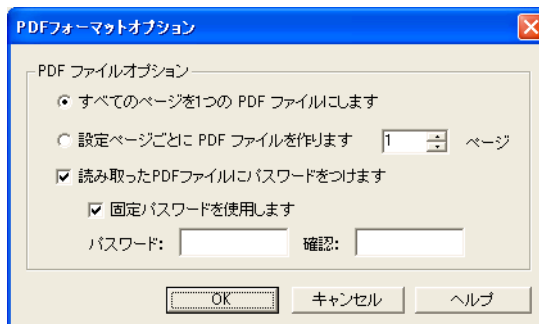
読み取ったイメージのファイル形式を指定します。［▼］をクリックして、ファイル形式を選択します。次のファイル形式が選択できます。

- PDF（*.pdf）
- JPEG（*.jpg）

まって！

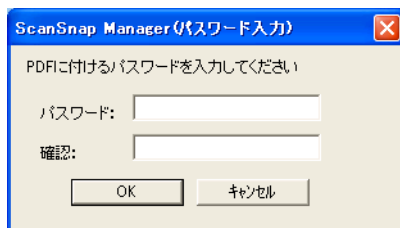
［読み取りモード］タブの「カラーモードの選択：」で、「自動」、「白黒」が選択されている場合は、「JPEG」は選択できません。
逆に、「JPEG」が選択されている場合に、「自動」、または「白黒」を選択すると、ファイル形式は、自動的に「PDF」に切り替わります。

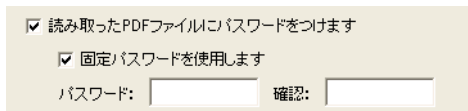
［オプション］ボタン

PDF ファイルに関する詳細設定を行います。「ファイル形式の選択：」で「PDF（*.pdf）」を選択したときに有効になります。
［オプション］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

- **すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします**
  読み取ったイメージをすべて 1 つのファイルにまとめて保存します。

- 設定ページごとに PDF ファイルを作ります
  指定したページ数ごとにファイルを作成します。例えば、“2” ページに設定して 6 ページある原稿を読み取った場合、ファイルが 3 つ作成されます。

「アプリケーションの選択：」で、Adobe Acrobat および Adobe® Reader®（または Acrobat® Reader™）を選択した場合、一度の読み取りで複数のファイルが作成されると、読み取り後に、1 つ目のファイルのみ画面に表示されます。（それ以外の場合は、選択したアプリケーションの仕様にしたがいます。）

- 読み取った PDF ファイルにパスワードをつけます
  読み取り後に作成される PDF ファイルに、パスワードをつけることができます。パスワードをつけた PDF ファイルは、パスワードを入力しないとファイルを開くことができなくなります。
  読み取りが終わる度にパスワード入力画面が表示されるので、パスワードを 2 箇所（1 箇所は確認用）に入力して、［OK］ボタンをクリックします。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、パスワードのない通常の PDF ファイルとして保存されます。

– 固定パスワードを使用します
  読み取りをおこなう度にパスワード入力画面を表示するのではなく、すべての PDF ファイルに対して、あらかじめ固定のパスワードを設定しておくことができます。
  チェックすると、「パスワード：」、「確認：」欄が有効になるので、同じパスワードを 2 箇所に入力します。

- パスワードには、以下の半角文字、および半角スペースを設定することができます。
  最大文字数：半角 16 文字
  半角英数字：A ～ Z、a ～ Z、0 ～ 9
  半角記号：! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ~
- 本機能は、ご使用のパソコンに Adobe Acrobat 6.0 がインストールされているときのみ有効となります。
- パスワードを忘れてしまうと、PDF ファイルが二度と開けなくなってしまいますので、ご注意ください。

［原稿サイズ］タブ

原稿サイズの選択：

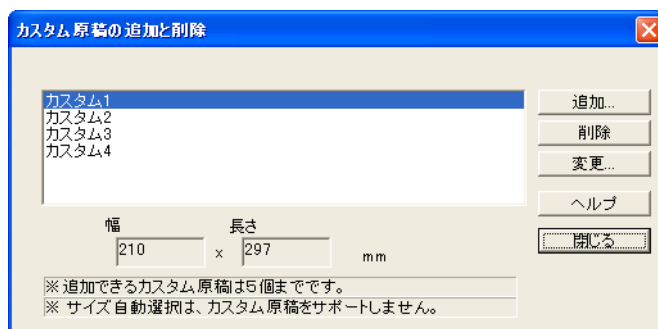
セットする原稿のサイズを指定します。［▼］をクリックして、サイズを選択します。次の原稿サイズ（幅×長さ）を選択できます。

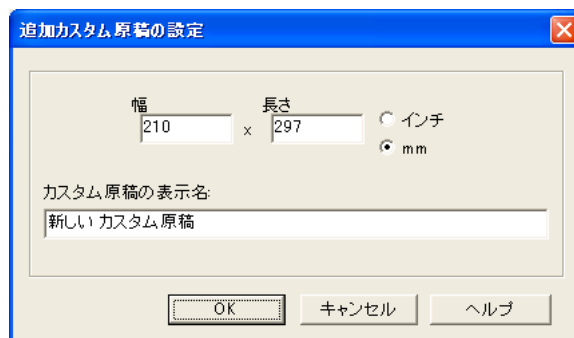
- サイズ自動選択
- A4（210mm × 297mm）
- A5（148mm × 210mm）
- A6（105mm × 148mm）
- B5（182mm × 257mm）
- B6（128mm × 182mm）
- はがき（100mm × 148mm）
- 名刺（90mm × 55mm，55mm × 90mm）
- レター（8.5 インチ× 11 インチ，216mm × 279.4mm）
- リーガル（8.5 インチ× 14 インチ，216mm × 355.6mm）
- カスタムサイズ（5 個まで登録可能）

まって！

A3 キャリアシートを使用して読み取りをおこなう場合は、必ず「サイズ自動選択」を選択してください。

［カスタマイズ］ボタン

「原稿サイズの選択：」に任意の原稿サイズを、最大 5 個まで登録できます。ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。

＜カスタム原稿サイズを追加する場合＞

1. ［追加］ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。

- 原稿のサイズを入力します。
  幅　：50.8 ～ 216 mm（2 ～ 8.5 インチ）、
  長さ：50.8 ～ 360 mm（3 ～ 14.17 インチ）
  の範囲で設定することができます。
- 「カスタム原稿の表示名：」に、表示させたい名前を入力します。
  ⇒入力した表示名が「原稿サイズの選択：」のリストに追加されます。

3. 設定が終了したら、［ OK ］ボタンをクリックします。
   ⇒新しいカスタム原稿サイズが登録されます。
4. ［閉じる］ボタンをクリックして、「カスタム原稿の追加と削除」の画面を閉じます。

＜カスタム原稿サイズを削除する場合＞

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、削除したい原稿サイズ名を選択して、［削除］ボタンをクリックします。
2. 確認の画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。
3. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、原稿サイズが削除されているのを確認して、［閉じる］ボタンをクリックします。

＜設定を変更する場合＞

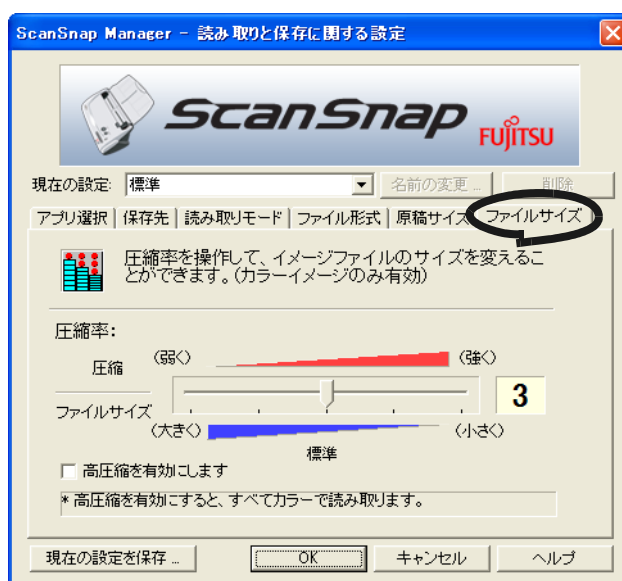
1.「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、設定を変更したい原稿サイズ名を選択して、［変更］ボタンをクリックします。
2.「追加カスタム原稿の設定」の画面が表示されますので、変更したい項目を変更します。
3. 設定が終了したら、［ OK ］ボタンをクリックします。
   ⇒「カスタム原稿の追加と削除」の画面が表示され、設定が変更されます。
4.［閉じる］ボタンをクリックして、画面を閉じます。

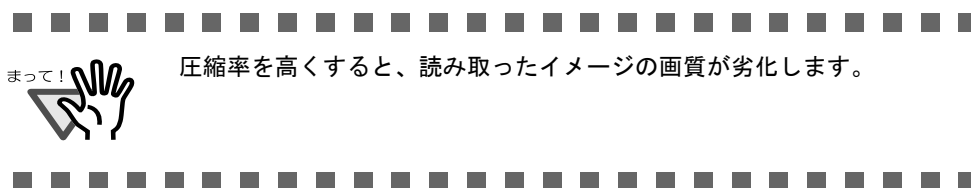
「サイズ自動選択」を指定すると、スキャナにセットした原稿のサイズが、62ページに記載された定型サイズ（カスタムサイズを除く）の中から自動的に判断されます。このため、セットした原稿のサイズに合わせて「原稿サイズ」を指定し直す必要がなくなり、より簡単に ScanSnap をお使いいただけるようになります。

- 「サイズ自動選択」を指定して、スキャナに A6 サイズの原稿をセットした場合、はがきサイズとして読み取られます。
- サイズの異なる原稿を、スキャナに同時にセットしないでください。
- 「サイズ自動選択」を指定して、「原稿サイズの選択：」で選択可能な定型サイズ（A4, A5, A6, B5, B6, はがき , 名刺 , レター , リーガル）ではない原稿を読み取る場合、
  長さ方向は、読み取った原稿の長さで読み取られます。
  幅方向は、原稿の長さから、原稿のサイズより大きくかつ最も近い定型サイズを選定し、その定型サイズの幅で読み取られます。

  例）150mm x 200mm（幅 x 長さ）の原稿の場合
  　　長さ：200mm をそのまま出力
  　　幅　：長さ 200mm から、A5 サイズを選定→ A5(148mm) の幅で出力
  　　⇒ 148mm x 200mm（幅 x 長さ）のサイズで読み取られます。

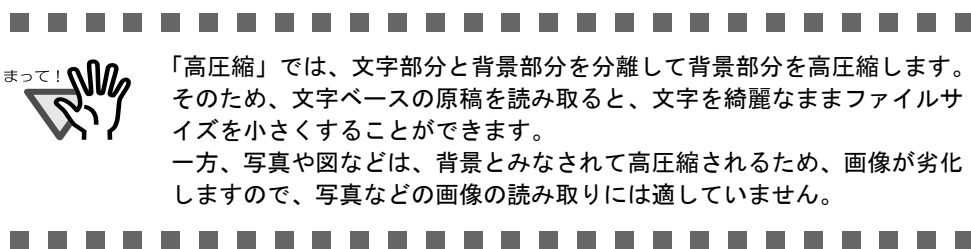
  原稿と同じサイズで読み取りたい場合は、［カスタマイズ］ボタンでその原稿サイズを登録して、「原稿サイズの選択：」でそのサイズを選択してください。
- 「名刺（90mm × 55mm, 55mm × 90mm)」サイズを選択して読み取る場合、読み取った長さから、横置き／縦置きを自動認識して読み取ります。
  長さ方向（搬送方向）は、実際に読み取った原稿の長さになります。
  幅は、90ｍｍ（横置き）または、55ｍｍ（縦置き）固定になります。

［ファイルサイズ］タブ

圧縮率：

圧縮率を操作して、読み取ったイメージのファイルサイズを指定します。
圧縮率は、スライドバーを動かして操作します。
圧縮率の数字が大きいほど圧縮率が高くなり、ファイルサイズが小さくなります。

圧縮率を高くすると、読み取ったイメージの画質が劣化します。

高圧縮を有効にします

読み取った画像を高圧縮して保存します。
標準の圧縮に比べて、更にファイルサイズを小さくすることができます。

まって！

「高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分を高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字を綺麗なままファイルサイズを小さくすることができます。
一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化しますので、写真などの画像の読み取りには適していません。

画像データのサイズについて

カラー原稿１枚を片面で次のように読み取ったときの画像サイズの目安を示します。

ファイル形式　：PDF
原稿サイズ　　：A4（一般カタログ）

カラーモード：カラー

圧縮率 スキャンモード	1	2	3	4	5	高圧縮
ノーマル	784	379	293	219	117	217
ファイン	1721	771	560	394	186	214
スーパーファイン	3775	1670	1167	782	352	221
エクセレント	17501	8090	5937	4272	1793	521

カラーモード：白黒

圧縮率 スキャンモード	ー
ノーマル	54
ファイン	130
スーパーファイン	336
エクセレント	1934

（単位　K バイト）

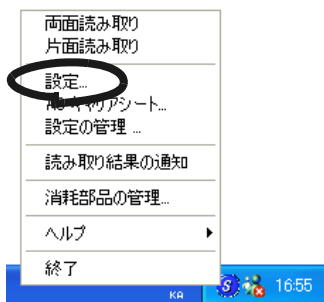
※「高圧縮」は，スーパーファイン，エクセレントの場合に効果を発揮します。
※圧縮率・高圧縮の設定は、以下のように使い分けることで、より効果を発揮します。
- 写真や図などの原稿の場合は、圧縮率の設定（1~5）により、ファイルサイズを小さくすることができます。
- 文字の多い原稿をカラーモードのスーパーファイン、エクセレントで読む場合は、高圧縮を有効にすることにより、ファイルサイズをより小さくすることができます。

3.5 読み取り設定を保存するには

ScanSnap Manager では、現在設定されている読み取り条件を、名前をつけて保存しておくことができます。
保存しておいた設定条件は、ScanSnap アイコンをクリックするだけで、簡単に呼び出し、使用することができます。
よく使う読み取り条件をあらかじめ何種類か登録しておけば、読み取る度に設定画面を開いて、1 つ 1 つ設定を変更する必要がなく、簡単操作で読み取ることができます。

以下に、操作方法を説明します。

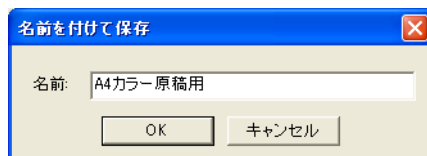
■ 読み取り設定を登録します

1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

2. 「読み取りと保存に関する設定」の画面で、読み取り設定を変更します。

3 ScanSnap を使ってみましょう

3. 一通り設定が終わったら、［現在の設定を保存］ボタンをクリックします。

⇒「名前をつけて保存」の画面が表示されます。

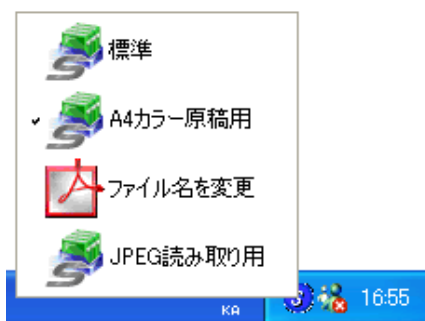
4. 設定内容にふさわしい名前を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ 現在の設定内容が、入力した名前が、「現在の設定：」登録されます。

5. ［OK］ボタンをクリックして、「読み取りと保存に関する設定」の画面を閉じます。

⇒ 以上で、読み取り設定の登録は完了です。

読み取り設定は、最大 9 個まで登録できます。

■ 登録した読み取り設定を使って読み取ります

1. **ScanSnap アイコン Ⓢ をクリックします。**

⇒ 登録した設定名が一覧表示されます。
（設定名の左側に、読み取り後に起動するアプリケーションのアイコンが表示されます。）

2. **読み取りに使用する設定を選択します。**

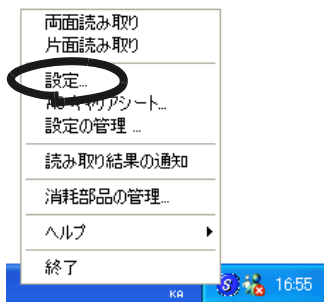
⇒ 選択した設定にチェックマークが付きます。

3. **原稿をスキャナにセットします。**

4. **［SCAN］ボタン を押します。**

⇒ 選択した設定条件で読み取りがおこなわれます。

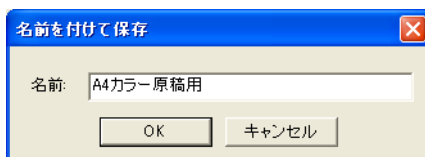
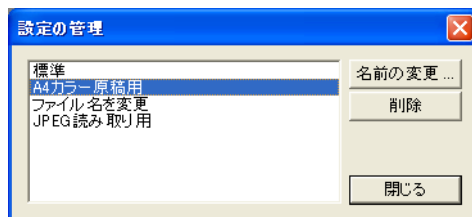
■ 読み取り設定の名前を変更します

1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

⇒「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

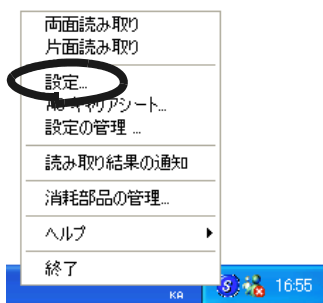
2. 「現在の設定：」で、変更したい設定名を選択します。

3. ［名前の変更］ボタンをクリックします。

⇒「名前をつけて保存」の画面が表示されます。

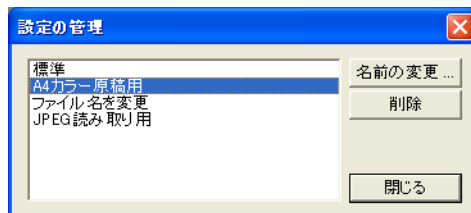
4. 新しい名前を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

名前の変更は、「設定の管理」の画面からもおこなうことができます。

ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定の管理」を選択すると表示されます。一覧から変更したい名前を選択して、[名前の変更] ボタンをクリックしてください。

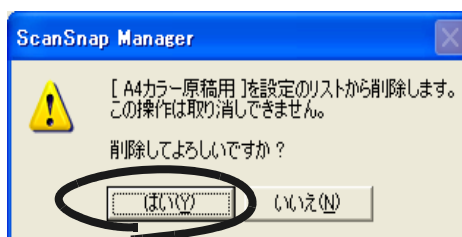
■ 読み取り設定を削除します

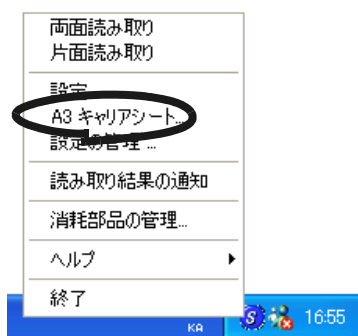
1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

⇒「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

2. 「現在の設定：」で、削除したい設定名を選択します。

3. ［削除］ボタンをクリックします。

削除は、「設定の管理」の画面からもおこなうことができます。

ScanSnap アイコン を右クリックして、「設定の管理」を選択すると表示されます。一覧から、削除したい設定を選択して、［削除］ボタンをクリックしてください。

4. 確認画面が表示されるので、［はい］ボタンをクリックします。

3.6 A3 キャリアシートの設定方法

A3 キャリアシートの設定は、「A3 キャリアシート設定」の画面でおこないます。
「A3 キャリアシート設定」の画面は、タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」 S のメニュー内にあります。
アイコン上で右クリックすると、メニューが表示されるので、[A3 キャリアシート ...] を選択します。

⇒「A3 キャリアシート設定」の画面が表示されます。

以下に、「A3 キャリアシート設定」の画面で設定できる項目について説明します。

実行モード

A3 キャリアシートを使って読み取る際の、読み取り方法を指定します。

以下の 2 つのモードがあります。

- **見開き画像を出力します**

  原稿の両面を読み取り、表／裏の画像をつなぎ合わせて、見開き状態にして 1 つの画像として並べて出力します。
  A3 ／ B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を読み取るためのモードです。
  原稿を 2 つ折りにして両面読み取りをおこない、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。

- **表裏の画像をそれぞれ出力します**

  読み取った原稿に合わせたサイズで画像を切り出して出力します。
  傷つけたくない写真や、資料の切り抜きのような不定形原稿など、ScanSnap でそのまま読み取ることが難しい原稿を、A3 キャリアシートにはさんで読み取るためのモードです。
  両面読み取りをおこなった場合、表／裏の画像が別々に出力されます。

- **「見開きモード画像を出力します」で読み取る場合は、「ScanSnap Manager」の［読み取りモード］の設定を、「両面読み取り」にしてください。**
- **モードによって、原稿のセット方法が異なります。詳しくは、「A3 キャリアシートを使用した原稿のセット方法」（39 ページ）を参照してください。**

出力画像サイズ

読み取った画像を出力する際の、画像サイズを指定します。
次の原稿サイズ（幅×長さ）を選択できます。

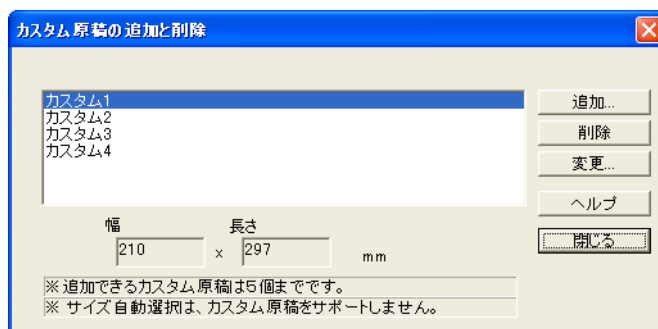
実行モード :「見開き画像を出力します」	実行モード :「表裏の画像をそれぞれ出力します」
サイズ自動選択	サイズ自動選択
A3（297mm × 420mm）	ー
ー	A3 キャリアシートサイズ（216mm × 297mm）
ー	A4（210mm × 297mm）
ー	A5（148mm × 210mm）
ー	A6（105mm × 148mm）
ー	はがき（100mm × 148mm）
B4（257mm × 364mm）	ー
ー	B5（182mm × 257mm）
ー	B6（128mm × 182mm）
ー	レター(8.5 インチ× 11 インチ , 216mm × 279.4mm)
ダブルレター (11 インチ× 17 インチ , 279.4mm × 431.8mm)	ー
ー	写真 E 版 縦 （83mm × 117mm）

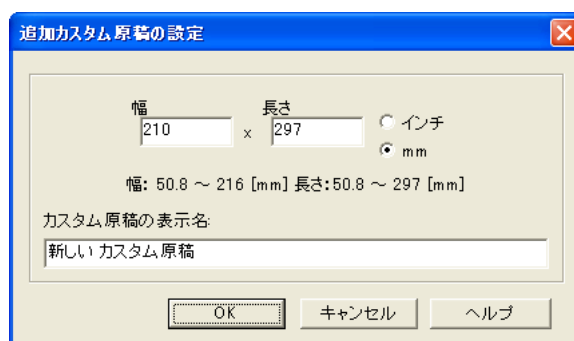
実行モード :「見開き画像を出力します」	実行モード :「表裏の画像をそれぞれ出力します」
ー	写真 E 版 横 （117mm × 83mm）
ー	写真 L 版 縦 （89mm × 127mm）
ー	写真 L 版 横 （127mm × 89mm）
ー	写真 LL 版 縦 （127mm × 178mm）
ー	写真 LL 版 横 （178mm × 127mm）
ー	名刺サイズ縦 (55mm × 90mm)
ー	名刺サイズ横 (90mm × 55mm)
ー	カスタム （5 個まで登録可能）

- 「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定すると、読み取った原稿のサイズが、上の表に記載された定型サイズ（カスタムサイズ、A3 キャリアシートサイズを除く）の中から自動的に判断されます。そのため、セットした原稿のサイズに合わせて「出力画像サイズ」を指定し直す必要がなくなります。
- 「出力画像サイズ」で「A3 キャリアシートサイズ」を指定すると、読み取った画像を A3 キャリアシートのサイズでそのまま出力します。読み取った後に、Adobe Acrobat などのアプリケーションで、トリミング処理をおこなうことにより、お好みのサイズに画像を切り取ることができます。
  Adobe Acrobat 6.0 の場合は、メニューバーから、[ツール] → [高度な編集] → [トリミングツール] を選択し、画像の必要な部分を範囲選択してダブルクリックします。

- 「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定して、選択可能な定型サイズ（上表）ではない原稿を読み取る場合、原稿のサイズより大きく、かつ最も近い定型サイズで読み取られます。
  原稿と同じサイズで読み取りたい場合は、[カスタマイズ] ボタンでその原稿サイズを登録して、「出力画像サイズ」でそのサイズを選択してください。
- 「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定すると、読み取った原稿のサイズより大きなサイズで出力される場合があります。このような場合は、以下の操作を実施してください。
  ー原稿を A3 キャリアシートにまっすぐに挿入する。
  ー A3 キャリアシートをスキャナにセットしたら、サイドガイドで A3 キャリアシートをしっかりと固定する。
  上記の方法で改善しない場合は、「出力画像サイズ」で読み取る原稿のサイズを指定してください。

［カスタムサイズを追加］ボタン

「出力画像サイズ」に任意の原稿サイズを、最大 5 個まで登録できます。ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。

<カスタム原稿サイズを追加する場合>

1. ［追加］ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。

- 原稿のサイズを入力します。
  幅　：50.8 ～ 216 mm（2 ～ 8.5 インチ）、
  長さ：50.8 ～ 297 mm（3 ～ 11.69 インチ）
  の範囲で設定することができます。
- 「カスタム原稿の表示名：」に、表示させたい名前を入力します。
  ⇒入力した表示名が「出力画像サイズ」のリストに追加されます。

3. 設定が終了したら、［ OK ］ボタンをクリックします。
   ⇒新しいカスタム原稿サイズが登録されます。
4. ［閉じる］ボタンをクリックして、「カスタム原稿の追加と削除」の画面を閉じます。

<カスタム原稿サイズを削除する場合>

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、削除したい原稿サイズ名を選択して、［削除］ボタンをクリックします。
2. 確認の画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。
3. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、原稿サイズが削除されているのを確認して、［閉じる］ボタンをクリックします。

＜設定を変更する場合＞

1.「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、設定を変更したい原稿サイズ名を選択して、［変更］ボタンをクリックします。
2.「追加カスタム原稿の設定」の画面が表示されますので、変更したい項目を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

   ⇒「カスタム原稿の追加と削除」の画面が表示され、設定が変更されます。
4.［閉じる］ボタンをクリックして、画面を閉じます。

3.7 いろいろな使い方

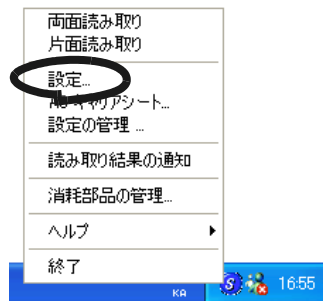
ScanSnap は、初期設定のままお使いいただければ、［SCAN］ボタン を押すだけで、面倒な設定をしなくても、読み取った画像を最適な状態にしてファイルに保存して、パソコンの画面に表示します。
また、特定な読み取りに対して、手動で設定することもできます。
ここでは、特定の条件で読み取る方法や、読み取った画像を加工する方法について、代表的な例を上げて説明します。

ScanSnap の初期設定は、以下のようになっています。
- アプリケーションの選択：ScanSnap Organizer
- イメージの保存先：［My ScanSnap］フォルダ
- ファイル名：日付を使用（yyyy 年 mm 月 dd 日 hh 時 mm 分 ss 秒）
- 読み取り後、ファイル名を変更する：無効
- 読み取りモードの選択：ノーマル（高速に読み取ります）
- カラーモードの選択：自動（原稿ごとにカラーと白黒を自動識別します）
- SCAN ボタンの選択：両面読み取り
- 読み取りモードオプション
  - 白黒読み取りの濃度：標準
  - 文字をくっきりします（カラーイメージのみ有効）：無効
  - 白紙を自動的に削除します：有効
  - 原稿の傾きを自動的に補正します：有効
  - 原稿の向きを自動的に補正します：有効
  - 1 ページ目を上向きにして原稿をセットします：無効
  - 継続読み取りをします：無効
- ファイル形式の選択：PDF（*.pdf）
- ファイル形式オプション
  - PDF ファイルオプション：すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします
  - 読み取った PDF にパスワードをつけます：無効
  - 固定パスワードを使用します：無効
- 原稿サイズの選択：サイズ自動選択
- ファイルサイズ
  - 圧縮率：3
  - 高圧縮を有効にします：無効
- A3 キャリアシート設定
  - 実行モード：見開き画像を出力します
  - 出力画像サイズ：サイズ自動選択

これらの設定は、ScanSnap Manager を使って変更することができます。
詳しくは、「3.4　読み取り設定を変更するには」（48 ページ）を参照してください。

■ 片面だけを読み取ります

ScanSnap の［SCAN］ボタン は、初期設定では「両面読み取り」に設定されています。
［SCAN］ボタンで、片面読み取りをしたい場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1. ScanSnap アイコン を右クリックして、「設定」を選択します。

2. ［読み取りモード］タブを選択し、「SCAN ボタンの選択：」で「片面読み取り」を選択します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じます。

4. 原稿をスキャナにセットします。

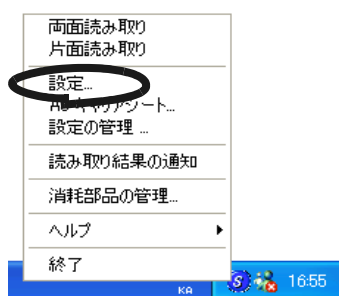
5. ［SCAN］ボタン を押します。

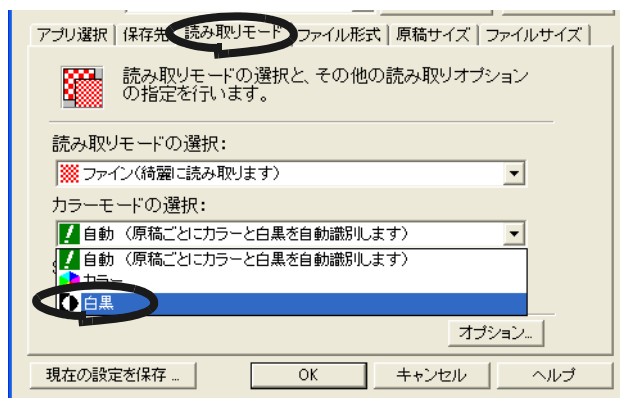
⇒片面読み取りが実行されます。

両面読み取りに戻したい場合は、再度、手順２で、「両面読み取り」を選択してください。一度設定すると、変更するまで有効になります。

■ カラー原稿を白黒で読み取ります

ScanSnap は、初期設定では、カラー原稿と白黒原稿を自動で識別して、カラー原稿はカラーで、白黒原稿は白黒で出力します。
カラー原稿を白黒で出力したい場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

2. ［読み取りモード］タブを選択し、「カラーモードの選択：」で「白黒」を選択します。

逆に、カラー固定で読み取りたい場合は、「カラー」を選択してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じます。

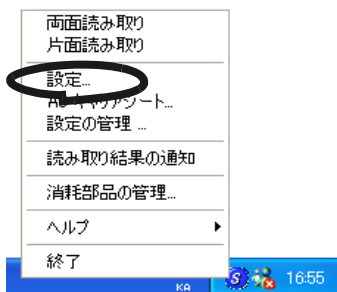
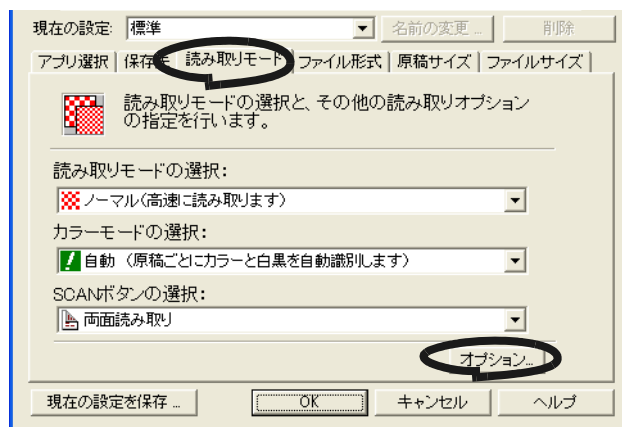
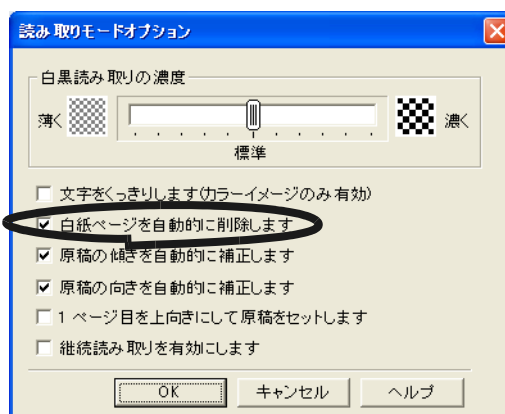
4. 原稿をスキャナにセットします。

5. ［SCAN］ボタン を押します。

⇒読み取り結果が、白黒で出力されます。

■ 読み取った原稿から白紙ページを削除する

ScanSnap は、読み取った原稿から、不要な白紙ページを自動的に取り除いて出力してくれます。例えば、両面・片面原稿が混在している場合、両面読み取りをおこなえば、片面原稿の裏面（白紙）は自動的に削除され、必要なページだけ出力できます。
以下の手順で、設定を変更することができます。

1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

2. ［読み取りモード］タブを選択し、［オプション］ボタンをクリックします。

3. 「白紙ページを自動的に削除します」をチェックします。

4. ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒次の読み取りから、有効になります。

まって！

以下のような原稿は、白紙ページとして判別される場合があります。

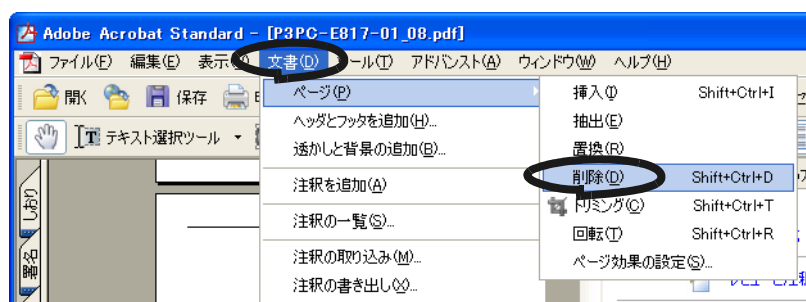
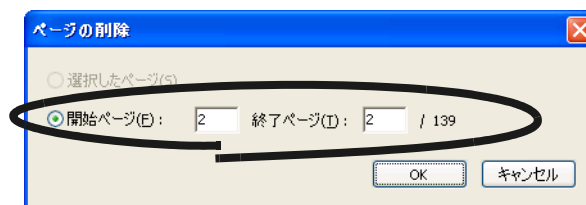
- 白紙原稿内に、2、3 文字以内の文字のみが書かれている場合。
- 白色でなくても、ページ全体が一様色 (無地) の場合。※黒色も含みます。

※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。

■ PDF ファイルのページを削除します

Adobe Acrobat 6.0 を使えば、原稿を読み取ってファイルに保存した後でも、PDF ファイル上で不要なページを削除することができます。
「読み取った原稿から白紙ページを削除する」（82 ページ）の方法で、白紙ページをうまく取り除くことができない場合や、白紙ページ以外の不要ページを取り除きたい場合は、以下の方法で、読み取り後に手動でページを削除してください。

1. 対象となる PDF ファイルを、Adobe Acrobat 6.0 で開きます。

2. メニューバーから、［文書］－［ページ］－［削除］を選択します。

3. 削除するページを指定して、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ 指定したページが削除されます。

本機能の詳細については、「Acrobat 6.0 ヘルプ」を参照してください。

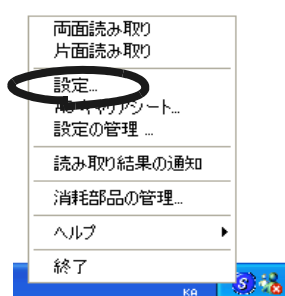
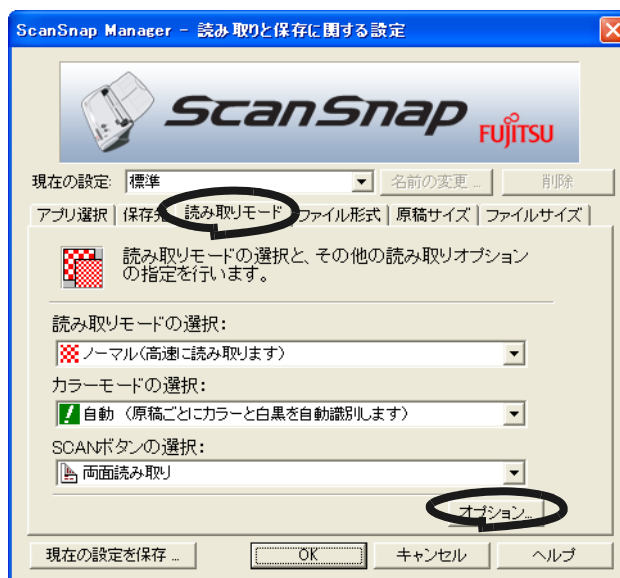
■ 原稿の傾きを自動的に補正します

ScanSnap は、原稿が傾いて読み取られても、自動的に補正して出力してくれます。
以下の手順で、設定を変更することができます。

1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

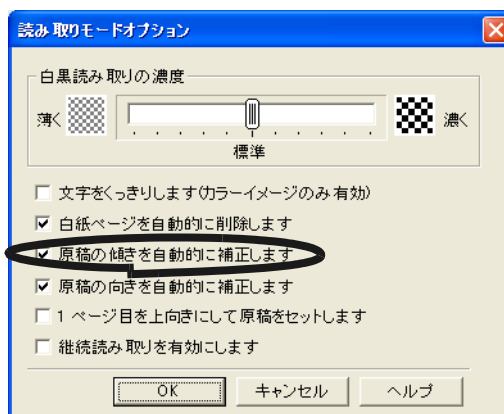
2. ［読み取りモード］タブを選択し、［オプション］ボタンをクリックします。

3

ScanSnap を使ってみましょう

3. 「原稿の傾きを自動的に補正します」をチェックします。

4. ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒次の読み取りから、有効になります。

まって！

最大± 5°までの傾きを補正できます。
また、原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は画像が傾く場合があります。

- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

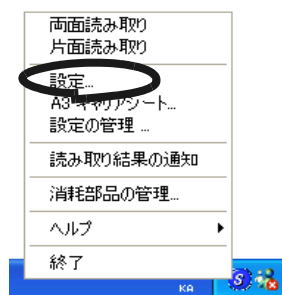
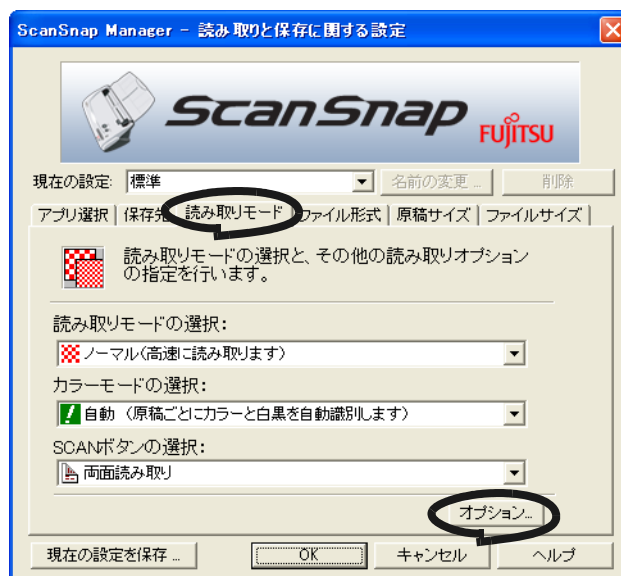
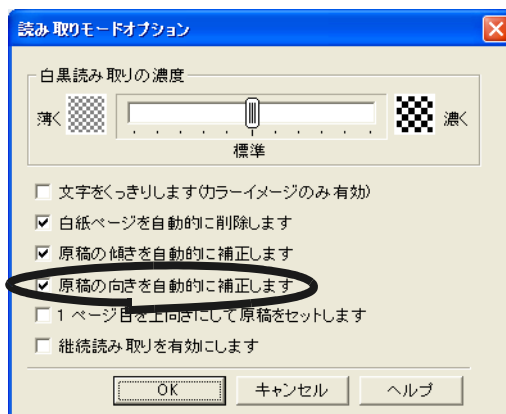
※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。

■ 向きがバラバラな原稿を向きをそろえて出力します

一般的なオフィスで使用されているドキュメントの中には、例えば、A4 縦の文書の中に、A4 横の表が入るような、原稿方向が縦／横混在している場合があります。
また、上下綴じの両面原稿は、上下逆さまに印刷されています。
ScanSnap は、このような原稿を読み取った場合に、自動的に向きを揃えて出力することができます。

1. ScanSnap アイコン Ⓢ を右クリックして、「設定」を選択します。

2. ［読み取りモード］タブを選択し、［オプション］ボタンをクリックします。

3 ScanSnap を使ってみましょう

3. 「原稿の向きを自動的に補正します」をチェックします。

4. ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒次の読み取りから、有効になります。

まって！

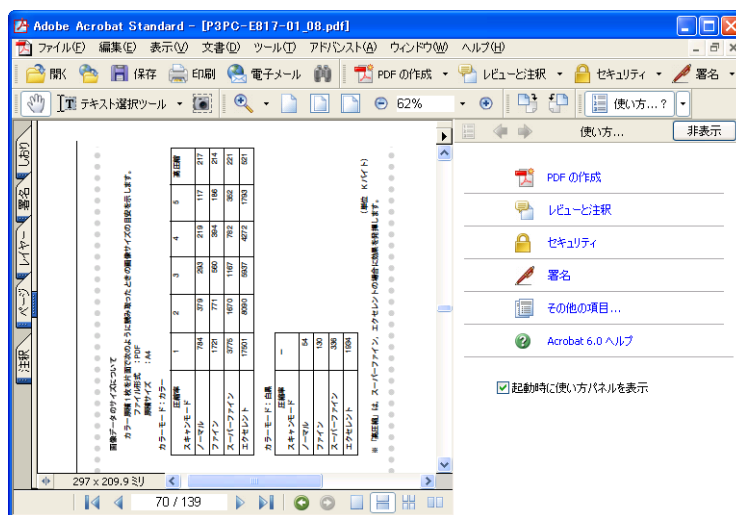
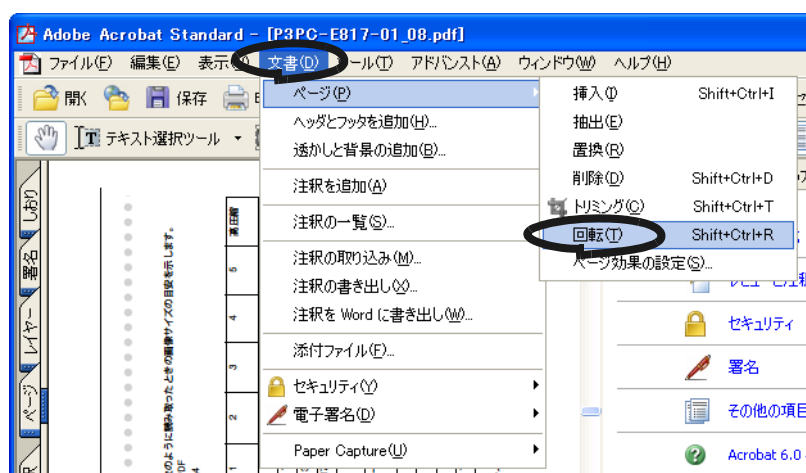
原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。

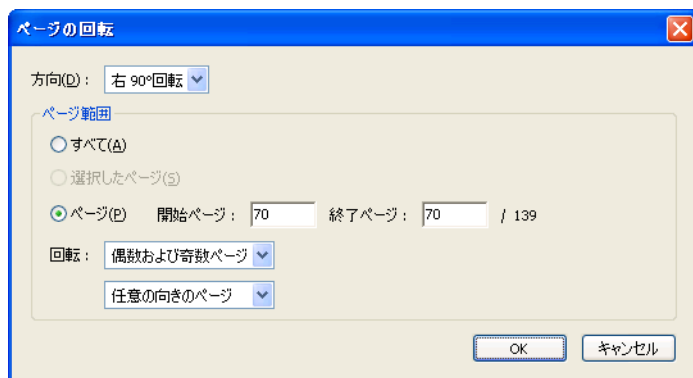
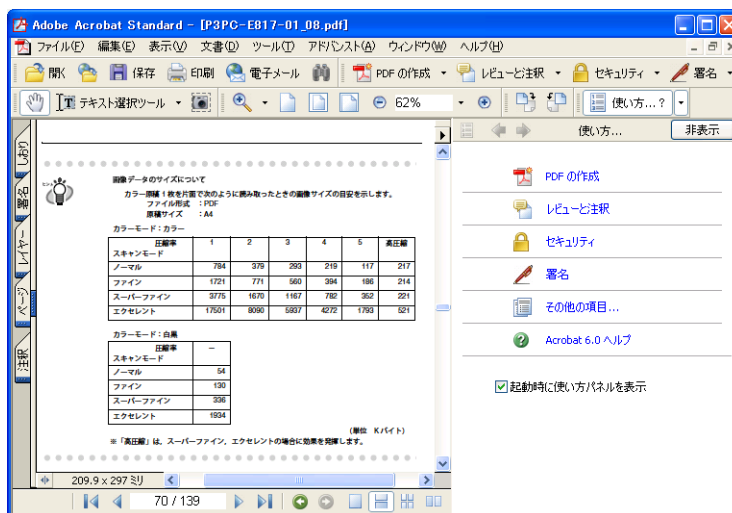
- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。

■ PDF ファイルのページを回転します

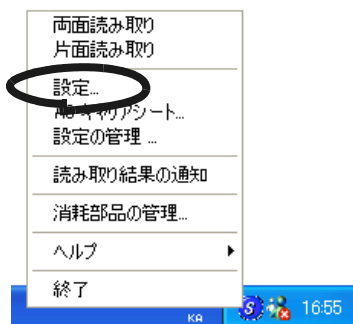
Adobe Acrobat 6.0 の回転機能を使えば、原稿を読み取ってファイルに保存した後でも、PDF ファイル上でページの向きを修正することができます。
「向きがバラバラな原稿を向きをそろえて出力します」（87 ページ）の方法で、ページの向きが誤って表示されてしまう場合や、任意のページの向きを回転したい場合は、
以下の方法で、読み取り後に手動でページを回転してください。

1. 対象となる PDF ファイルを、Adobe Acrobat 6.0 で開きます。

2. メニューバーから、［文書］－［ページ］－［回転］を選択します。

3. 回転するページを指定して、[OK] ボタンをクリックします。

方向：　　　回転させる方向、角度を指定します。
ページ範囲：回転の対象となるページを指定します。

⇒ 指定したページが、指定した方向に回転されます。

本機能の詳細については、「Acrobat 6.0 ヘルプ」を参照してください。

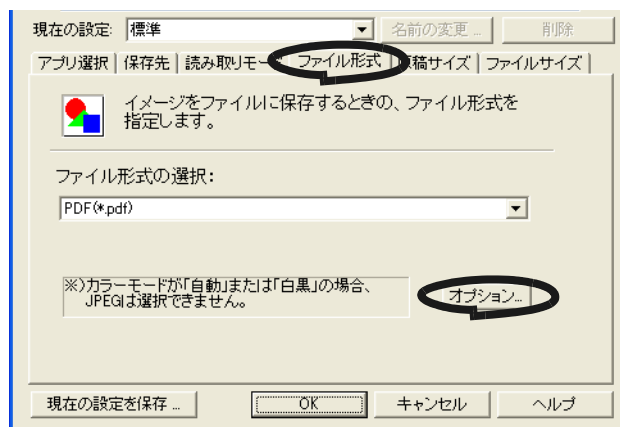
■ 読み取った原稿を複数のファイルに保存します

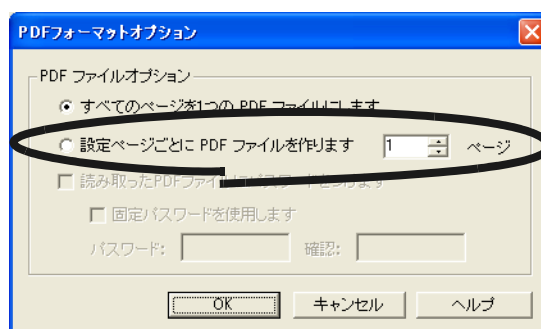
ScanSnap は、読み取った原稿を、一定のページごとに区切って、別々の PDF ファイルとして保存することができます。
例えば、定型の伝票を一度に読み取って、一枚ずつ別々のファイルとして保存することができます。

1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

2. ［ファイル形式］タブを選択し、［オプション］ボタンをクリックします。

「ファイル形式の選択：」に、「PDF（*.pdf）」が選択されていることを確認してください。

3

ScanSnap を使ってみましょう

3. 「PDF ファイルオプション」の「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」を選択し、ページ数を指定します。

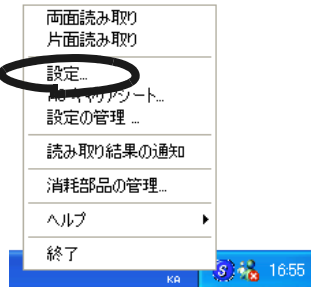
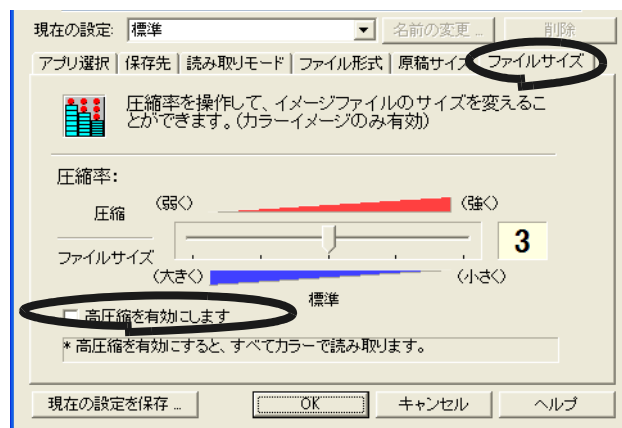
ここで指定したページ数分読み取るごとに、ファイルが 1 つ作成されます。

「両面読み取り」の場合、1 枚の原稿は、表・裏で 2 ページとなります。
また、[読み取りモード] ―[オプション] ―「白紙ページを自動的に削除します」がチェックされていると、白紙ページが混じっていた場合にページがずれる場合がありますので、チェックを外しておくことをお勧めします。

4. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒ 次の読み取りから、設定が有効になります。

■ 読み取った原稿を高圧縮で保存します

ScanSnap は、読み取ったデータを保存する際にファイルサイズを小さくするために、通常の圧縮機能に加えて、一般的なオフィスで使用される文字ベースの原稿に的を絞って、さらに高圧縮で保存する「高圧縮」設定を持っています。
例えば、膨大な紙文書も、本機能を有効にして読み取れば、コンパクトな PDF ファイルにまとめて保存することができます。
「高圧縮」機能は、以下の手順で設定します。

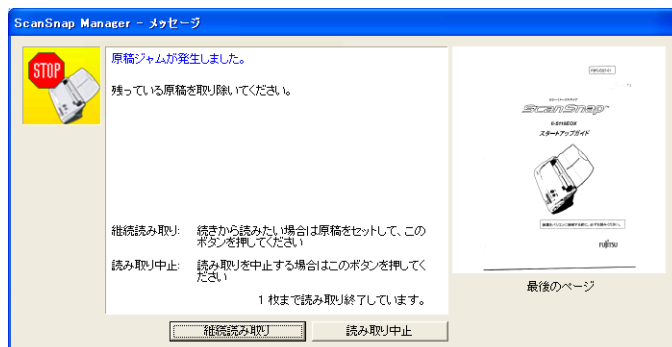
1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

2. ［ファイルサイズ］タブを選択し、「高圧縮を有効にします」をチェックします。

「高圧縮」は、PDF 形式でファイル保存するときのみ有効です。
［ファイル形式］タブの「ファイル形式の選択：」で、「PDF（*.pdf）」が選択されていることを確認してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じます。

⇒次の読み取りから、設定が有効になります。

- 「高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分を高圧縮します。
  そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字が綺麗なままファイルサイズを小さくすることができます。
  一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化しますので、写真などの画像の読み取りには適していません。
- 本機能を有効にすると、［ファイルサイズ］タブの「圧縮率」設定は無効になります。

■ 読み取り中にエラーが発生して分断されたデータを 1 つのファイルにします

複数枚の原稿を読み取り中に、原稿づまりなどのエラーが発生すると、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

この場合は、以下のような手順で、読み取りを継続したり、中止したりすることができます。

読み取りを継続する場合：

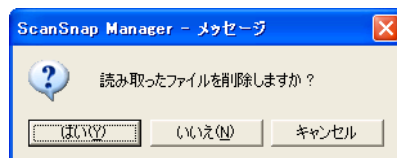
1.　画面上右の「最後のページ」で、読み取り状況を確認します。

2.　まだ読み取られていない原稿を、再度スキャナにセットします。

3.［継続読み取り］ボタンをクリックして読み取りを再開します。

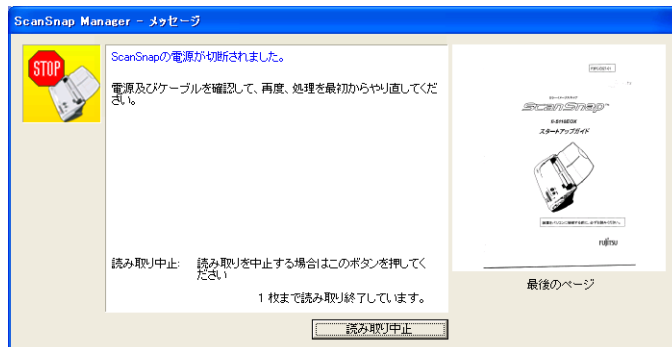
読み取りを中止する場合：

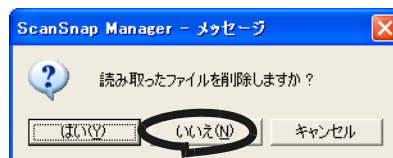
1.［読み取り中止］ボタンをクリックします。

⇒ 以下の画面が表示されます。

2.　既に読み取った画像を保存せずに終了する場合は［はい］ボタン、保存して終了する場合は［いいえ］ボタンをクリックします。

（［キャンセル］ボタンをクリックすると、最初の画面に戻ります。）

まって！

以下のように、［継続読み取り］ボタンのないエラーメッセージが表示される場合があります。

この場合は、継続読み取りできません。
このような場合は、以下のように、Adobe® Acrobat® を使って、分断された 2 つのファイルを 1 つに結合してください。（※ファイル形式が“*.pdf”の場合）

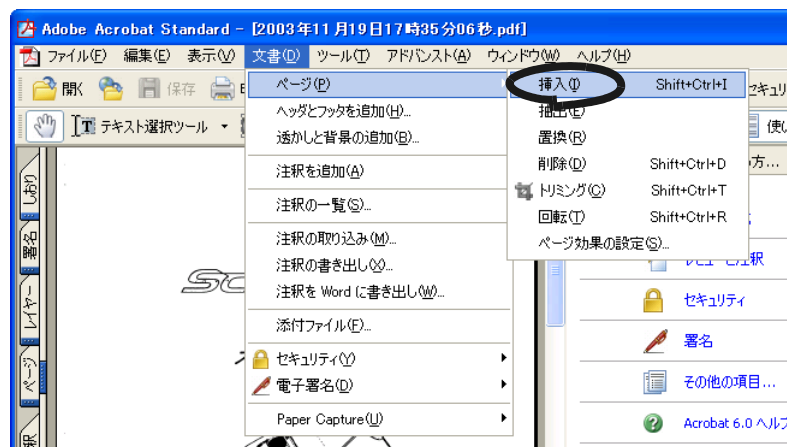
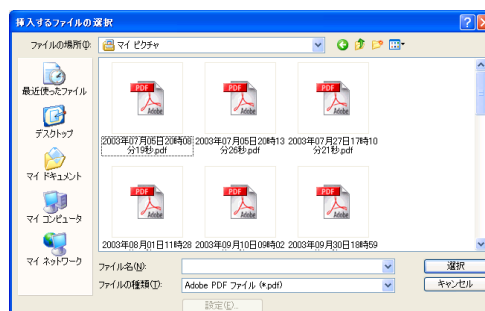
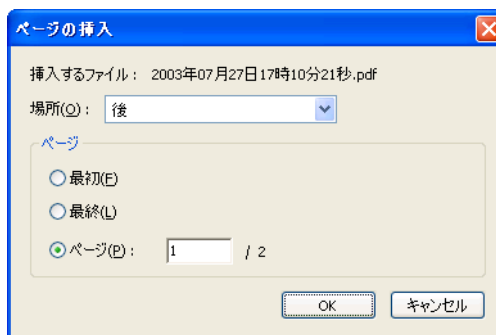
1. 「メッセージ」画面上で、原稿の読み取り状況を確認します。
2. ［読み取り中止］ボタンをクリックします。

   ⇒ 以下の画面が表示されます。

3. ［いいえ］ボタンをクリックします。

   ⇒ 既に読み取られた画像が、ファイルに保存されます。（ファイル A）

4. 残りの原稿を読み取ります。

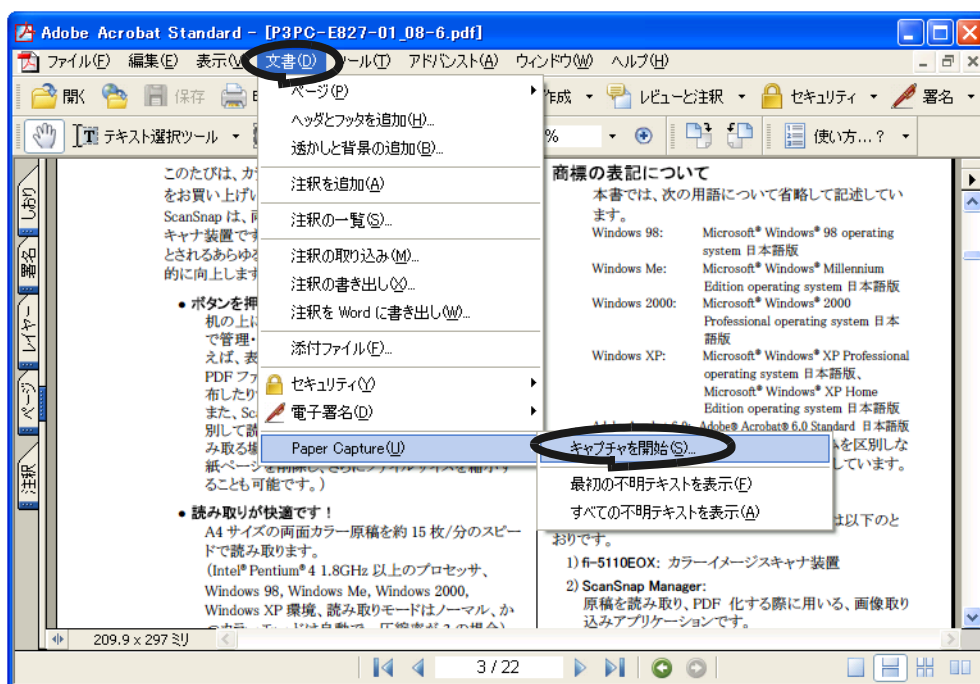
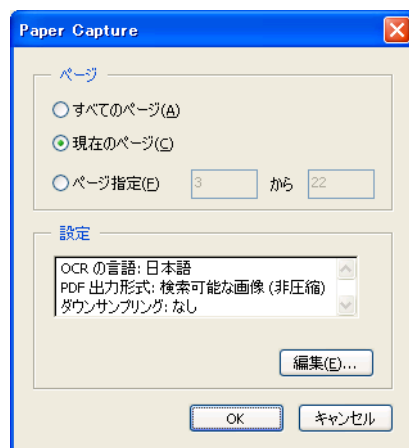
   ⇒ ファイルに保存されます。（ファイル B）

5. Adobe Acrobat を使って、ファイル A を開きます。
6. Adobe Acrobat のメニューバーで、［文書］ ― ［ページ］ ― ［挿入］を選択します。

7. 「挿入するファイルの選択」の画面で、ファイル B を選択します。

⇒ 以下の画面が表示されます。

8. 「場所：」→“後”、「ページ」→“最終”を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

■ 読み取った原稿上の文字列を検索可能にします

ScanSnap で読み取った原稿は、すべて画像ファイルとして保存されます。そのため、文字の印刷された原稿を読み取ると、記号、文字、数字は全て画像として表示されます。パソコンは画像として表示されている情報を文字として認識しないため、文書の内容を検索することができません。
Adobe Acrobat 6.0 を使用すれば、これらの文書を OCR 処理（Paper Capture）して、検索可能な文字情報に変換することができます。
操作方法は、以下の通りです。

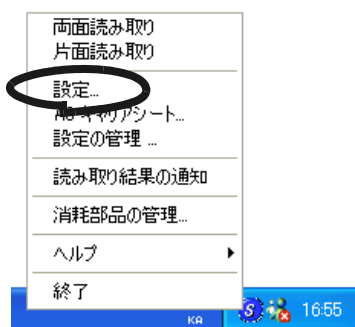
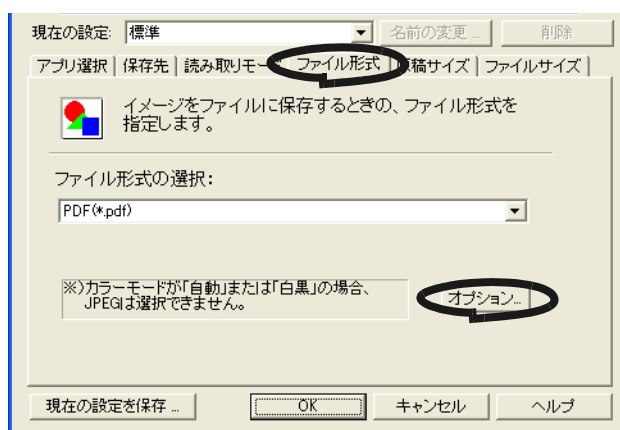
1. 変換する PDF ファイルを Adobe Acrobat で開きます。

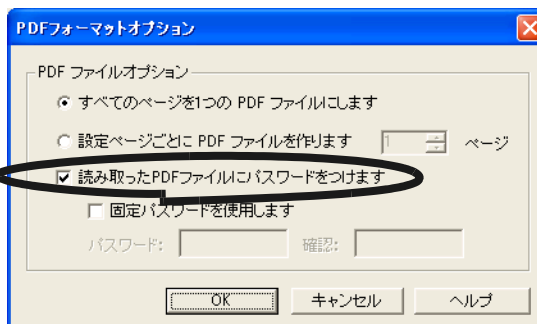
2. メニューバーから、［文書］－［Paper Capture］－［キャプチャを開始］の順に選択します。

3. 以下の画面が表示されるので、各種設定を行い、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ Paper Capture が実行され、画像データに文字情報が付加されます。

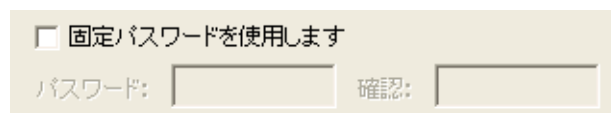
- カラー画像に対して本機能を使用する場合には、［読み取りモードの選択：］を「ファイン」または「スーパーファイン」にして読み取った画像を使用してください（56 ページ参照）。
- 本機能の詳細については、「Acrobat 6.0 ヘルプ」を参照してください。

■ 読み取った原稿にパスワードを設定します

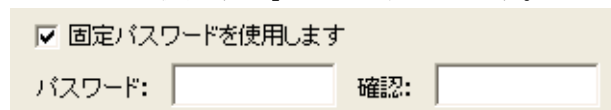
ScanSnap で読み取った原稿を PDF ファイルとして保存する場合、PDF ファイルにパスワードを設定することができます。
パスワードを設定された PDF ファイルは、開く際にパスワードを入力しないと、内容を見ることができません。
他人に知られたくない秘密の文書や、関係者外秘の重要書類などを読み取る際に、パスワードを設定して保存しておけば、大切な情報の漏洩を防ぐことができます。
操作方法は、以下の通りです。

1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、「設定」を選択します。

2. ［ファイル形式］タブを選択し、［オプション］ボタンをクリックします。

「ファイル形式の選択：」に、「PDF（*.pdf）」が選択されていることを確認してください。

3. 「PDF ファイルオプション」の「読み取った PDF ファイルにパスワードをつけます」をチェックします。

＜読み取りごとにパスワードを入力する場合＞

「固定パスワードを使用する」のチェックを外します。

⇒ 読み取りごとに、違うパスワードにすることができます。

＜あらかじめ決められた固定パスワードを使用する場合＞

1)「固定パスワードを使用する」をチェックします。

⇒ すべての PDF ファイルに、同じパスワードが使用されます。
読み取りごとに、パスワードを入力する必要がありません。

2)「パスワード：」、「確認：」の欄に、同じパスワードを入力します。

パスワードには、以下の半角文字、および半角スペースを設定することができます。

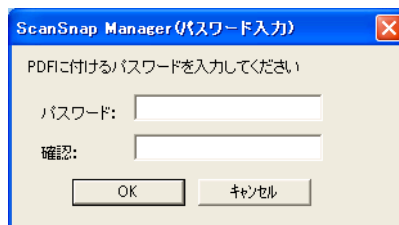
最大文字数	：	半角 16 文字
半角英数字	：	A ～ Z、a ～ Z、0 ～ 9
半角記号	：	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ~

4. ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

5. 原稿をスキャナにセットします。

6. ［SCAN］ボタン を押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

⇒ 操作 3. で、「固定パスワードを使用する」のチェックを外した場合、以下の画面が表示されます。

「パスワード：」、「確認：」の欄に、同じパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックしてください。

ヒント

- パスワードには、以下の半角文字、および半角スペースを設定することができます。
  最大文字数　：　半角 16 文字
  半角英数字　：　A ～ Z、a ～ Z、0 ～ 9
  半角記号　　：　! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ~
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、パスワードのない通常の PDF ファイルとして保存されます。

⇒ 読み取った原稿が、パスワード付きの PDF ファイルとして保存されます。

まって！

本機能は、ご使用のパソコンに、Adobe Acrobat 6.0 がインストールされているときのみ有効となります。
なお、パスワードを忘れてしまうと、PDF ファイルが二度と開けなくなってしまいますので、ご注意ください。

3.8 名刺の読み取り方法

ScanSnap には、名刺を管理するアプリケーション「名刺ファイリング OCR 」が添付されています。
名刺ファイリング OCR を使用すると、名刺をスキャナで読み取ってイメージデータ化し、さらに、このイメージデータ化した名刺に書かれている文字を認識（OCR: Optical Character Recognition）することによって、名刺をデータベース管理することができます。

以下に、名刺ファイリング OCR の起動方法、および ScanSnap を用いた名刺の読み取り方法について説明します。

- 詳細については、「名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド」をご覧ください。既に名刺ファイリング OCR がインストールされていれば、スタートメニューから、［プログラム］－［名刺ファイリング OCR ］－［ユーザーズガイド］でご覧いただくことができます。（または、装置添付の「Setup CD-ROM」の起動画面からもご覧いただけます。）
- 「アプリケーションの選択：」で、「名刺ファイリング OCR 」を選択すると、［保存先］タブ、［ファイル形式］タブ、［原稿サイズ］タブ、および［ファイルサイズ］タブは表示されません。
- 名刺ファイリング OCR を起動すると、［アプリ選択］タブの「アプリケーションの選択：」のアプリケーションが、自動的に「名刺ファイリング OCR 」が指定された状態になります。名刺ファイリング OCR を終了すると、もとの指定に戻ります。

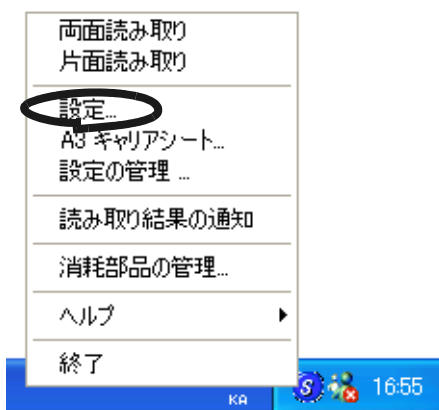
■ 名刺を読み取ります

ScanSnap で名刺のイメージを読み取る方法について説明します。

ここでは、スキャナ上の［SCAN］ボタン を使って、名刺を読み取る方法について説明します。

名刺ファイリング OCR を起動して、画面左上の［読み取り］ボタンから読み取りをおこなうこともできます。
詳細は、『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』を参照してください。

＜準備＞

1. タスク バーの「ScanSnap Manager」のアイコン を右クリックして表示されるメニューから［設定］を選択します。

⇒「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

2. ［アプリ選択］タブ　の「アプリケーションの選択：」で「名刺ファイリング OCR」を選択します。

⇒タブが［アプリ選択］、［読み取りモード］の 2 つになります。

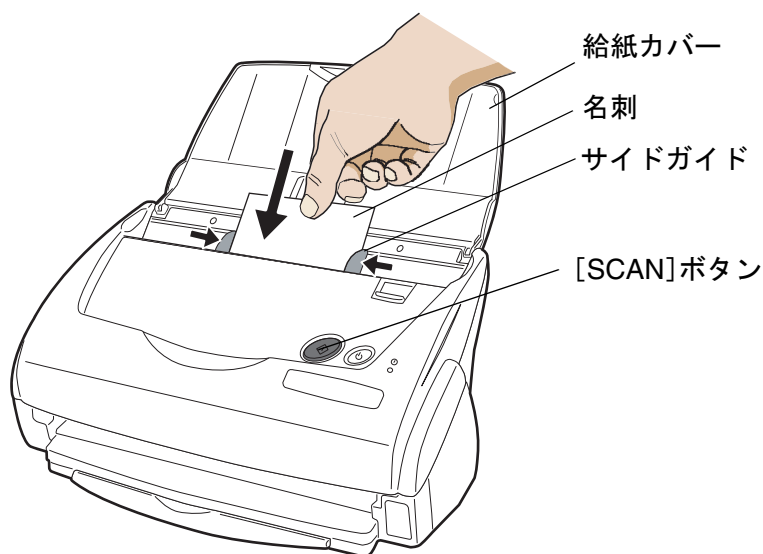
［読み取りモード］タブで、「読み取りモード，カラーモード」を変更することができます（56 ページ参照）。
初期設定では、読み取りモード「スーパーファイン，カラー」になっています。
（ここでは、初期設定で読み取りを行います。）
名刺ファイリング OCR 選択時は、読み取りモードで「エクセレント」を選択できません。

3. ［OK］ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」の画面が閉じます。

＜読み取り＞

1. スキャナに名刺をセットします。

- 名刺の表面が給紙カバー側になるようにセットしてください。
- 複数枚読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドと名刺の間に隙間ができないようにしてください。

2. ［SCAN］ボタン を押します。

- 初期設定では、［SCAN］ボタンは、「両面読み取り」に設定されています。
  また、ScanSnap Manager を使って、［SCAN］ボタンの設定を「片面読み取り」に切り替えることができます。
- タスク バー上の「ScanSnap Manager」のアイコン から、読み取りを開始することもできます。

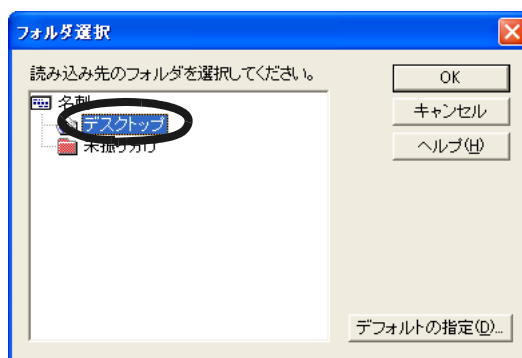
※　詳しくは、「3.4　読み取り設定を変更するには」（48 ページ）を参照して下さい。

⇒読み取りが開始されます。
　読み取りが終わると「名刺ファイリング OCR」が起動して［フォルダ選択］の画面が表示されます。

- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバーを閉じたり、[POWER] ボタンを押したりしないでください。

操作

3. 読み取った名刺のイメージを保存するフォルダを選択します。

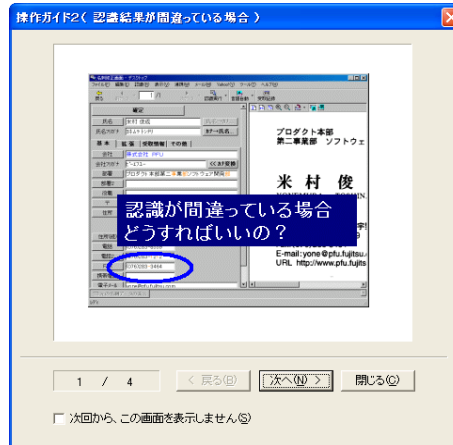
ここでは、「デスクトップ」フォルダを選択します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

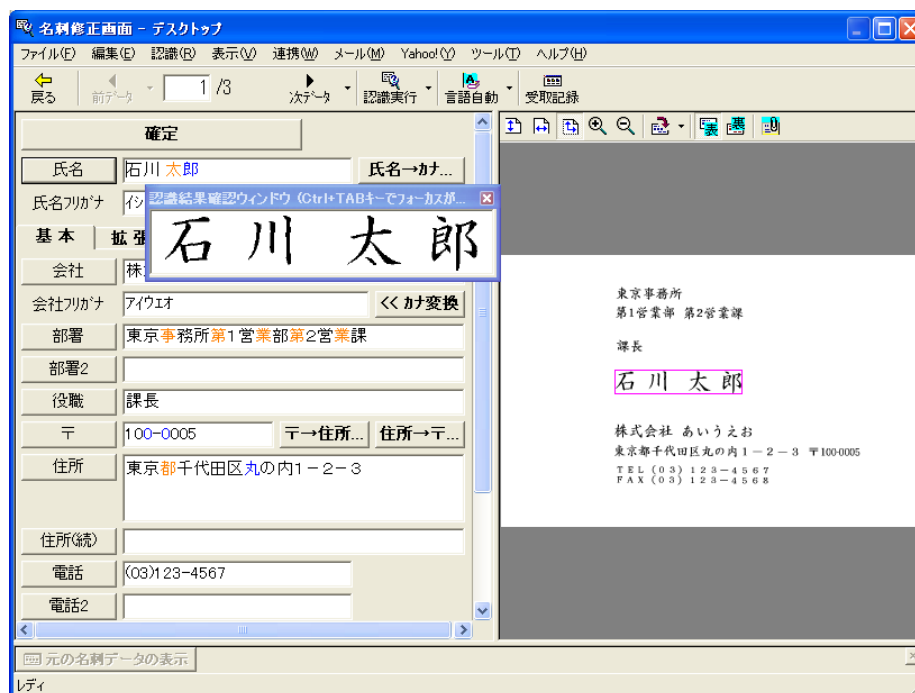
⇒名刺イメージが読み込まれ、[名刺修正画面] および [操作ガイド 4（認識結果の文字色について）] のダイアログボックスが表示されます。

5. 内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

ガイドの内容を確認しながら、[次へ] ボタンを数回クリックします。ガイドの 最後の画面で、[完了] ボタンをクリックします。

⇒［操作ガイド４ （認識結果の文字色について）］ダイアログボックスが閉じ、［操作ガイド２（認識結果が間違っている場合）］ダイアログボックスが表示されます。

6. 内容を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

操作 5. と同様にして、内容確認後、画面を閉じてください。

7. 「名刺修正画面」が表示されますので、読み取った名刺が正しく認識されているか確認します。

画面右側に、読み取った名刺のイメージデータが表示されます。
画面左側に、文字認識した結果が表示されます。

8.　認識結果に間違いがある場合、修正をおこないます。

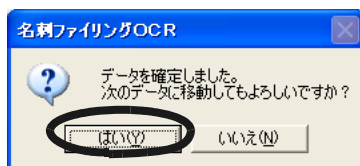
画面右側の画面イメージに対して文字認識結果が異なる場合、修正をおこなってください。

修正方法の詳細については、「名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド」の「2.5 名刺データを修正します」を参照してください。

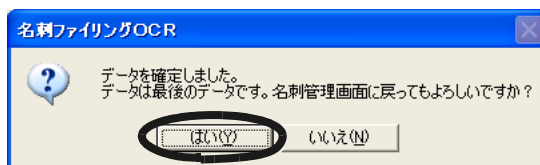
9.　修正が終わったら、［確定］ボタンをクリックします。

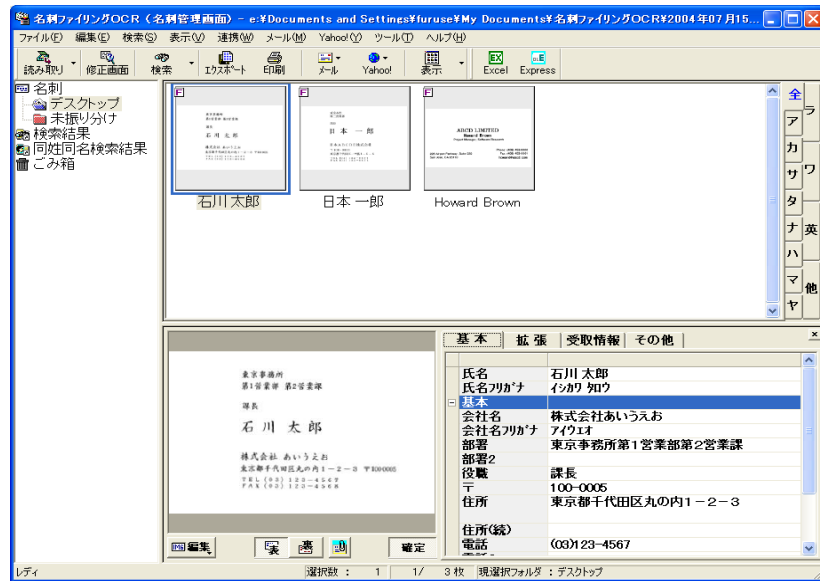
⇒名刺データが確定され、認識結果の文字がすべて黒色になります。
次の名刺データを表示するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

10. 次の名刺データを表示して 認識結果を確認する場合は［はい］ボタンを、次の名刺データを表示しない場合は［いいえ］ボタンをクリックします。

ここでは、［はい］ボタンをクリックして、すべての名刺データの認識結果を確認し、名刺データを確定します。

⇒［はい］ボタンをクリックすると、次の名刺データが表示されます。
認識結果を確認して、［確定］ボタンをクリックします。
［いいえ］ボタンをクリックすると、メッセージが閉じます。

⇒最後の名刺データを確定すると、「名刺管理画面」に戻るかどうかを確認するメッセージが表示されます。

11.［はい］ボタンをクリックします。

名刺修正画面を表示したままにする場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。名刺修正画面から名刺管理画面に戻るときは、ツールバーの［戻る］ボタンをクリックします。

⇒名刺修正画面が閉じ、名刺管理画面が表示されます。

12. **名刺ファイリング OCR を終了する場合は、［ファイル］メニューの［終了］を選択してください。**

名刺ファイリング OCR の機能や、使用方法についての詳細は、「名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド」をご覧ください。
既に名刺ファイリング OCR がインストールされていれば、スタートメニューから［プログラム］－［名刺ファイリング OCR］－［ユーザーズガイド］からご覧いただくことができます。（または、装置添付の「ScanSnap Setup CD-ROM」の起動画面からもご覧いただけます。）

3.9 PDF Thumbnail View の使い方

ScanSnap には、エクスプローラを使用して PDF ファイルをサムネイル表示（縮小表示）するアプリケーション「PDF Thumbnail View（サムネイル ビュー）」が添付されています。
以下に、「PDF Thumbnail View」の使用方法について説明します。

- 「PDF Thumbnail View」を使用するには、ご使用のパソコンにあらかじめ、添付の Adobe Acrobat 6.0 がインストールされている必要があります。
- Acrobat Reader のみインストールされている環境では動作しません。
- 「PDF Thumbnail View」は、「ScanSnap Manager」をインストールすると、自動的にインストールされます。
  （ただし、Windows 98 及び、Windows 98 Second Edition の場合は、インストールされません。また、Adobe Acrobat 6.0 が Windows Me をサポートしていないため、「PDF Thumbnail View」は Windows Me に対応しておりません。OS の対応状況については、「オペレーティングシステム」（6 ページ）を参照してください。）

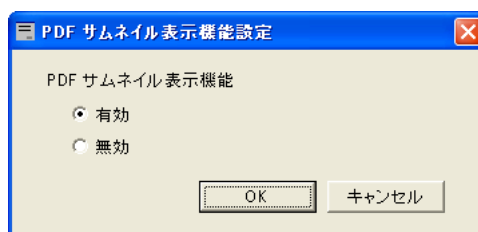
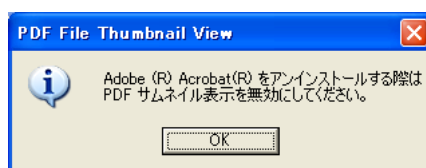
■ PDF Thumbnail View を起動します

PDF Thumbnail View は、インストール直後には「無効」になっています。使用するためには、まず以下の手順で、設定を「有効」に切り替える必要があります。

1. ［スタート］メニューから、［プログラム］－［PDF Thumbnail View］－［設定ツール］を選択します。

⇒「PFD サムネイル表示機能設定」の画面が表示されます。

2. 「有効」を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

3 ScanSnap を使ってみましょう

3.　以下の確認画面が表示されるので、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ PDF Thumbnail View が「有効」になります。

Adobe Acrobat をアンインストールする際は、必ず「PDF サムネイル表示機能」を“無効”に戻してからおこなってください。

■ PDF ファイルをサムネイル表示します

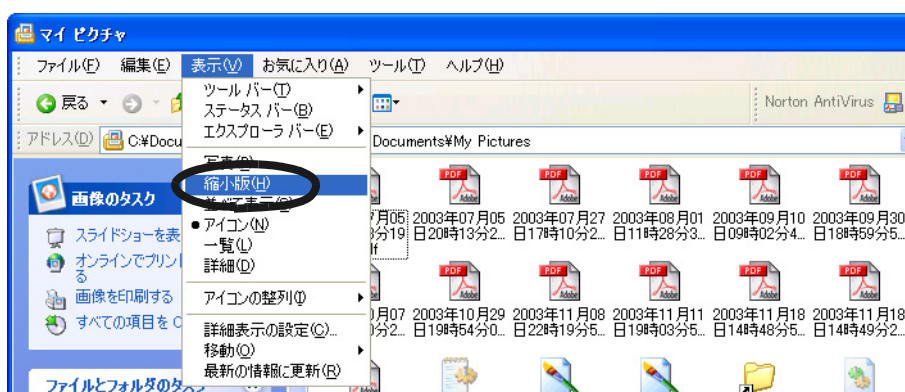
以下の手順で、PDF ファイルをサムネイル表示（縮小表示）します。

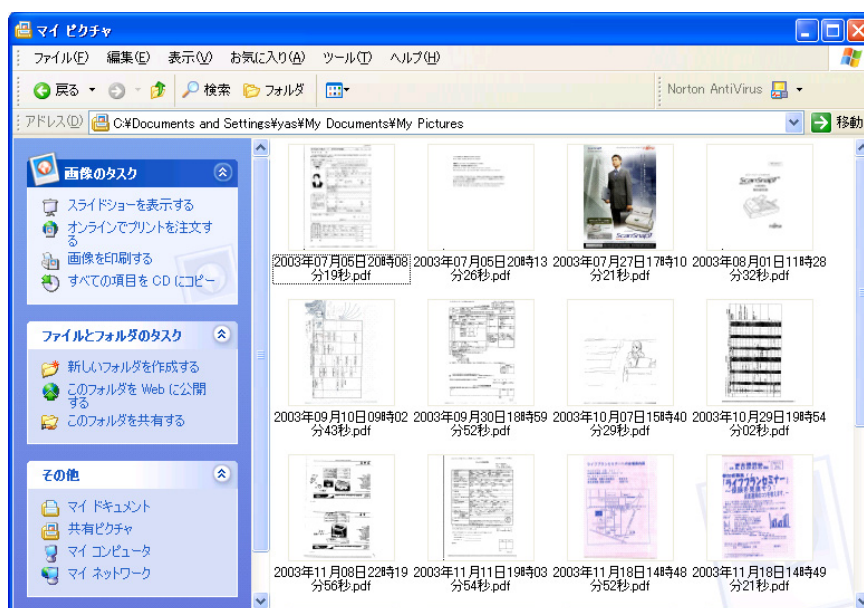
1. エクスプローラを起動します。

［スタート］メニューを右クリックして、「エクスプローラ」を選択します。

2. PDF ファイルの保存されているフォルダを開きます。

通常、ScanSnap で保存した PDF ファイルは、ScanSnap Manager －「読み取りと保存に関する設定」の［保存先］タブで設定した保存先フォルダに保存されます。（53 ページ参照）

3. ［表示］メニューで「縮小版」を選択します。

⇒ PDF ファイルがサムネイル表示（縮小表示）されます。

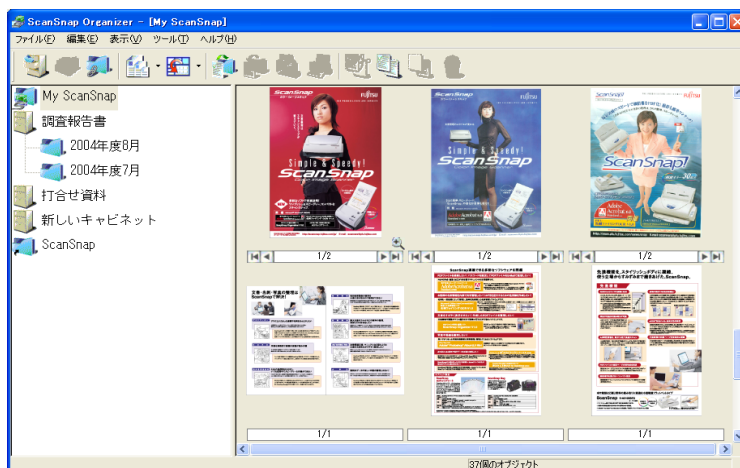
まって！

- PDF ファイルのサムネイル表示は、フォルダを開く度に更新されます。
- サムネイル表示の更新処理時に、画面左上に画像が表示されます。
- 1 つのフォルダに大量の PDF ファイルが存在すると、サムネイル表示に時間がかかる場合があります。
- 複数ページの PDF ファイルは、1 ページ目のイメージがサムネイル表示されます。
- Adobe Acrobat 起動中は、サムネイル表示されない場合があります。

3.10 ScanSnap Organizer の使い方

「ScanSnap Organizer（オーガナイザー）」は、PDF、JPEG などの画像ファイルをサムネイル表示（縮小表示）し、管理するためのアプリケーションです。
ScanSnap で読み取った画像を、ファイルを開くことなく閲覧したり、目的別にフォルダーを作成して、ファイルを整理したりすることができます。
以下に、「ScanSnap Organizer」の使用方法について説明します。

■ ScanSnap Organizer を起動します

1. ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］－［ScanSnap Organizer］－［ScanSnap Organizer］を選択します。

⇒「ScanSnap Organizer」の画面が表示されます。

デスクトップ上の、「ScanSnap Organizer」アイコン をダブルクリックしても起動できます。

3

ScanSnap を使ってみましょう

■ 操作画面について

ScanSnap Organizer は、以下の画面を使って操作します。

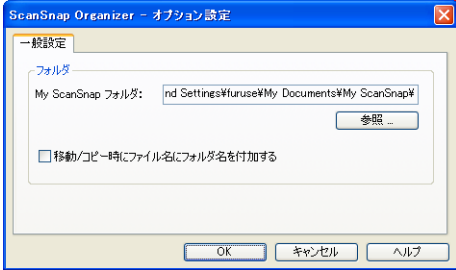
メニューバー
ScanSnap Organizer を操作するためのメニューを表示します。

ツールバー
よく使う機能をアイコンで表示します。

フォルダ一覧
ScanSnap Organizer で選択されているフォルダの一覧が表示されます。

ファイル一覧
選択されたフォルダ内にある PDF ファイル／ JPEG ファイルが、サムネイル表示されます。

ポップアップサムネイル画面
選択したページをポップアップして表示します。

メニューバー

ファイル	
開く	関連アプリケーションが起動して、選択したファイルを開きます。 （例：PDF ファイルの場合、「Adobe Acrobat」が起動します。）
新規作成	**キャビネット**： 新しいキャビネットを作成します。 この中に、フォルダおよびファイルを格納することができます。 **フォルダ**： 新しいフォルダを作成します。 この中に、ファイルを格納することができます。 **フォルダリンク**： 任意の既存フォルダとのリンクを作成します。 選択したフォルダ内のファイル一覧を、ScanSnap Organizer で閲覧することができます。 ※［My ScanSnap］フォルダはフォルダリンクとして指定できません。
削除	選択しているファイル、フォルダ、およびキャビネットを削除します。 ※フォルダリンクを削除しても、リンク先のフォルダは削除されません。

名前の変更	選択しているファイル、フォルダ、およびキャビネットの名前を変更します。
プロパティ	選択しているフォルダリンクのリンク先情報を表示します。 フォルダリンクを選択したときのみ、有効になります。
インポート	選択しているフォルダに、別の場所にある PDF ファイル、または JPEG ファイルを、コピーします。
エクスポート	選択している PDF ファイル、または JPEG ファイルを、別の場所にコピーします。
印刷	選択している PDF ファイル、または JPEG ファイルを、印刷します。 ※印刷には、Windows で「通常使うプリンタに設定」されているプリンタが使用されます。それ以外のプリンタで印刷したい場合は、サムネイル表示をダブルクリックして、関連付けされたアプリケーションの印刷を利用し、プリンタを切り替えてください。
メールに添付	選択している PDF ファイル、または JPEG ファイルを、添付ファイルにして、メールソフトを起動します。
アプリケーションの終了	ScanSnap Organizer を終了します。

編集	
元に戻す	直前におこなった操作を、元に戻します。
切り取り	選択しているファイル、またはフォルダを切り取ります。
コピー	選択しているファイル、またはフォルダをコピーします。
貼り付け	切り取り、またはコピーしたファイル、またはフォルダを貼り付けます。
すべて選択	ファイル一覧に表示されているすべてのファイルを選択します。

表示	
ファイル名表示	チェックを付けると、サムネイル表示の下にファイル名を表示します。
ポップアップサムネイル表示	チェックを付けると、選択したファイルが、ポップアップサムネイル表示されます。

表示形式	ファイル一覧の表示を、大／中／小、または上端表示のいずれかに変更します。 **サムネイル大：196 × 196（ピクセル）** **サムネイル中：128 × 128（ピクセル）** **サムネイル小：　96 ×　96（ピクセル）** **上端表示　　　：ファイルの上端の部分を表示**
フォルダの整列	フォルダ一覧に表示されているフォルダを、名前の昇順、あるいは降順で並べ替えます。
ファイルの整列	**名前順** ファイル一覧の表示が、名前の昇順（A → Z）で並べ替えられます。 **サイズ順** ファイル一覧の表示が、サイズの昇順（小→大）で並べ替えられます。 **日付順** ファイル一覧の表示が、日付の降順（新→旧）で並べ替えられます。
最新情報を表示	フォルダ一覧およびファイル一覧の表示を、最新の情報に更新します。

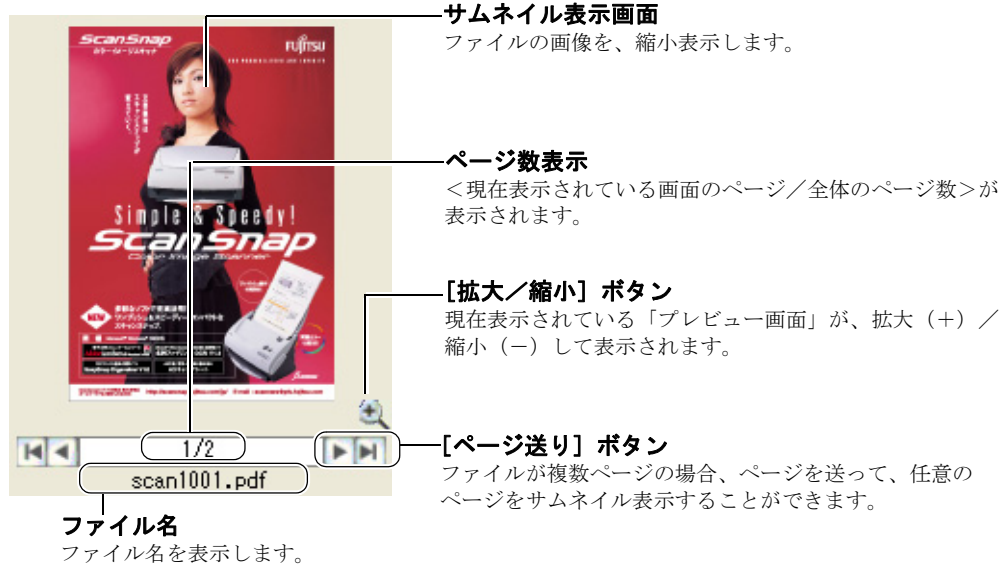
ツール	
オプション	 ［一般設定］タブ ● **My ScanSnap フォルダ：** ScanSnap Organizer が起動されたときに表示される［My ScanSnap］フォルダの場所を指定します。指定したフォルダおよび、そのサブフォルダを ScanSnap Organizer で表示・閲覧することができます。 ● **「移動／コピー時にファイル名にフォルダ名を付加する」チェックボックス** ファイルを移動または、コピーしたときに、ファイル名の先頭に移動先フォルダ名を付加します。 例）「Snap001.pdf」というファイルを、［Scan］フォルダに移動／コピーした場合： 移動 / コピー後のファイル名：Scan_Snap001.pdf

ヘルプ	
トピックの検索	ScanSnap Organizer の ヘルプを表示します。
バージョン情報	ScanSnap Organizer のバージョン情報を表示します。
オンラインアップデート	ScanSnap Organizer を最新版にアップデートします。 ※）インターネットを使用できる環境で、Internet Explorer がインストールされている必要があります。

ツールバー

	キャビネットの作成： フォルダ一覧に、新しいキャビネットを作成します。
	フォルダの作成： フォルダ一覧に、新しいフォルダを作成します。
	フォルダリンクの作成： フォルダ一覧に、任意のフォルダのリンク（ショートカット）を作成します。
	表示： ファイル一覧の表示を、大／中／小、または上端表示のいずれかに変更します。 サムネイル大：196 × 196（ピクセル） サムネイル中：128 × 128（ピクセル） サムネイル小： 96 × 96（ピクセル） 上端表示　　：ファイルの上端の部分を表示
	並べ替え： ファイル一覧に表示されているファイルを、名前順、サイズ順、または日付順に並べ替えます。
	インポート： 選択しているフォルダに、別の場所にある PDF ファイル、または JPEG ファイルを、コピーします。
	エクスポート： 選択している PDF ファイル、または JPEG ファイルを、別の場所にコピーします。
	メールに添付： 選択している PDF ファイル、または JPEG ファイルを、添付ファイルにして、メールソフトを起動します。
	印刷： 選択している PDF ファイル、または JPEG ファイルを、印刷します。
	切り取り： 選択しているファイル、またはフォルダを切り取ります。
	コピー： 選択しているファイル、またはフォルダをコピーします。
	貼り付け： 切り取り／コピーした、ファイル／フォルダを貼り付けます。
	削除： 選択しているファイル、フォルダ、およびキャビネットを削除します。 ※フォルダリンクを削除しても、基のフォルダは削除されません。

サムネイル表示

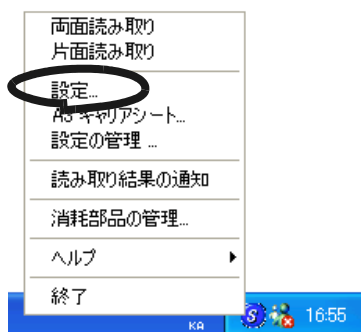
＜「サムネイル（大）／（中）／（小）」の場合＞

パスワードを設定した PDF ファイルは、セキュリティ保護のため、サムネイル表示することができません※。この場合、Adobe Acrobat のアイコンが表示され、左下にカギのマークが表示されます。

※ただし、ScanSnap Manager の「PDF ファイルオプション」で、「固定パスワード」を設定している場合、同じパスワードの PDF ファイルは、サムネイル表示することができます。
固定パスワードの設定方法については、「― 固定パスワードを使用します」(61 ページ）を参照してください。

＜「上端表示」の場合＞

■ ScanSnap と連携します

ScanSnap で読み取りをおこない、「ScanSnap Organizer」表示する方法について説明します。

1. タスク バーの「ScanSnap Manager」のアイコン S を右クリックして表示されるメニューから［設定］を選択します。

⇒「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

2. ［アプリ選択］タブ の「アプリケーションの選択：」で「ScanSnap Organizer」を選択します。

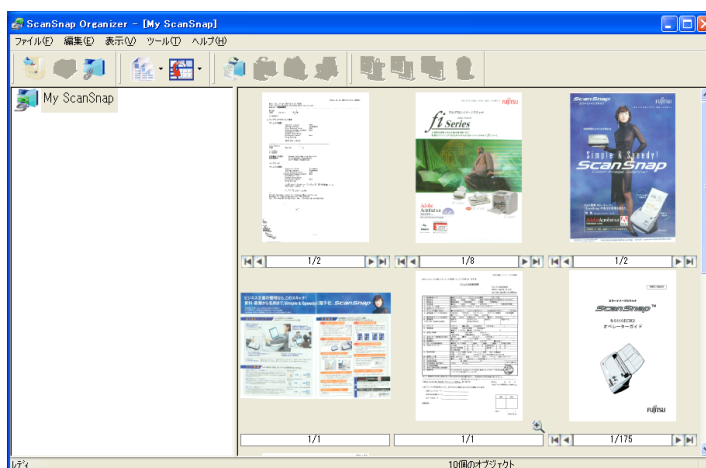
3. ［OK］ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」の画面が閉じます。

＜読み取り＞

1. スキャナに原稿をセットします。

2. ［SCAN］ボタン SCAN を押します。

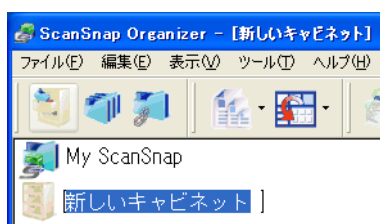
⇒ 読み取りが開始されます。
読み取りが終わると「ScanSnap Organizer」が起動して、読み取った画像がサムネイル表示されます。

読み取った画像は、「オプション設定」の画面で「My ScanSnap フォルダ：」に指定したフォルダに保存されます。（118 ページ参照）
※初期設定は、[マイ ドキュメント] 下の [My ScanSnap] フォルダです。

＜ファイル整理＞

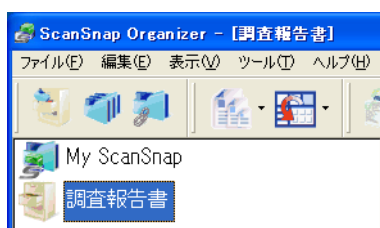
ここでは、キャビネットとフォルダを新しく作成して、読み取ったファイルを、その中に移動させる手順について説明します。

部屋（[My ScanSnap］フォルダ）の中に山積みになった書類（ファイル）を整理するために、棚（キャビネット）と書類入れ（フォルダ）を新しく購入し、その中に、目的別に分類して書類を片付けるというイメージです。

1. ［ファイル］メニューで、［新規作成］－［キャビネット］を選択します。

⇒ フォルダ一覧の［My ScanSnap］フォルダ下に、「新しいキャビネット」が作成されます。

2. キャビネット名を入力します。

ここでは、例として「調査報告書」という名前にします。

3. 操作 1. で作成したキャビネットを選択します。

4. ［ファイル］メニューで、［新規作成］－［フォルダ］を選択します。

⇒ **操作 1.** で作成したキャビネットの下に、「新しいフォルダ」が作成されます。

5.　フォルダ名を入力します。

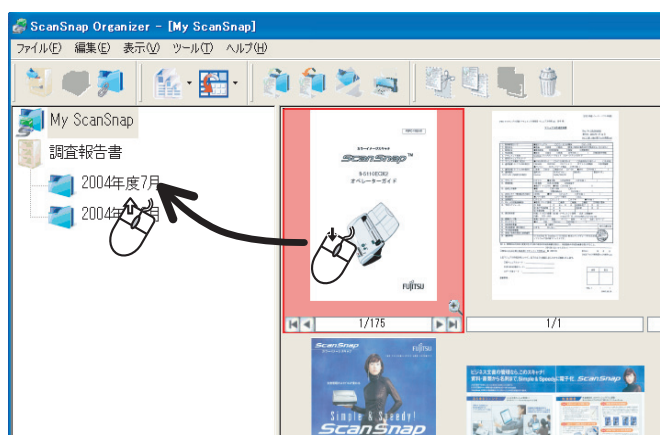
6.　操作 4.、操作 5. を繰り返して、必要な分のフォルダを作成します。

ここでは、例として「2004 年 7 月」、「2004 年 8 月」という 2 つのフォルダを作成します。

7.　ファイルを選択します。

⇒ 選択したファイルが、赤枠で表示されます。

［Ctrl］キーを押しながら選択すると、一度に複数のファイルを選択することができます。

8.　選択したファイルを、目的のフォルダに、ドラッグ＆ドロップします。

9.　操作 7.、操作 8. を繰り返して、ファイルを目的のフォルダに格納します。

3.11 ScanSnap Manager のアップデート

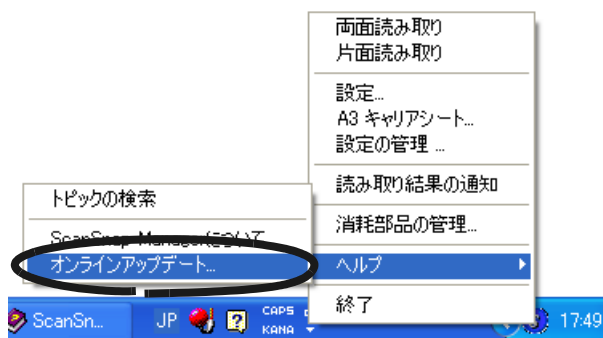
ScanSnap Manager では、操作性の向上や、機能アップを図るために、適時プログラムのアップデートがおこなわれます。

ScanSnap アイコン S のメニューから、最新のプログラム（アップデートパック）が公開されているか自動的に確認し、プログラムを更新（アップデート）することができます。

アップデートパックは、事前連絡なしに公開されます。定期的にアップデートすることをおすすめします。

ScanSnap Manager をアップデートする場合は、次の操作をおこないます。

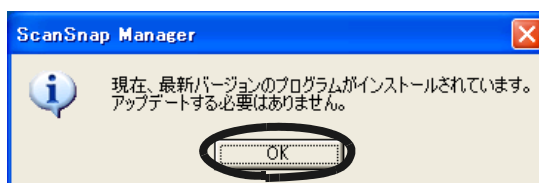
- アップデートするには、インターネットを使用できる環境で、Internet Explorer がインストールされている必要があります。
- Windows XP、または Windows 2000 の場合、必ず Administrator 権限でログオンしてください。

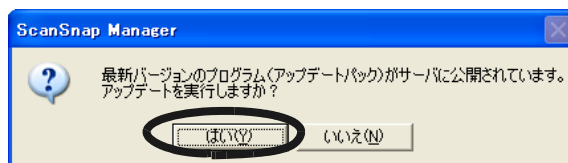
1. ScanSnap アイコン S を右クリックして、［ヘルプ］－［オンラインアップデート］を選択します。

⇒ ScanSnap Manager をアップデートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

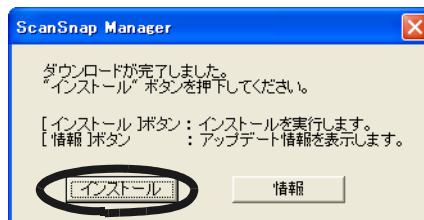
2. ［はい］ボタンをクリックします。

⇒最新のアップデートプログラムが公開されている場合、ダウンロードアップデートを実行するための確認メッセージが表示されます。

ヒント

すでに最新版にアップデートされている場合は、以下のメッセージが表示されます。

［OK］ボタンをクリックして、メッセージを閉じてください。

3. ［はい］ボタンをクリックします。

⇒プログラムがダウンロードされて、インストールを実行するための確認メッセージが表示されます。

4. ［インストール］ボタンをクリックします。

［情報］ボタンをクリックすると、Internet Explorer が起動して、
ScanSnap Manager に関する最新のアップデート情報が表示されます。

⇒インストールが開始され、「ScanSnap Manager 用の InstallShield Wizard へようこそ」の画面が表示されます。
画面の指示にしたがって、インストールしてください。

第4章

アンインストールするときは

アンインストールとは、インストールでコピーした ScanSnap のプログラムファイルを削除し、変更したシステムの環境をもとに戻すことです。
この章では、ScanSnap のアンインストール方法について説明しています。

4

4.1 添付プログラム をアンインストールするときは

ScanSnap 用の添付プログラム ScanSnap Manager、名刺ファイリング OCR、PDF Thumbnail View、ScanSnap Organizer をアンインストールする場合、次のように操作します。

1. パソコンを起動します。

Windows 2000 または Windows XP をご使用の場合は、“Administrator”の権限（Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版の場合は、コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

2. 動作しているアプリケーションをすべて終了させます。

3. ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］を選択します。

⇒「プログラムの追加と削除」の画面が表示され、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

4. 削除するアプリケーションを選択します。

① ScanSnap Manager を削除する場合
「ScanSnap Manager」を選択してください。

②名刺ファイリング OCR を削除する場合
「名刺ファイリング OCR V1.2 」を選択してください。

③ PDF Thumbnail View を削除する場合
「PDF Thumbnail View」を選択してください。

④ ScanSnap Organizer を削除する場合
「ScanSnap Organizer」を選択してください。

5. ［変更と削除］ボタンをクリックします。

⇒「アンインストールの確認」の画面が表示されます。

6. ［ OK ］ボタンをクリックします。

この後、名刺ファイリング OCR の場合、データや実行環境を残すかどうかの確認画面が表示されます。
残す場合は、［はい］ボタンをクリック、残さない場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

⇒アンインストールが実行されます。

7. アンインストールが終了したら、以下の通り［完了］ボタンをクリックして画面を閉じます。

① ScanSnap Manager、名刺ファイリング OCR、または ScanSnap Organizer を削除する場合

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、［完了］ボタンをクリックしてください。

② PDF Thumbnail View を削除する場合

［完了］ボタンをクリックしてください。

ご使用のオペレーティングシステム（OS）によっては、画面表示が多少異なる場合があります。各 OS の表示に従ってください。

例：Windows 2000 の場合

- 「プログラムの追加と削除」→「アプリケーションの追加と削除」
- ［変更と削除］ボタン →［追加と削除］ボタン

第5章

困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、について説明します。

5.1 原稿づまりの処理

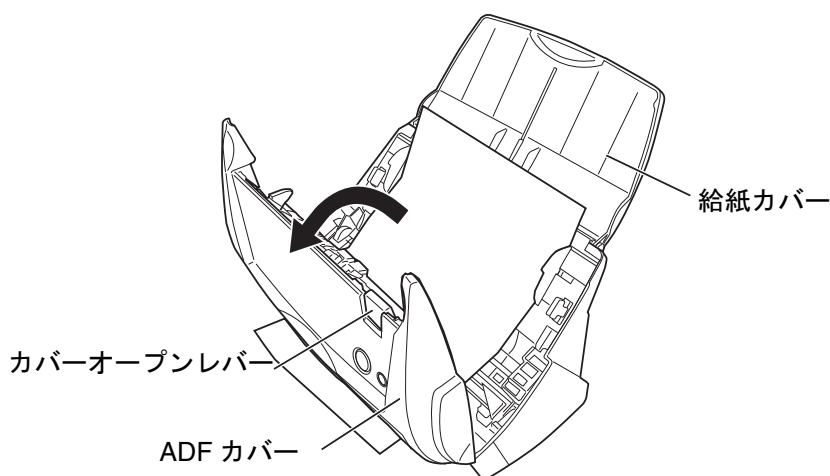
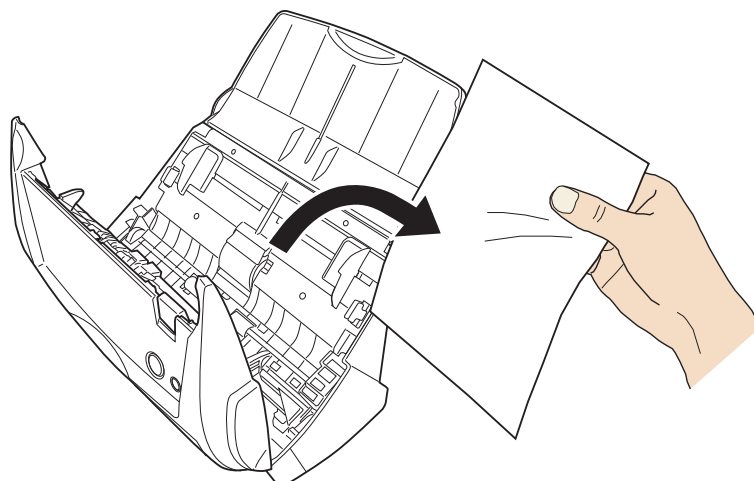
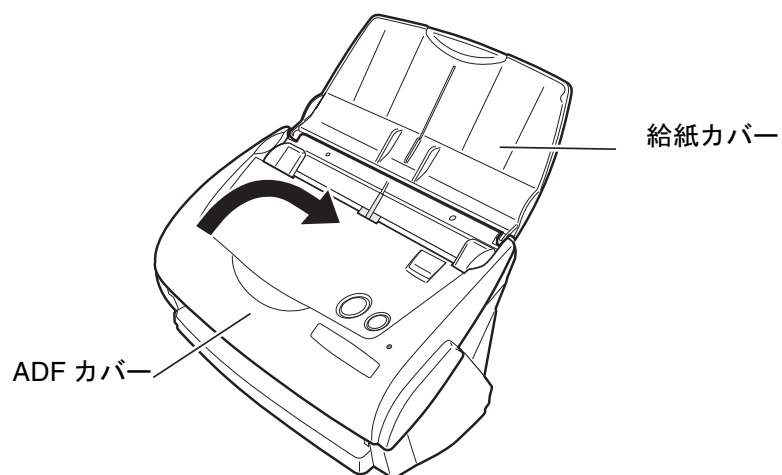
読み取り中に原稿がつまった場合は、次の要領で原稿を取り除いてください。

⚠注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF カバーを開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。
  ケガをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスの表面が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

スキャナ内部は、「6.2　スキャナ内部の清掃」（143 ページ）にある清掃の目安をもとに清掃してください。

1. 給紙カバーの上にある原稿を取り除きます。

2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。

3.　つまっている原稿を取り除きます。

4.　ADF カバーを閉じます。

⇒「カチン」という音がします。

ADF カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿づまりや読み取り不良を起こすおそれがあります。

5.2 トラブルと対処

ScanSnap を使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。
修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。
直らないときは、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（166 ページ）にお問い合わせください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
電源が入らない	電源ケーブル／ USB ケーブルがきちんと接続されていますか？	電源ケーブル／ USB ケーブルを正しく接続してください。
		電源ケーブルを一度抜いてから、再度、接続してください。 （※電源ケーブルの抜き差しは、5 秒以上間隔をあけておこなってください。）
	給紙カバーが閉まっていませんか？ （給紙カバーの開閉で、自動的に電源が ON/OFF されます。）	給紙カバーを開けてください。
	Windows は正常に起動していますか？ （パソコンの電源に連動して、自動的にスキャナの電源が ON/OFF されます。）	Windows が正常に起動するまでお待ちください。 Windows の起動処理中またはパソコンが休止状態の場合、電源ランプ ⏻ が消灯する場合があります。
	[POWER] ボタンを押して、電源を消していませんか？ （給紙カバーが開いた状態でも、[POWER] ボタンを押すと、電源を切断することができます。）	[POWER] ボタンを押してください。
読み取りが開始されない	USB ケーブルがきちんと接続されていますか？	USB ケーブルを正しく接続してください（USB ハブを使用している場合は、ハブの電源を確認してください）。
	電源ランプ ⏻ が点滅していませんか？	電源ケーブルを一度抜いてから、再度、接続してください。 （※電源ケーブル／ USB ケーブルの抜き差しは、5 秒以上間隔をあけておこなってください。）
	ScanSnap Manager が起動していますか？ （正しく起動している場合は、タスク バーに「ScanSnap Manager」のアイコン S が表示されています。）	「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていない場合は、 スタートメニューから［プログラム］－［ScanSnap Manager］－［ScanSnap Manager］を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
読み取りが開始されない	ScanSnap Manager が、正常に動作していますか？ （正常に動作していない場合は、タスク バーの中の「ScanSnap Manager」のアイコンが になっています。）	次の手順を実施してください。 1. 電源を切断し、再度投入してください。（※電源の切断／投入は、5 秒以上間隔をあけておこなってください。） 状況が変わらない場合は、 2. をおこなってください。 2. USB ハブをお使いの場合は、スキャナとパソコンを直接接続してください。 状況が変わらない場合は、 3. をおこなってください。 3. パソコンを再起動してください。 上記の対処をおこなっても改善されない場合は、 ScanSnap Manager をアンインストールし、再度、インストールしてください。
	「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されたままになっていませんか？	「読み取りと保存に関する設定」の画面を閉じてから読み取りをおこなってください。
画像に縦すじが発生する	スキャナ内部が汚れていませんか？	「第 6 章　清掃方法」（141 ページ）に従って、清掃してください。
画像がずれる／画像がゆがむ	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
画像が白い／画像が暗い	「白黒」読み取りで、「白黒読み取りの濃度」の設定が極端に薄く（または濃く）なっていませんか？	「読み取りと保存に関する設定」の画面の［読み取りモード］－［オプション］で、「白黒読み取りの濃度」を調整してください。
原稿上の細い線がかすれてしまう。（例：表の罫線が見えな。）	カラー読み取りで、活字や罫線つきの表、手書き文字が含まれる原稿を読み取っていませんか。	このような場合は、[読み取りと保存に関する設定] 画面で、[読み取りモード] タブの［オプション］-「文字をくっきりします」をチェックしてください。
読み取りに時間がかかる	ご使用のパソコンは、推奨条件を満たしていますか？	「インストールする前に」（6 ページ）で、システム条件を確認してください。 推奨に満たない CPU、メモリ容量の場合は、読み取り速度が低下します。その場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面の［読み取りモード］－［オプション］で、以下の設定を無効にする（チェックを外す）と、読み取り速度を速くすることができます。 ・原稿の傾きを自動的に補正します ・原稿の向きを自動的に補正します
	USB 1.1 で接続していませんか？ USB 1.1 の場合、データ転送量が大きくなると、極端に読み取り速度が遅くなる場合があります。	USB2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合、そちらを使用してください。（USB ハブをご使用の場合は、そちらも USB2.0 に対応している必要があります。）※

※ USB1.1 で接続されているか、USB2.0 で接続されているのかわからない場合は、ScanSnap アイコン を右クリックして、［ヘルプ］－［ScanSnap Manager について］を選択し、「バージョン情報」画面で、［詳細］ボタンを押してください。「スキャナ情報」の「USB タイプ」に表示されます。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
ダブルフィードが多発する 注）ダブルフィードとは、原稿が重なって読み込まれることです。	パッドユニットが汚れていませんか？	「スキャナ内部の清掃」（143 ページ）に従って、パッドを清掃してください。
	パッドユニットが消耗していませんか？	「パッドユニットの交換」（152 ページ）に従って、パッドユニットを交換してください。
	原稿の枚数が厚み 5mm を超えていませんか？	セットする原稿の枚数は、厚み 5mm 以下になる枚数にしてください。
原稿が読み込まれない（途中で止まる）	ピックローラが汚れていませんか？	「スキャナ内部の清掃」（143 ページ）に従って、ピックローラを清掃してください。
	ピックローラユニットが消耗していませんか？	「ピックローラユニットの交換」（155 ページ）に従って、ピックローラユニットを交換してください。
	搬送路に異物が入っていませんか？	搬送路の異物を取り除いてください（「5.1　原稿づまりの処理」（134 ページ）を参照してください）。
	名刺やはがきなどの厚紙を読み取っていませんか？ 名刺、はがきなどの厚い原稿を読み取る場合、まれに、セットした原稿がうまく送り込まれないことがあります。	以下の方法を試してください。 ・読み取りを開始したら、一枚目の原稿を指で軽く押し込む ・原稿をセットする向きを変える
ScanSnap Manager をインストールしても装置が認識されない。	ScanSnap Manager をインストールする前に装置をパソコンに接続していませんか？ ［デバイスマネージャ］で、装置が「その他のデバイス」として登録されていませんか？	［スタート］メニューから、［コントロールパネル］－［システム］－［ハードウェア］タブ －［デバイス マネージャ］の順に選択します。 デバイス マネージャ上で「その他のデバイス」の下に表示されるデバイス名（「USB デバイス」など、OS によって異なります。）を削除し、パソコンを再起動してください。
白黒原稿を読み取っているのに、ファイルサイズがカラー原稿を読み取ったときと変わらない。	白黒原稿を、カラー読み取りしていませんか？	「読み取りと保存に関する設定」の［読み取りモード］タブの［カラーモードの選択：］を「白黒」に設定してください。
両面原稿を読み取ると、裏面が透けて読み取られてしまう（裏写り）。	「読み取りと保存に関する設定」の［読み取りモード］タブの［オプション］で、「文字をくっきりします（カラーイメージのみ有効）」のチェックが外れていませんか？	「文字をくっきりします（カラーイメージのみ有効）」をチェックしてください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
読み取ったはずの原稿のデータが消えてしまう。（「白紙ページを自動的に削除します」が有効の場合）	「白紙ページを自動的に削除します」が有効の場合、白紙に近い原稿（例：2,3 行の文字が書かれたほぼ白紙の原稿）も、白紙とみなされて削除される場合があります。	［読み取りと保存に関する設定］画面で、［読み取りモード］タブの［オプション］－「白紙ページを自動的に削除します」のチェックをはずしてください。
読み取った画像が傾いている。（自動傾き補正時）	原稿が± 5°以上傾いていませんか？	傾き補正が可能な角度は、± 5°までです。この範囲を超えないように、サイドガイドで原稿をしっかり揃えて読み取ってください。この方法を試しても改善されない場合は、[読み取りと保存に関する設定] 画面で、[読み取りモード] タブの［オプション］-「原稿の傾きを自動的に補正します」のチェックをはずしてください。
	原稿に問題はありませんか？原稿に記載されている内容によっては、自動傾き補正が正常に機能しない場合があります。	「原稿の傾きを自動的に補正します」（58 ページ）を参照してください。
読み取った画像が正しい向きに表示されない。（自動向き補正時）	原稿に問題はありませんか？原稿に記載されている内容によっては、自動傾き補正が正常に機能しない場合があります。	「原稿の向きを自動的に補正します」（58 ページ）を参照してください。

※　この他にも、ホームページの「Q ＆ A」コーナーにて、最新の情報を随時アップしていきます。くわしくは、以下の ScanSnap ホームページをご覧ください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/

6

第6章

清掃方法

この章では、スキャナ本体の清掃方法について説明します。

火災・感電

本スキャナを清掃する場合は、AC アダプターをコンセントから抜いて電源を切ってからおこなってください。

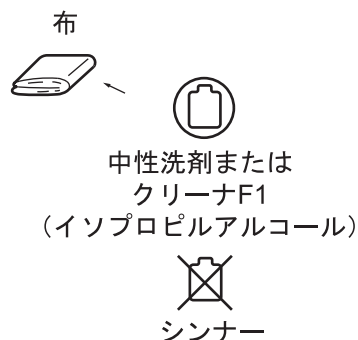
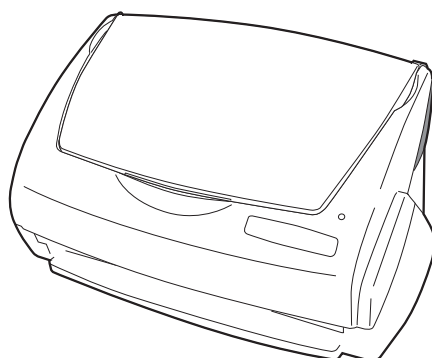
6.1 スキャナ外部およびスタッカーの清掃

スキャナ外部およびスタッカーは、乾いた布や、少量のクリーナ F1（イソプロピルアルコール）または中性洗剤を浸した布で清掃します。
クリーナ F1 のご購入については、下のホームページを参照していただくか、あるいは富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/consumption.html

富士通コワーコ株式会社
TEL: 03-3342-5375
http://www.coworco.fujitsu.com/op/options.htm

品名	商品番号	出荷単位	備考
クリーナ F1	0631150	1 本	容量：100ml

- シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- エアスプレーは、使用しないでください。
  ホコリなどが装置内に浸入して、故障や装置異常、画像異常の原因になる場合があります。

6.2 スキャナ内部の清掃

スキャナ内部は、少量のクリーナ F1（イソプロピルアルコール）を布に浸して清掃します。
原稿の読み取りを繰り返していると、スキャナ内部に、紙粉やホコリなどがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。
スキャナ内部の清掃は、目安として 1000 枚読み取りごとにおこなってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。たとえば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。
スキャナ内部の清掃は、以下の要領で実施してください (次ページの図を参照してください)。

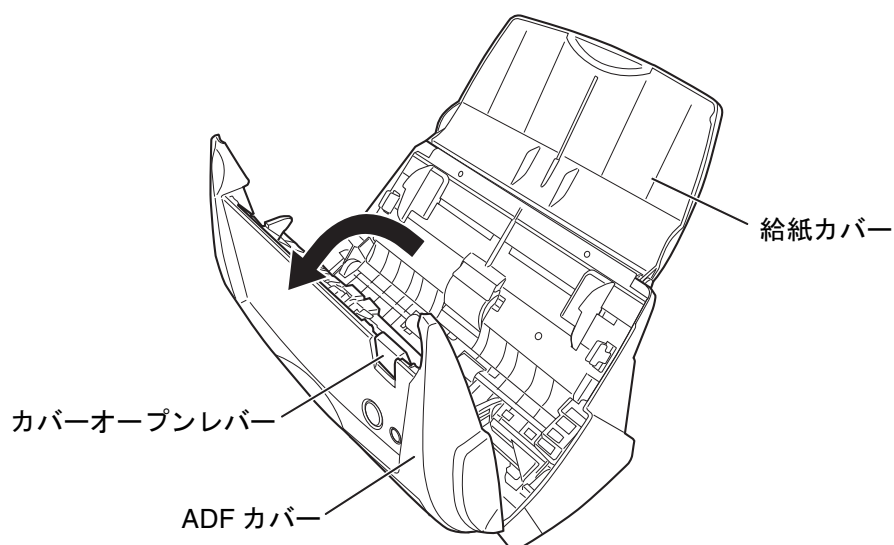
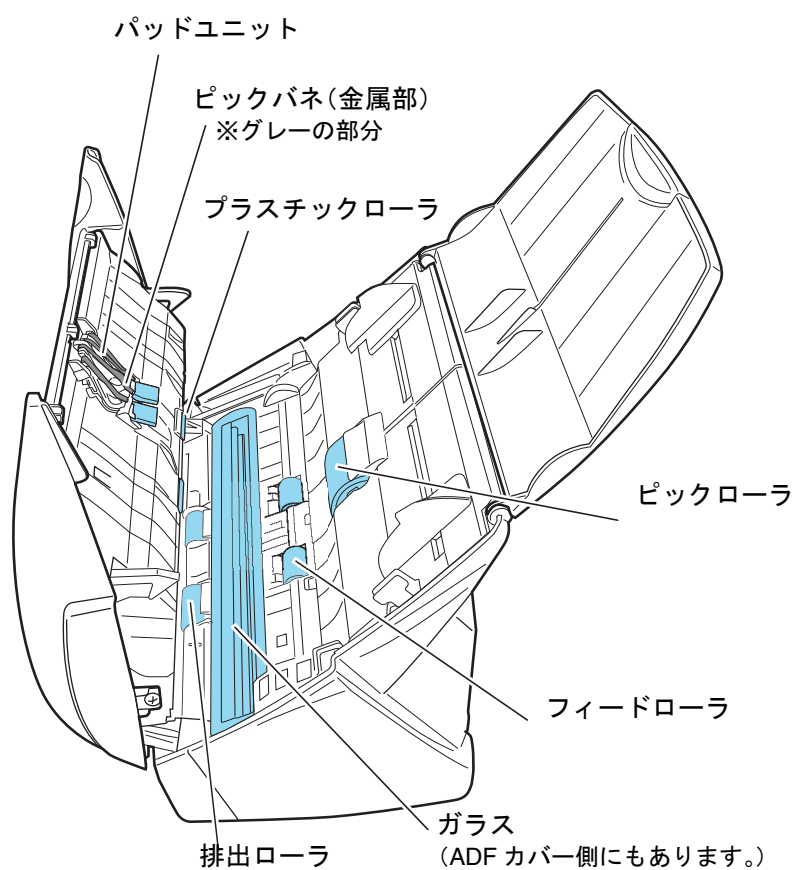
⚠ 警告

装置使用時は、内部のガラス表面が高温になります。
内部の清掃をおこなう場合は、AC アダプターをコンセントから抜き、15 分以上待ってから清掃をおこなってください。

⚠ 注意

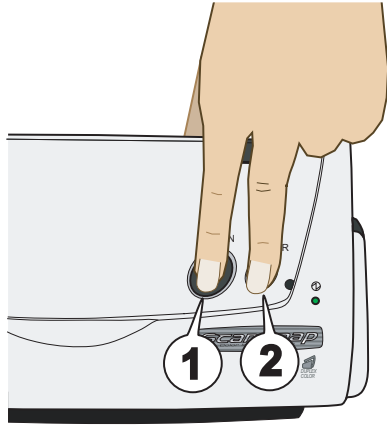
装置使用時は、内部のガラス表面が高温になります。
内部の清掃をおこなう場合は、AC アダプターをコンセントから抜き、15 分以上待ってから清掃をおこなってください。

- 装置内部を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- エアスプレーは、使用しないでください。
  ホコリなどが装置内に浸入して、故障や装置異常、画像異常の原因になる場合があります。

1. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。

2. 乾いた布に、少量のクリーナ F1 を浸して、以下の箇所を清掃します。

以下の箇所は、電源を切断して清掃します。

- **パッドユニット（1 箇所）**
  ゴム製のパッド表面に付着した汚れやホコリを、上から下に向かってふき取ります。このとき、ピックバネ（金属部）に、手や布が引っかからないように注意してください。
- **ガラス（ADF カバー側、本体側の 2 箇所）**
  ガラス表面に付着した汚れやホコリを、軽くふき取ります。
- **ピックローラ（1 箇所）**
  指で上から下に向かって回転させながら、汚れやホコリを軽くふき取ります。ローラの表面をいためないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、清掃を十分おこなってください。
- **プラスチックローラ（ADF カバー側 4 箇所）**
  指で少しずつ回転させながら、汚れやホコリを軽くふき取ります。ローラの表面をいためないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、清掃を十分おこなってください。

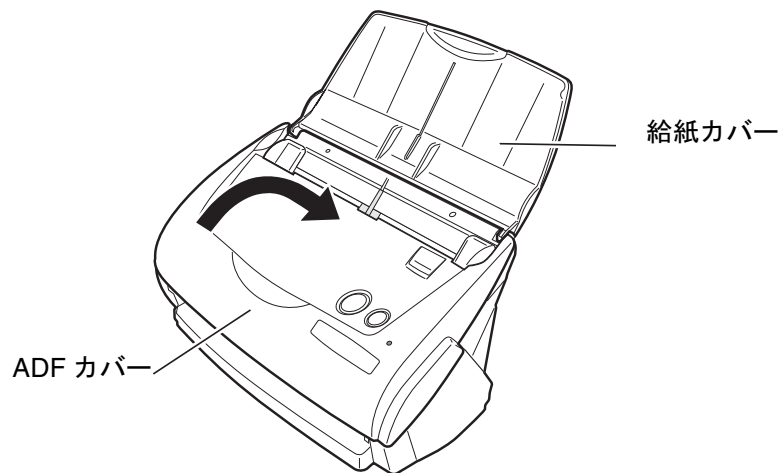
  以下の箇所は、電源を入れて回転させながら清掃します。
- **フィードローラ（2 箇所）**
  ローラの表面を傷めないように、汚れやホコリを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、清掃を十分おこなってください。
- **排出ローラ（2 箇所）**
  ローラの表面を傷めないように、汚れやホコリを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響しやすいため、清掃を十分におこなってください。

  ADF カバーを開いた状態で、［SCAN］ボタンを押したままの状態で［POWER］ボタンを押すと、一定量、排出ローラが回転します。
  （目安として、［POWER］ボタンを 6 回押すと、ローラが 1 回転します。）

①[SCAN]ボタンを押したまま ...

②[POWER]ボタンを押します。

⇒ ローラが回転します。

フィードローラと排出ローラの清掃時のみ電源ケーブルを接続してください。

3. ADF カバーを閉じます。

⇒「カチン」と音がします。

ADF カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。

6.3 A3 キャリアシートの清掃

「A3 キャリアシート」は、繰り返し使用しているうちに、表面や、内部に汚れやホコリが付着する場合があります。
そのまま使いつづけると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、定期的に清掃するようにしてください。

＜清掃方法＞

乾いたやわらかい布や、「クリーナ F1（別売）」または中性洗剤を少量しみこませたやわらかい布を用いて、A3 キャリアシート表面や内部の汚れやホコリを、軽くふき取ります。

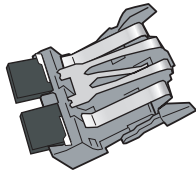
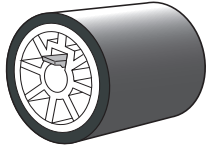
- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 強くこすると、A3 キャリアシートが傷付いたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤で清掃した後は、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することをお勧めします。
A3 キャリアシートの購入に関しては、「7.4 A3 キャリアシートの購入」（161 ページ）を参照してください。

第7章

消耗品／定期交換部品

7

この章では、消耗品／定期交換部品の交換方法および購入方法について説明します。

⚠ 警告

火災・感電

本装置を清掃する場合は、AC アダプターをコンセントから抜いて電源を切ってからおこなってください。

7.1　消耗品の番号と交換周期

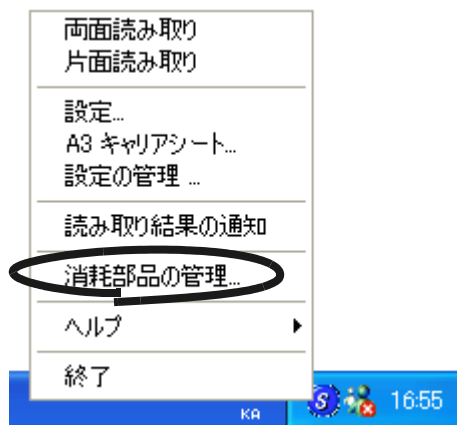
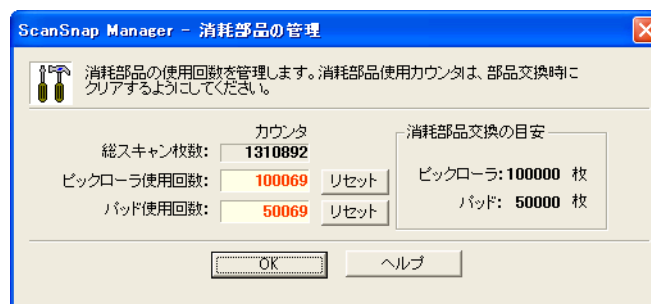
消耗品の商品番号と交換周期の目安を、次に示します。

No.	品　名	商品番号	交換周期（目安）
1	fi-5110EOX パッドユニット	0637840	5 万枚または 1 年ごと
2	fi-5110EOX ピックローラユニット	0637830	10 万枚または 1 年ごと

交換周期は、A4 上質 64g ／ m^2（55kg ／連）用紙を使用した場合の目安であり、使用する用紙によって交換周期が異なります。
当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

ヒント

以下の手順で、消耗部品の、交換の目安および使用回数を知ることができます。

1. タスク バーの「ScanSnap Manager」のアイコン S を右クリックします。
2. 表示されたメニューから［消耗部品の管理］をクリックします。

⇒ 消耗部品の使用回数を表示している画面（「消費部品の管理」の画面）が表示されます。

「消耗部品交換の目安」を目安にして、消耗部品の交換をしてください。

消耗品のご購入については、以下のホームページを参照していただくか、あるいは富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/consumption.html

富士通コワーコ株式会社
TEL: 03-3342-5375
http://www.coworco.fujitsu.com/op/options.htm

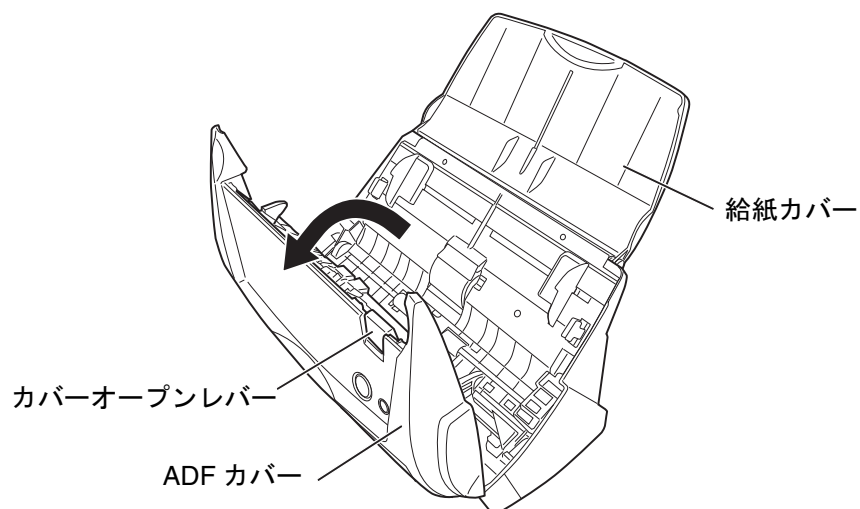
7

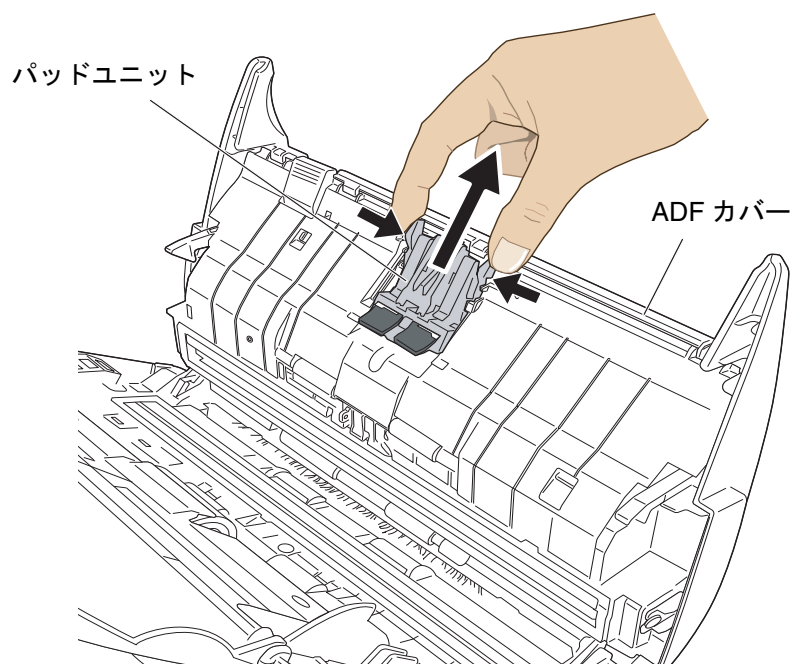
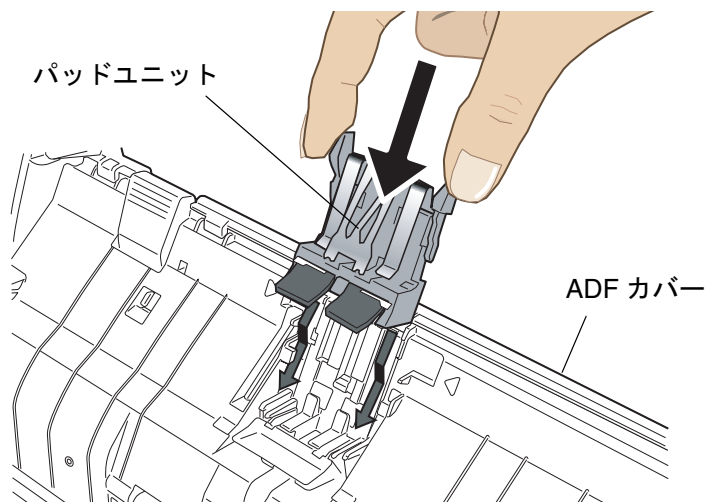
消耗品／定期交換部品

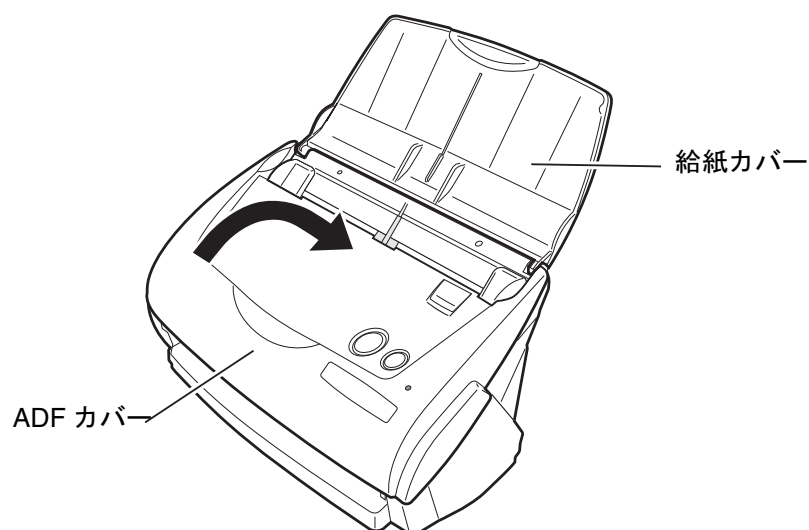
7.2 パッドユニットの交換

パッドユニットの交換方法を、以下に示します。

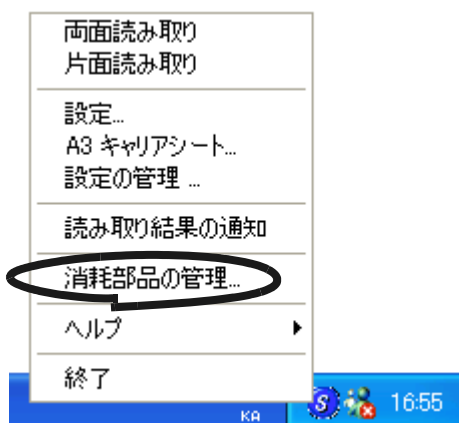
1. 給紙カバー上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。

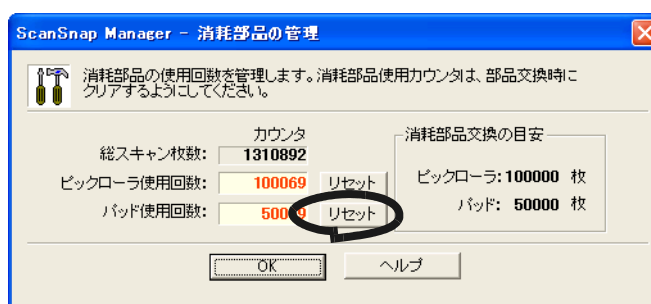
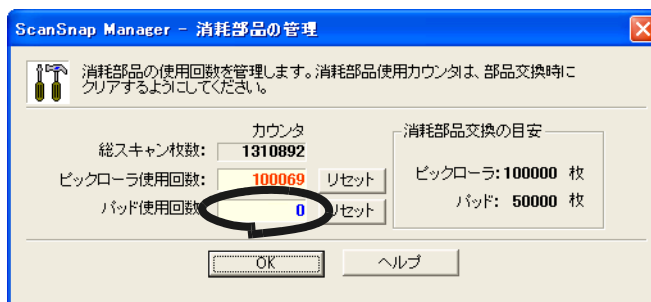
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。

3. パッドユニットを取り外します。

パッドユニットの両端をつまんで、矢印の方向に取り外します。

4. 新しいパッドユニットを取り付けます。

パッドユニットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

5. ADF カバーを閉じます。

⇒ カチンと音がします。

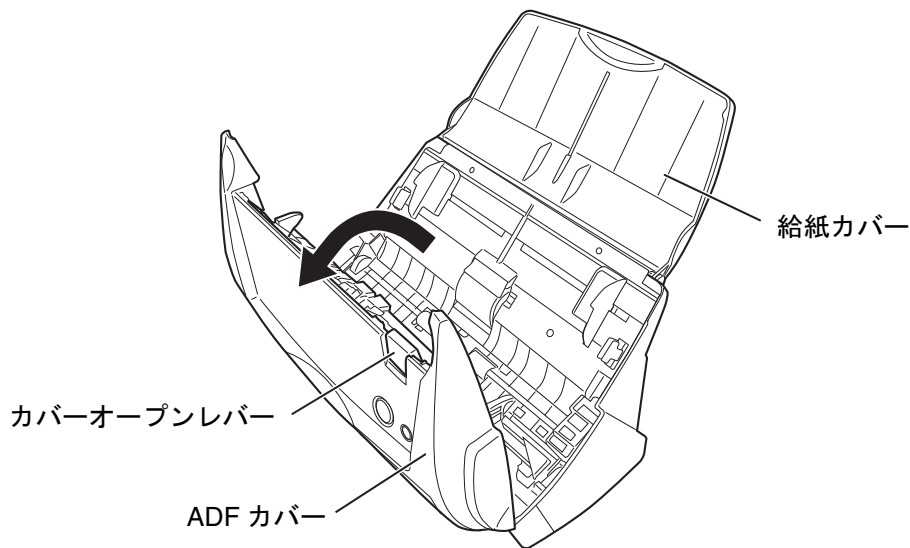
6. スキャナの電源を入れます。

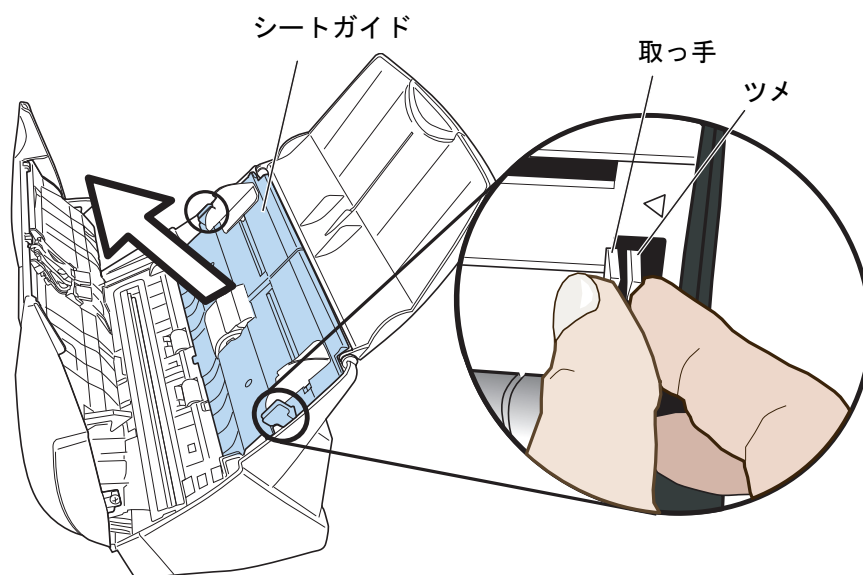
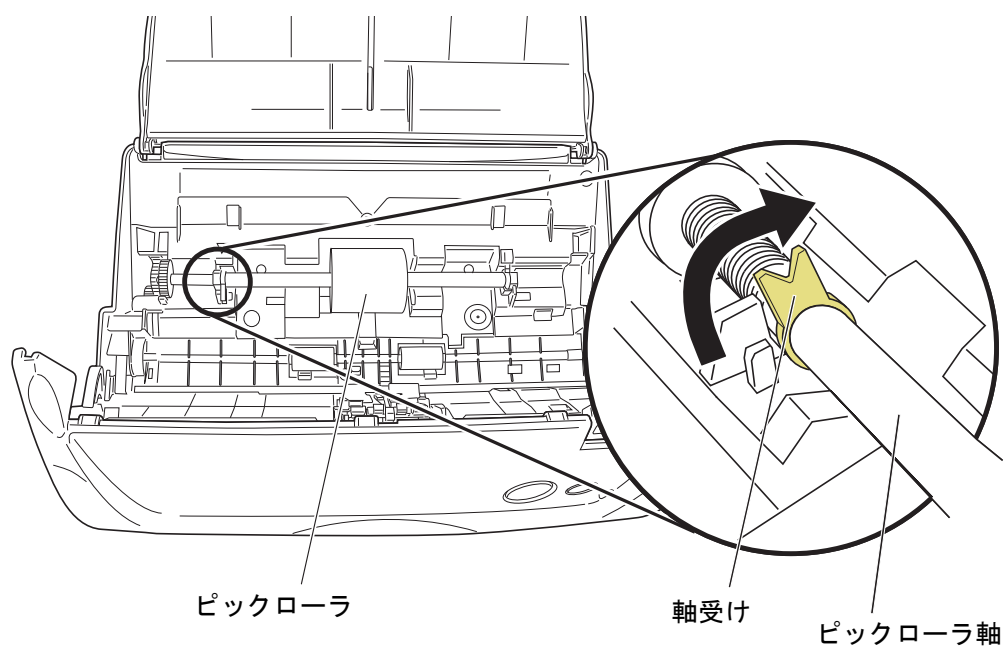
7. タスク バーの「ScanSnap Manager」のアイコンをクリックし、表示されたメニューから、[消耗部品の管理] を選択します。

⇒「消耗部品の管理」の画面が表示されます。

8. 「消耗部品の管理」の画面で、「パッド使用回数：」の [リセット] ボタンをクリックします。

⇒ [リセット] ボタンをクリックした使用回数が 0 になります。

7.3 ピックローラユニットの交換

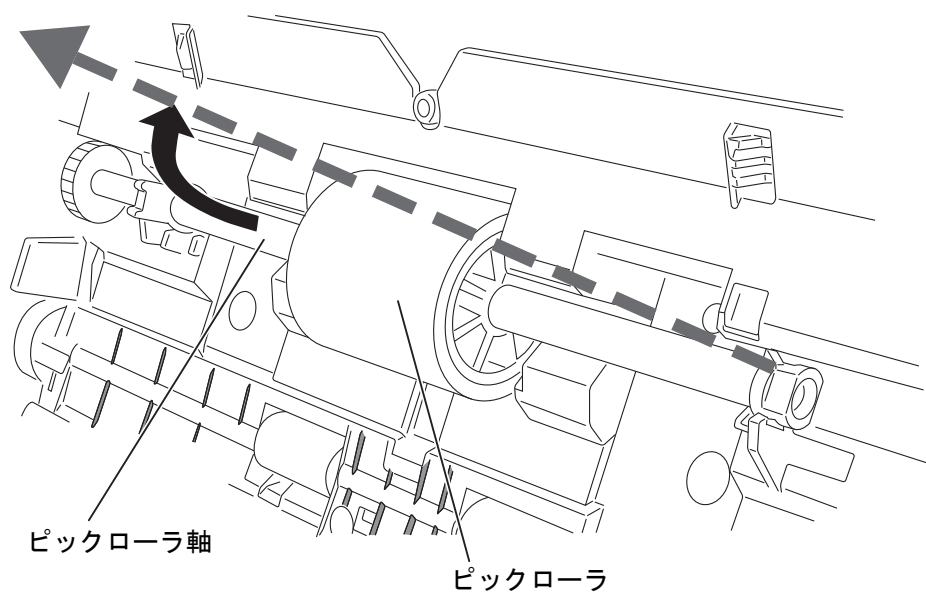
ピックローラユニットの交換方法を、以下に示します。

1. 給紙カバー上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。

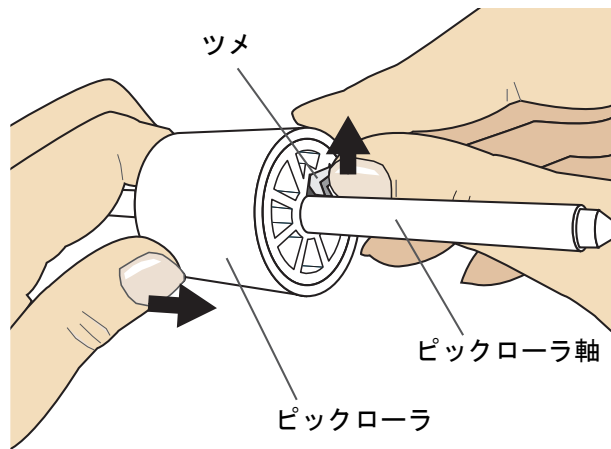
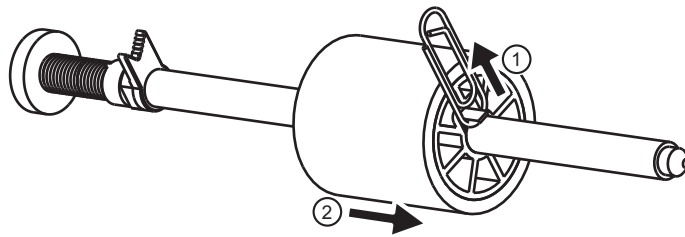
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。

3. シートガイドを取り外します。

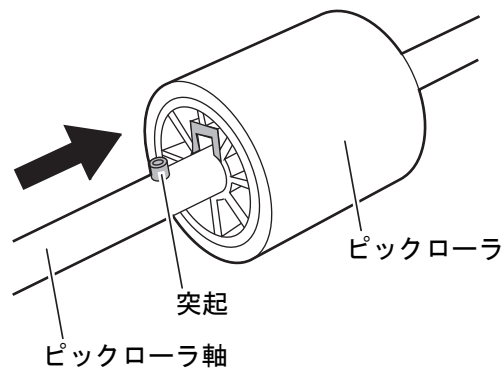
両端の取っ手をつまみ、ツメを内側に押しながら、持ち上げてはずします。

4. ピックローラ軸受け（左側）を回転させます。

5. ピックローラを、軸ごとはずします。

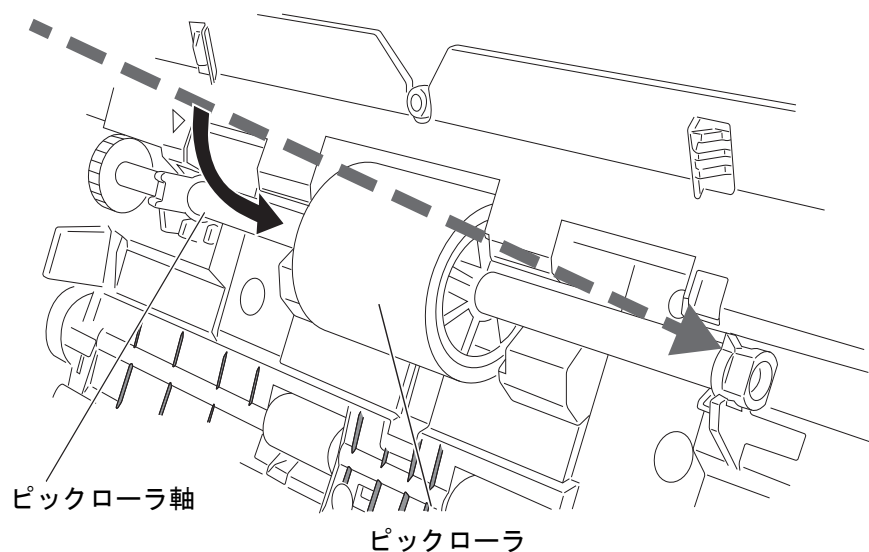
軸の左側を持ち、左側にずらしながら、上に持ち上げて取り外します。

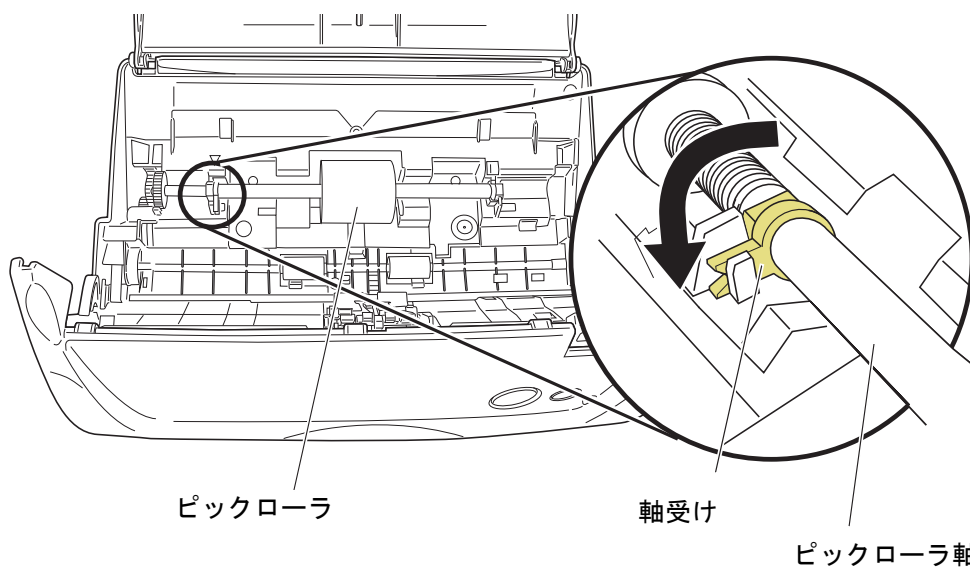
まって！

ピックローラの周辺が紙粉で汚れている場合があります。
そのまま放置すると、読み取り不良の原因となりますので、乾いた布に少量のクリーナ F1 を浸して、紙粉をふき取ってください。
※水や中性洗剤、エアスプレーは使用しないでください。

6. ピックローラを、軸からはずします。

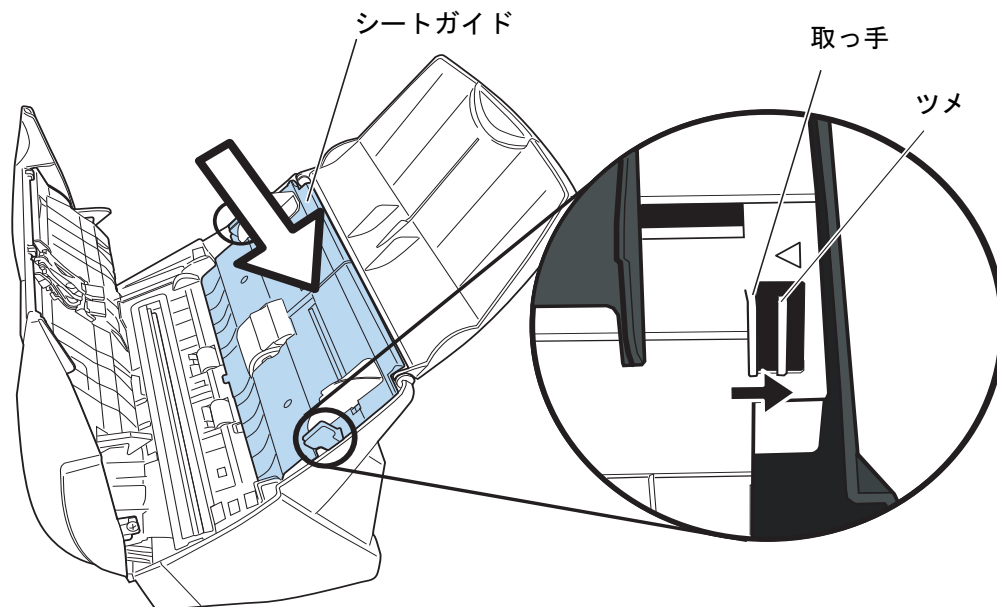
ピックローラのツメを持ち上げながら、軸を引き抜きます。

指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷ついたり、欠けたりする可能性があります。
指でうまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックローラのツメを持ち上げてください。

7. 新しいピックローラを、軸に取り付けます。

軸の突起部分をピックローラの溝にはめ込みます。

8. ピックローラをスキャナに取り付けます。

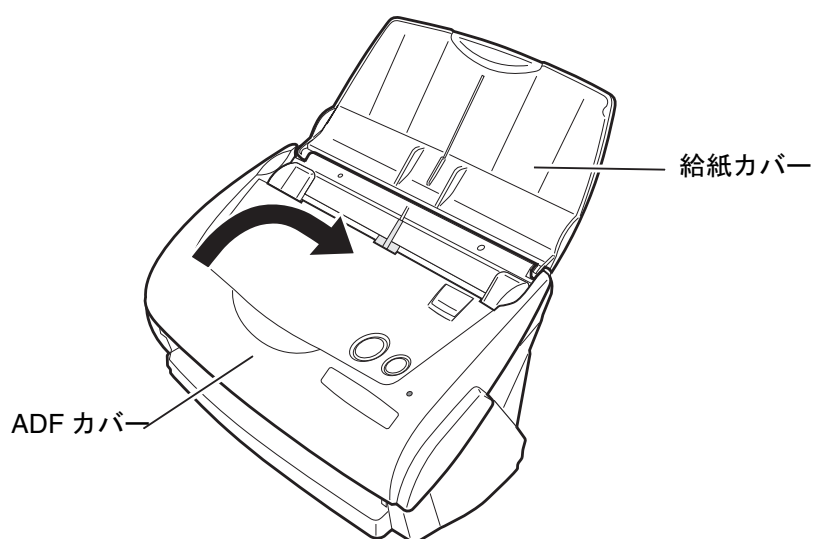
まず、右側の軸受けに、斜め上方からピックローラ軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。

9. ピックローラ軸受け（左側）を固定します。

まって！

ピックローラユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。
完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

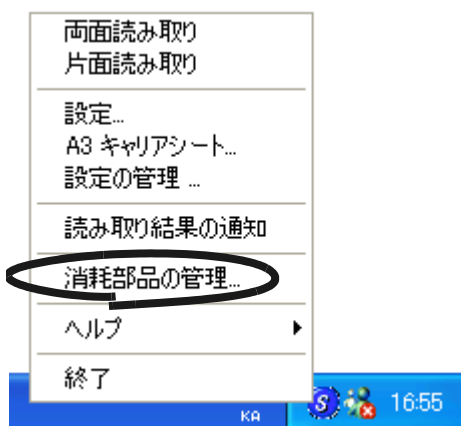
10. シートガイドを取り付けます。

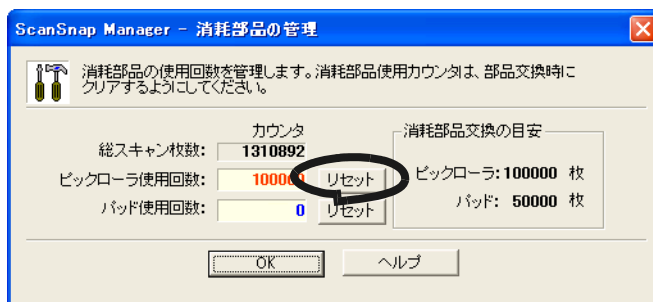
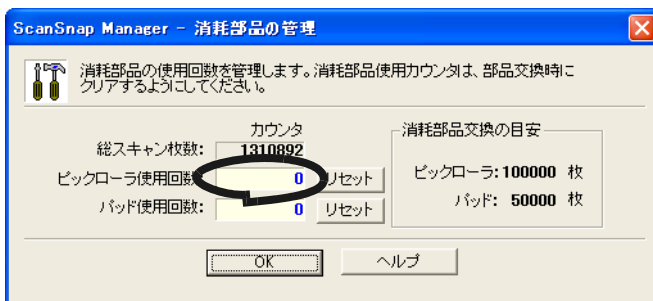
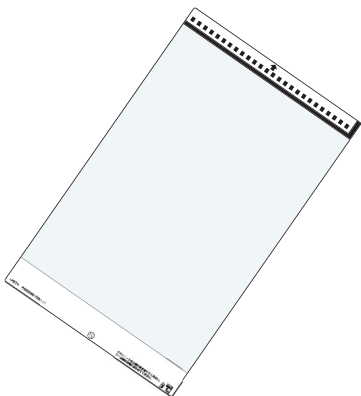
両端の取っ手をつまんで、シートガイドを元の位置に取り付けます。

⇒「パチン」と音がして、ツメが外側に開きます。

シートガイドがしっかり固定されていることを確認してください。取り付けが完全でないと、原稿づまりや給紙エラーなどを引き起こす原因となります。

11. ADF カバーを閉めます。

⇒「カチン」という音がします。

12. スキャナの電源を入れます。

13. タスク バーの「ScanSnap Manager」のアイコン をクリックし、表示されたメニューから、［消耗部品の管理］を選択します。

⇒「消耗部品の管理」の画面が表示されます。

14.「消耗部品の管理」の画面で、「ピックローラ使用回数：」の［リセット］ボタンをクリックします。

⇒［リセット］ボタンをクリックした使用回数が 0 になります。

7.4 A3 キャリアシートの購入

本製品に添付されている「A3 キャリアシート」が、破損、磨耗等によって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシートのみを別途ご購入いただくことができます。

A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することをお勧めします。ただし、使用状況によって異なります。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

A3 キャリアシート（別売）の商品名、手配型名は、以下の通りです。

品　名	数　量	手配型名
ScanSnap A3 キャリアシート	5 枚	FI-511ES

ご購入につきましては、以下のホームページを参照していただくか、本製品を購入された販売代理店、または当社 ＰＦＵ ダイレクトにお問い合わせください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/purchase/index.html

株式会社 ＰＦＵ　　PFU ダイレクト

TEL: 0120-14-4541

FAX: 042-788-7731

E-Mail : shop@pfu.fujitsu.com

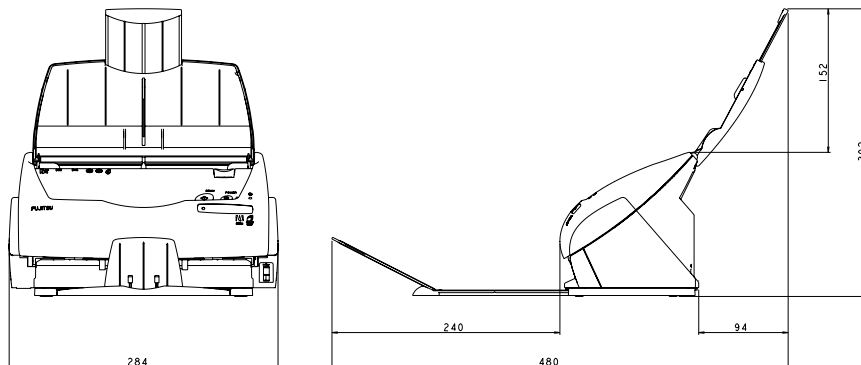
電話お問い合わせ受け付け時間：月～金／ 9:00 ～ 12:00, 13:00 ～ 17:00

（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

付録 A

設置諸元

本装置の設置諸元は、次のとおりです。

項　目		仕　様		
外形寸法		幅	奥行	高さ
	最小	284 mm	146 mm	150 mm
	最大	284 mm	480mm	302 mm
質量		2.7 kg		
入力電源	電圧	100V		
	相数	単相		
	周波数	50 ／ 60Hz		
消費電力	稼動時	27W 以下		
	休止時	8W 以下		
温度／湿度許容範囲	装置状態	稼動時	休止時	保管運搬時
	温度（℃）	5 ～ 35	-20 ～ 60	-20 ～ 60
	湿度（%）	20 ～ 80	8 ～ 95	8 ～ 95
サポート期間		3 年		

修理・お問合せについて

当社では、お客様に安心して ScanSnap をご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。
必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスによりお客様を強力にバックアップいたします。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下のサービスがあります。

● センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を送付して頂き、修理をおこないます。

センドバック修理サービス	持込基本料金：技術料＋部品費（実費） ＊送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引取りします。引き取り料金がかかります。
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中代替機を貸し出します。（引き取り修理サービスと併用）代替機貸し出し料金がかかります。

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種となることがあります。
*2 代替機サービスは、引き取り修理サービスとの併用でのみご利用できます。
代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

キャンセル料	持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などは、キャンセル料がかかります。

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問合せ	
受付窓口	PFU イメージング サービス＆サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00 ～ 12:00、13:30 ～ 17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://scansnap.fujitsu.com/jp/

※上記窓口では、Adobe® 製品に関するお問い合わせにはお答えすることができません。
Adobe® 製品に関するお問い合わせにつきましては、以下のホームページを参照してください。
http://www.adobe.co.jp/support/main.html

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージングサービス＆サポートセンターまでお問合せください。

- 本製品の修理はお客様自身でおこなわないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後５年間です。

索　引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

A

P

S

U

ScanSnap fi-5110EOX2

オペレーターガイド

P3PC-1152-03

発行日　2009 年 10 月
発行責任　株式会社 PFU